

令和4年度 第1回市民意識調査 報告書

調査期間:令和4年6月24日(金)～7月8日(金)

テーマ

- 1 札幌スタイルの認知度について
- 2 食の安全・安心について
- 3 ヒグマに対する意識と札幌市の対策について
- 4 雪対策に関する取り組みについて

札幌市

目 次

1 調査実施の概要	
(1) 目的	2
(2) 項目	2
(3) 設計	2
(4) 回収結果	2
(5) 回答者の特性	2
(6) 集計・分析上の注意事項	3
2 調査結果の詳細	
(1) 札幌スタイルの認知度について	
札幌スタイルの認知度	7
札幌スタイルの認知方法	8
札幌スタイルの関心点	9
札幌スタイル認証製品の購入の有無	10
札幌スタイル認証製品の購入場所	11
札幌スタイル認証製品の購入目的	12
札幌スタイルを購入したことがない理由	13
(2) 食の安全・安心について	
食生活を送るうえの関心点	14
食品の安全性に関する知識の有無	15
食品の安全性に関する知識がない理由	16
食品の安全性に関心がない理由	17
食の安全・安心の確保のためにしている行動	18
食の安全・安心の確保のための行動をしていない理由	19
食の安全・安心を目指した札幌市の条例等で知っている内容	20
食の安全・安心を目指した札幌市の条例等の認知方法	21
食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報の取得をしたいと思いますという方法	22
食の安全・安心の確保のために札幌市に力を入れてほしい取り組み	23
食の安全・安心の確保のために事業所に力を入れてほしい取り組み	24
「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージの有無	25
「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っていない理由	26
食中毒の特徴について知っている内容	27
新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化	28
食生活の変化の内容	29
(3) ヒグマに対する意識と札幌市の対策について	
ヒグマの出没に対する関心の有無	30
ヒグマを見た経験の有無	31
札幌市が行っているヒグマ対策について認知度と充実度	32
地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか	38
野菜や果実などの作物の生育方法	44
家庭菜園でのヒグマ被害を防ぐために行っている対策	45

札幌市が実施している家庭菜園用電気柵に関する制度を利用したいか-----	46
お住まいの地域について-----	47
ヒグマ出没の際にとるべき対策-----	48
(4) 雪対策に関する取り組みについて	
今後除雪に力を入れてほしいと思う道路・場所-----	56
冬期間の生活道路の状況の改善のために重視する点-----	57
除雪の対象となっている歩道の状況について重視すべき点-----	58
大雪時や大雪が想定されるときにとる行動-----	59
公園を雪置き場として利用しているか-----	60
雪の処理のため設置・購入を検討している設備-----	61
有料除排雪サービスの利用の有無-----	62
これまで行ったことがある除雪ボランティア活動の種類-----	63
「雪を道路に出してはいけない」ルールを守っているか-----	64
「路上駐車をしてはいけない」ルールを守っているか-----	65
冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体-----	66
 資料：令和4年度第1回市民意識調査票 -----	 69

調査実施の概要

1 調査実施の概要

(1) 目的

この調査は、昭和 49 年度から毎年実施しており、市政や市民生活に関して、市民の意識、関心、要望の傾向などを測定し、市政の参考とするものである。令和 4 年度第 1 回調査では、「札幌スタイル」「食の安全・安心」などをテーマとして設問を構成している。

(2) 項目

- ① 札幌スタイルの認知度について
- ② 食の安全・安心について
- ③ ヒグマに対する意識と札幌市の対策について
- ④ 雪対策に関する取り組みについて

(3) 設計

- ① 調査地域 札幌市内
- ② 調査対象 満 18 歳以上の男女個人
- ③ 標本数 5,000 人
- ④ 調査方法 調査票を郵送し、返信用封筒で回収
- ⑤ 調査期間 令和 4 年(2022 年) 6 月 24 日(金)～7 月 8 日(金)
- ⑥ 抽出方法 住民基本台帳から「等間隔無作為抽出」
(対象者の抽出は、本市の電算システムにて行う。)

(4) 回収結果

発送数 5,000
回収数 (率) 2,446 (48.9%)

(5) 回答者の特性

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,446	100.0	993	40.6	1,421	58.1	8	0.3	24	1.0	2,446	100.0
【性別】												
男性	993	40.6	993	100.0	-	-	-	-	-	-	993	100.0
女性	1,421	58.1	-	-	1,421	100.0	-	-	-	-	1,421	100.0
その他	8	0.3	-	-	-	-	8	100.0	-	-	8	100.0
無回答	24	1.0	-	-	-	-	-	-	24	100.0	24	100.0
【年代】												
29歳以下	194	7.9	92	47.4	98	50.5	4	2.1	-	-	194	100.0
30～39歳	239	9.8	94	39.3	143	59.8	1	0.4	1	0.4	239	100.0
40～49歳	372	15.2	135	36.3	236	63.4	1	0.3	-	-	372	100.0
50～59歳	416	17.0	179	43.0	236	56.7	1	0.2	-	-	416	100.0
60～69歳	470	19.2	187	39.8	283	60.2	-	-	-	-	470	100.0
70歳以上	719	29.4	298	41.4	414	57.6	1	0.1	6	0.8	719	100.0
無回答	36	1.5	8	22.2	11	30.6	-	-	17	47.2	36	100.0
【居住区】												
中央区	295	12.1	119	40.3	175	59.3	1	0.3	-	-	295	100.0
北区	337	13.8	134	39.8	200	59.3	2	0.6	1	0.3	337	100.0
東区	295	12.1	122	41.4	170	57.6	1	0.3	2	0.7	295	100.0
白石区	261	10.7	102	39.1	157	60.2	-	-	2	0.8	261	100.0
厚別区	163	6.7	67	41.1	95	58.3	1	0.6	-	-	163	100.0
豊平区	263	10.8	105	39.9	157	59.7	1	0.4	-	-	263	100.0
清田区	158	6.5	67	42.4	90	57.0	-	-	1	0.6	158	100.0
南区	191	7.8	82	42.9	108	56.5	1	0.5	-	-	191	100.0
西区	291	11.9	125	43.0	165	56.7	1	0.3	-	-	291	100.0
手稲区	174	7.1	70	40.2	103	59.2	-	-	1	0.6	174	100.0
無回答	18	0.7	-	-	1	5.6	-	-	17	94.4	18	100.0

区分	実数	比率(%)	男性	比率(%)	女性	比率(%)	その他	比率(%)	無回答	比率(%)	合計	比率(%)
対象者全体	2,446	100.0	993	40.6	1,421	58.1	8	0.3	24	1.0	2,446	100.0
【職業】												
会社員	670	27.4	400	59.7	266	39.7	3	0.4	1	0.1	670	100.0
公務員	96	3.9	67	69.8	29	30.2	-	-	-	-	96	100.0
自営業	124	5.1	80	64.5	44	35.5	-	-	-	-	124	100.0
パート・アルバイト	359	14.7	62	17.3	297	82.7	-	-	-	-	359	100.0
主婦・主夫	498	20.4	8	1.6	488	98.0	1	0.2	1	0.2	498	100.0
学生	59	2.4	32	54.2	25	42.4	2	3.4	-	-	59	100.0
無職	532	21.7	306	57.5	222	41.7	-	-	4	0.8	532	100.0
その他	82	3.4	35	42.7	44	53.7	2	2.4	1	1.2	82	100.0
無回答	26	1.1	3	11.5	6	23.1	-	-	17	65.4	26	100.0
【同居家族】												
配偶者	1,458	59.6	641	44.0	814	55.8	1	0.1	2	0.1	1,458	100.0
乳幼児(0~2歳程度)	69	2.8	22	31.9	47	68.1	-	-	-	-	69	100.0
就学前児童(3~5歳程度)	108	4.4	39	36.1	69	63.9	-	-	-	-	108	100.0
小学生(6~12歳程度)	183	7.5	66	36.1	117	63.9	-	-	-	-	183	100.0
中学生(13~15歳程度)	125	5.1	45	36.0	80	64.0	-	-	-	-	125	100.0
高校生(16~18歳程度)	119	4.9	47	39.5	71	59.7	1	0.8	-	-	119	100.0
大学(院)・専門学校生	111	4.5	39	35.1	72	64.9	-	-	-	-	111	100.0
65歳以上の高齢者	379	15.5	139	36.7	240	63.3	-	-	-	-	379	100.0
上記「1」~「8」以外の方	512	20.9	182	35.5	324	63.3	4	0.8	2	0.4	512	100.0
いない	423	17.3	185	43.7	233	55.1	3	0.7	2	0.5	423	100.0
無回答	43	1.8	10	23.3	15	34.9	-	-	18	41.9	43	100.0
【居住形態】												
戸建て住宅	1,178	48.2	483	41.0	687	58.3	3	0.3	5	0.4	1,178	100.0
集合住宅	1,195	48.9	491	41.1	698	58.4	5	0.4	1	0.1	1,195	100.0
その他	16	0.7	6	37.5	9	56.3	-	-	1	6.3	16	100.0
無回答	57	2.3	13	22.8	27	47.4	-	-	17	29.8	57	100.0

(6) 集計・分析上の注意事項

報告書内の図表において、各設問の有効回答数は、無回答を含め「N」で標記している。また、図表中の構成比(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%になっていない場合がある。

なお、個々の選択肢比率を合算する場合(「そう思う」と「ある程度そう思う」の合計など)は、個々の回答者数の合計をNで除して百分率を求め、小数第2位を四捨五入した。このため、本文やグラフの比率を単純合計したものにはならない場合がある。

調査結果の詳細

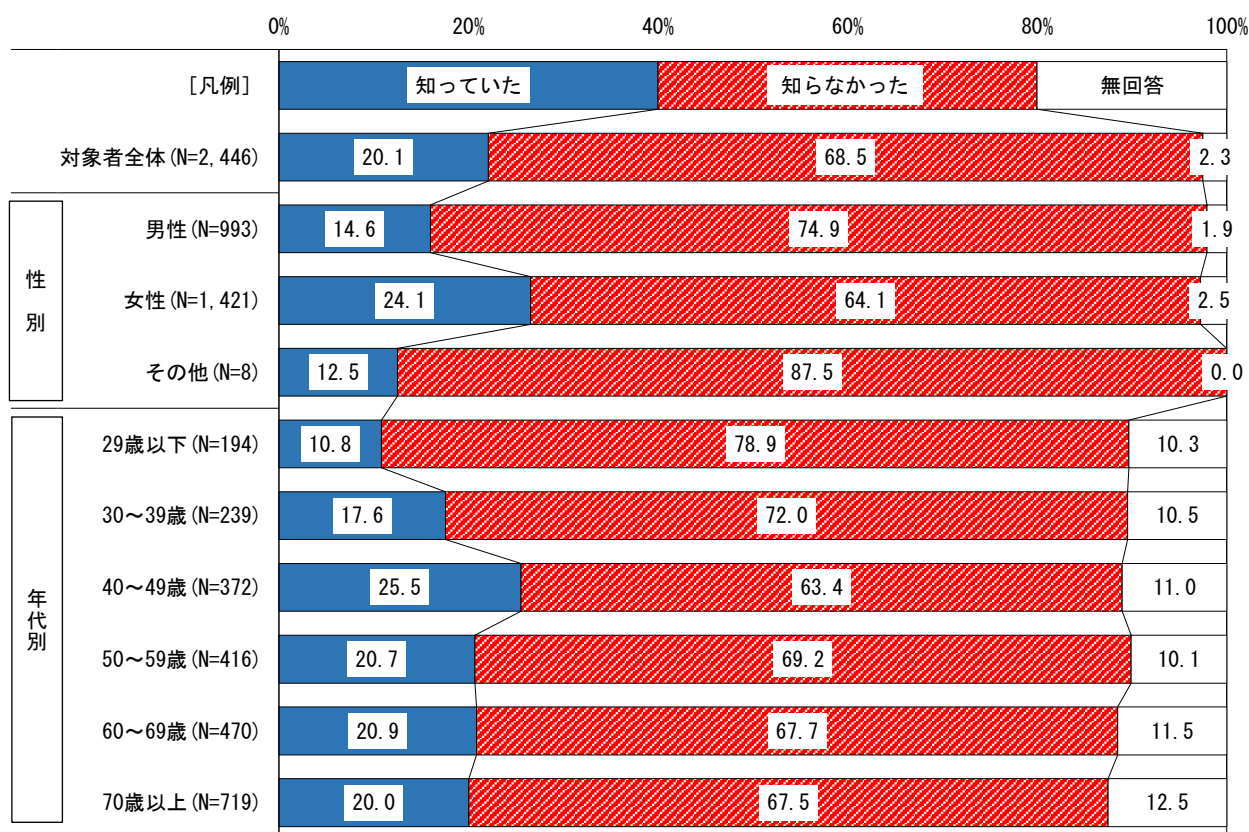
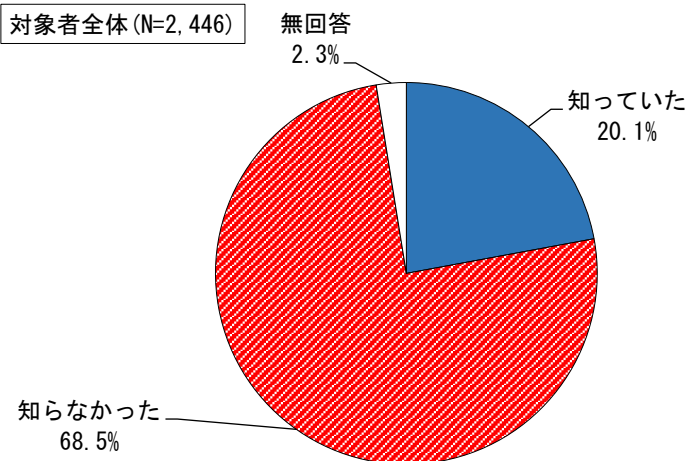
2 調査結果の詳細

(1) 札幌スタイルの認知度について

◇札幌スタイルの認知度

問1 あなたは、札幌スタイルを知っていましたか。

札幌スタイルを「知っていた」と回答した人が20.1%



【全体】札幌スタイルの認知度は、「知っていた」が20.1%、「知らなかった」が68.5%となっている。

【性別】「知っていた」は女性が24.1%と、男性の14.6%より9.5ポイント高くなっている。また、「知らなかった」は男性が74.9%と、女性の64.1%より10.8ポイント高くなっている。

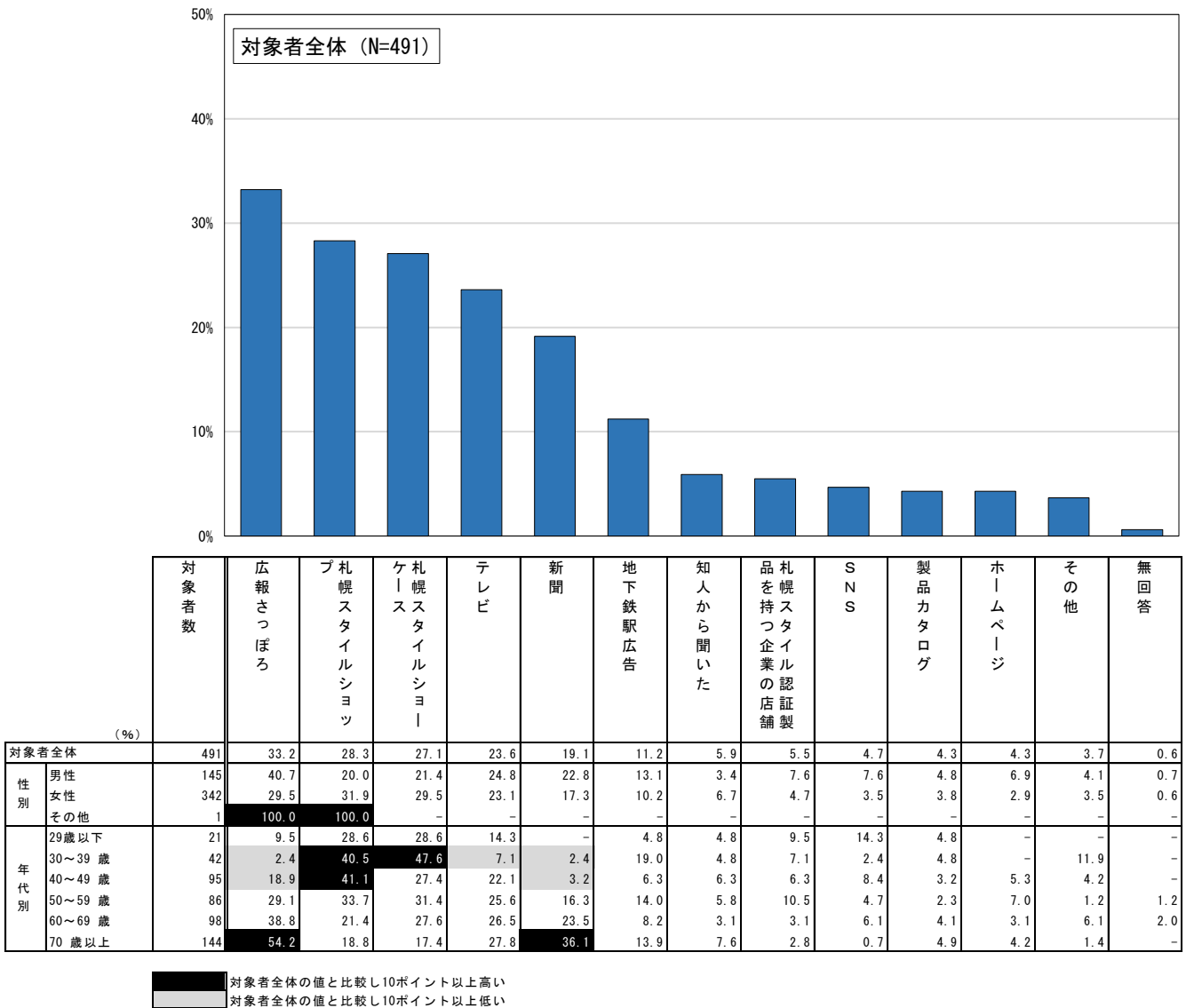
【年代別】「知っていた」は40歳代(25.5%)で最も高く、最も低い29歳以下(10.8%)と比べると14.7ポイントの差となっている。

◇札幌スタイルの認知方法

《問1で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問1-1 あなたは、札幌スタイルについて、どのような方法で知りましたか。あてはまるものにもいくつでも○をつけてください。

札幌スタイルの認知方法は、「広報さっぽろ」と回答した人が 33.2%



【全体】札幌スタイルをどのような方法で知ったかは、「広報さっぽろ」が33.2%、「札幌スタイルショップ」が28.3%、「札幌スタイルショーケース」が27.1%となっている。

【性別】「札幌スタイルショップ」、「札幌スタイルショーケース」は、女性が男性より8.1ポイント以上高くなっている。

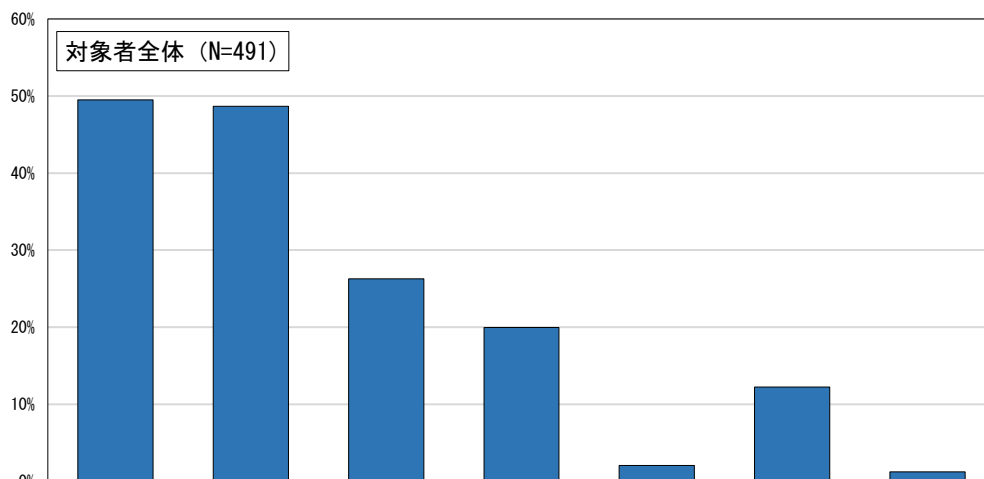
【年代別】70歳代では「広報さっぽろ」が、40歳代では「札幌スタイルショップ」が最も高くなっている。

◇札幌スタイルの関心点

《引き続き、問1で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。》

問1-2 あなたは、札幌スタイルのどのような点に関心がありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌スタイルに関心がある点は「雪をモチーフにしたデザインなど、札幌らしさが感じられる点」と回答した人が 49.5%



		対象者数	雪をモチーフにしたデザインなど、札幌らしさが感じられる点 (%)	地元企業の製品が集まっている点 (%)	認証製品のデザインや品質が優れている点 (%)	認証製品に独自性がある点 (%)	その他 (%)	関心がない (%)	無回答 (%)
対象者全体		491	49.5	48.7	26.3	20.0	2.0	12.2	1.2
性別	男性	145	37.2	45.5	19.3	25.5	4.1	13.1	1.4
	女性	342	54.1	50.0	29.2	17.8	1.2	12.0	1.2
	その他	1	100.0	100.0	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	21	57.1	42.9	9.5	14.3	-	14.3	9.5
	30～39歳	42	35.7	35.7	21.4	9.5	7.1	19.0	-
	40～49歳	95	48.4	51.6	23.2	10.5	1.1	12.6	1.1
	50～59歳	86	52.3	55.8	33.7	15.1	1.2	10.5	-
	60～69歳	98	58.2	51.0	26.5	21.4	-	13.3	-
	70歳以上	144	45.1	45.1	28.5	32.6	3.5	10.4	2.1
問2	購入したことがある	81	67.9	46.9	46.9	32.1	1.2	2.5	3.7
問2	購入したことがない	393	45.8	49.1	21.4	17.6	2.3	14.2	0.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌スタイルのどのような点に関心があるかは、「雪をモチーフにしたデザインなど、札幌らしさが感じられる点」が49.5%、「地元企業の製品が集まっている点」が48.7%、「認証製品のデザインや品質が優れている点」が26.3%となっている。

【性別】「雪をモチーフにしたデザインなど、札幌らしさが感じられる点」、「認証製品のデザインや品質が優れている点」は、女性が男性より9.9ポイント以上高くなっている。また、「認証製品に独自性がある点」は男性が25.5%と、女性の17.8%より7.7ポイント高くなっている。

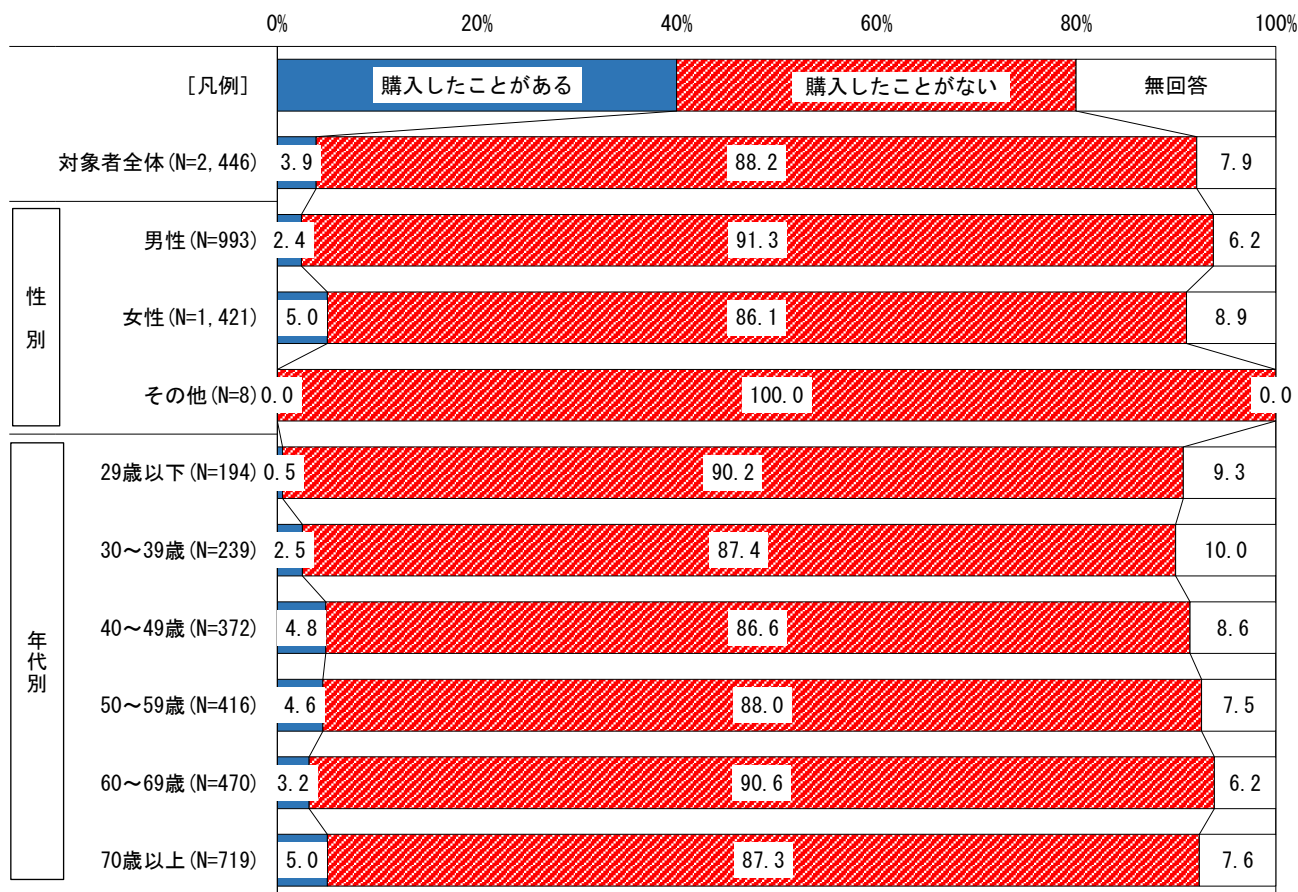
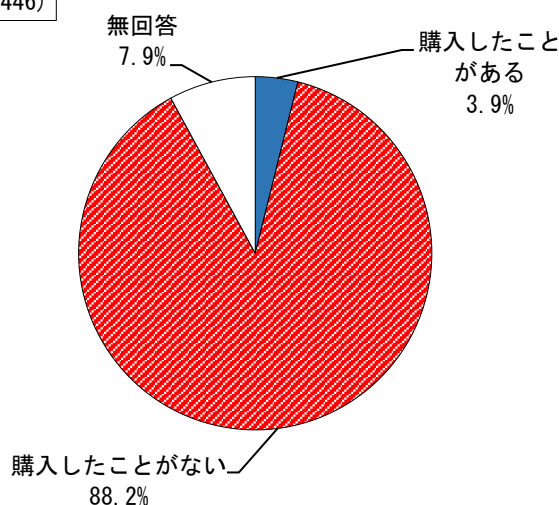
【年代別】「雪をモチーフにしたデザインなど、札幌らしさが感じられる点」は、60歳代(58.2%)で最も高く、最も低い30歳代(35.7%)と比べると22.5ポイントの差となっている。

◇札幌スタイル認証製品の購入の有無

問2 あなたは、札幌スタイル認証製品を購入したことがありますか。

札幌スタイル認証製品を「購入したことがある」と回答した人が3.9%

対象者全体(N=2,446)



【全体】札幌スタイル認証製品を「購入したことがある」は3.9%、「購入したことがない」が88.2%となっている。

【性別】札幌スタイル認証製品を「購入したことがない」は男性が91.3%と、女性の86.1%より5.2ポイント高くなっている。

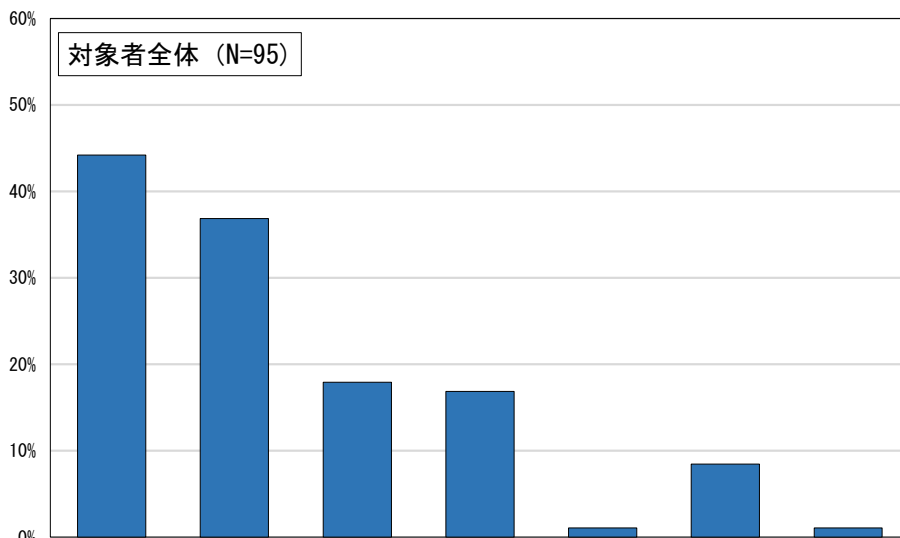
【年代別】「購入したことがある」は70歳以上(5.0%)で最も高く、次いで40歳代(4.8%)、50歳代(4.6%)となっている。

◇札幌スタイル認証製品の購入場所

《問2で「1 購入したことがある」と答えた方にお聞きします。》

問2-1 あなたは、札幌スタイル認証製品をどこで購入されましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌スタイル認証製品の購入場所は「札幌スタイルショップ」が44.2%



		対象者数	札幌スタイルショップ	百貨店・雑貨店	企業・作家の店舗や催事	札幌スタイル関連の期間限定催事	インターネット	その他	無回答
		(%)							
対象者全体		95	44.2	36.8	17.9	16.8	1.1	8.4	1.1
性別	男性	24	50.0	37.5	8.3	16.7	4.2	4.2	-
	女性	71	42.3	36.6	21.1	16.9	-	9.9	1.4
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	30～39歳	6	33.3	-	-	16.7	16.7	33.3	-
	40～49歳	18	55.6	38.9	11.1	5.6	-	5.6	-
	50～59歳	19	52.6	31.6	21.1	10.5	-	10.5	-
	60～69歳	15	26.7	40.0	20.0	26.7	-	13.3	-
	70歳以上	36	44.4	41.7	22.2	22.2	-	2.8	2.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌スタイル認証製品をどこで購入したかは、「札幌スタイルショップ」が44.2%、「百貨店・雑貨店」が36.8%、「企業・作家の店舗や催事」が17.9%となっている。

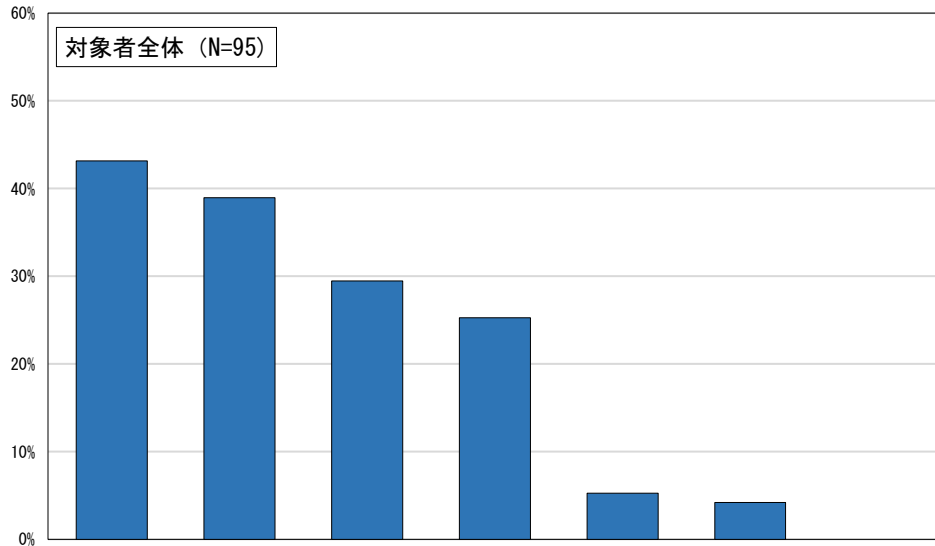
【性別】「札幌スタイルショップ」は男性が50.0%と、女性の42.3%より7.7ポイント高くなっている。また、「企業・作家の店舗や催事」は女性が21.1%と、男性の8.3%より12.8ポイント高くなっている。

◇札幌スタイル認証製品の購入目的

《引き続き、問2で「1 購入したことがある」と答えた方にお聞きします。》

問2-2 あなたは、札幌スタイル認証製品を、どのような目的で購入されましたか。あてはまるものにくつでも○をつけてください。

札幌スタイル認証製品の購入目的は「手軽な贈り物として（仲間内へのプレゼントなど）」と回答した人が43.2%



		対象者数	手軽な贈り物として（仲間内へのプレゼントなど）	個人的に使用するため（化粧品など、日常的な消耗品使用として）	札幌のお土産として	個人的に使用するが、自分へのご褒美等として	記念日等の贈り物として（お祝いやクリスマスプレゼントなど）	その他	無回答
		(%)							
対象者全体		95	43.2	38.9	29.5	25.3	5.3	4.2	-
性別	男性	24	41.7	41.7	25.0	25.0	4.2	-	-
	女性	71	43.7	38.0	31.0	25.4	5.6	5.6	-
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	1	-	100.0	-	-	-	-	-
	30～39歳	6	33.3	33.3	33.3	33.3	-	-	-
	40～49歳	18	33.3	50.0	33.3	16.7	11.1	11.1	-
	50～59歳	19	36.8	42.1	36.8	26.3	5.3	5.3	-
	60～69歳	15	33.3	46.7	20.0	-	6.7	-	-
	70歳以上	36	58.3	27.8	27.8	38.9	2.8	2.8	-

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌スタイル認証製品を購入した目的は、「手軽な贈り物（仲間内へのプレゼントなど）」が43.2%、「個人的に使用するため（化粧品など、日常的な消耗品使用として）」が38.9%、「札幌のお土産として」が29.5%となっている。

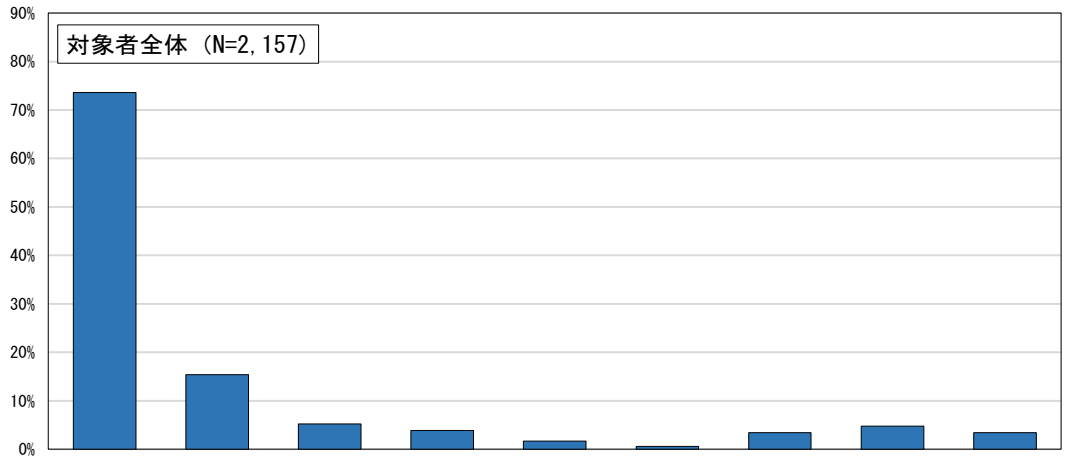
【性別】「札幌のお土産として」は女性が31.0%と、男性の25.0%より6.0ポイント高くなっている。

◇札幌スタイル認証製品を購入したことがない理由

《問2で「2 購入したことがない」と答えた方にお聞きします。》

問2-3 あなたが、札幌スタイル認証製品を購入したことがない理由は何ですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

札幌スタイル認証製品を購入したことがない理由は「製品のことを知らなかったため」と回答した人が73.6%



対象者数	製品のことを知らなかった	購入したい製品がなかった	高価だったため	札幌スタイル認証製品があつたが、札幌スタイル認証製品があつたが、	札幌スタイル認証製品があつたが、札幌スタイル認証製品があつたが、	購入したい製品があつたが、購入したい製品があつたが、	その他	特になし	無回答	
(%)										
対象者全体	2,157	73.6	15.4	5.2	3.8	1.7	0.6	3.4	4.8	3.4
性別										
男性	907	78.3	15.4	2.2	2.8	1.0	0.6	2.6	5.4	3.5
女性	1,223	70.2	15.3	7.5	4.7	2.2	0.7	4.0	4.3	3.4
その他	8	62.5	12.5	12.5	-	-	-	12.5	-	-
年代別										
29歳以下	175	87.4	12.6	2.9	1.1	-	-	1.1	1.7	2.3
30~39歳	209	80.9	13.9	4.8	2.4	1.0	1.0	3.3	4.3	2.4
40~49歳	322	70.5	20.5	7.8	3.4	3.7	0.3	3.1	2.8	0.9
50~59歳	366	74.3	15.8	5.7	2.7	1.4	0.5	3.8	3.6	3.6
60~69歳	426	70.2	17.8	6.8	2.8	2.1	0.7	4.2	5.9	3.8
70歳以上	628	70.9	11.9	3.7	6.7	1.1	0.8	3.7	6.7	4.8
問1 知っていた	393	9.9	41.0	23.2	10.4	6.4	0.8	6.9	11.2	2.8
問1 知らなかった	1620	90.2	9.1	0.7	2.0	0.6	0.6	2.7	2.4	3.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌スタイル認証製品を購入したことがない理由は、「製品のことを知らなかったため」が73.6%、「購入したい製品がなかったため」が15.4%、「購入したい製品があつたが、高価だったため」が5.2%となっている。

【性別】「製品のことを知らなかったため」は男性が78.3%と、女性の70.2%より8.1ポイント高くなっている。また、「購入したい製品があつたが、高価だったため」は女性が7.5%と、男性の2.2%より5.3ポイント高くなっている。

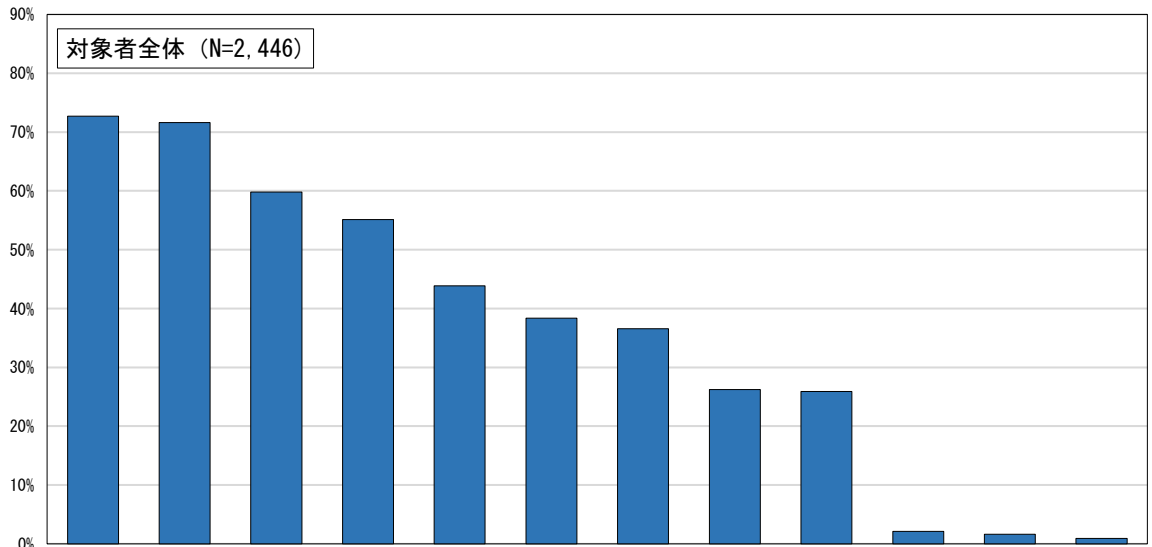
【年代別】「製品のことを知らなかったため」が29歳以下(87.4%)で最も高く、次いで30歳代(80.9%)、50歳代(74.3%)となっている。

(2)食の安全・安心について

◇食生活を送るうえの関心点

問3 あなたが、食生活を送るうえで関心があることについて、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

食生活を送るうえで関心があることは「賞味期限・消費期限表示」が72.7%



		対象者数	賞味期限・消費期限表示	衛生管理	産地表示	食品添加物	品質管理	残留農薬	食中毒予防	アレルギー表示	放射性物質	その他	食品の安全性に関心がない	無回答
		(%)												
対象者全体		2,446	72.7	71.6	59.8	55.1	43.9	38.4	36.6	26.2	25.9	2.1	1.6	0.9
性別	男性	993	69.1	68.0	53.3	45.4	42.5	31.4	33.0	23.0	21.8	2.2	3.0	0.7
	女性	1,421	75.9	74.5	64.6	62.1	45.0	43.3	39.4	28.4	28.8	1.9	0.7	0.8
	その他	8	50.0	75.0	62.5	62.5	50.0	50.0	25.0	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0
年代別	29歳以下	194	69.1	63.9	42.3	38.7	34.0	21.6	37.1	29.9	18.0	1.0	3.6	1.0
	30～39歳	239	75.7	72.0	57.3	51.5	39.7	32.6	39.7	31.0	25.5	4.2	1.3	0.0
	40～49歳	372	70.4	70.7	58.1	52.4	42.5	36.0	34.9	25.8	26.1	3.2	2.2	0.0
	50～59歳	416	70.9	72.4	63.5	51.4	43.5	40.6	36.3	23.8	23.6	1.2	1.7	0.0
	60～69歳	470	74.7	73.6	62.6	57.0	47.7	41.3	36.8	25.3	25.3	2.6	1.7	0.9
	70歳以上	719	74.4	72.3	63.0	63.4	46.2	43.0	36.4	25.7	30.0	1.4	1.0	1.8

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食生活を送るうえで関心があることは、「賞味期限・消費期限表示」が72.7%、「衛生管理」が71.6%、「産地表示」が59.8%となっている。

【性別】「賞味期限・消費期限表示」、「衛生管理」、「産地表示」、「食品添加物」、「残留農薬」、「食中毒予防」、「アレルギー表示」、「放射線物質」は女性が男性より5.4ポイント以上高くなっている。

【年代別】「残留農薬」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

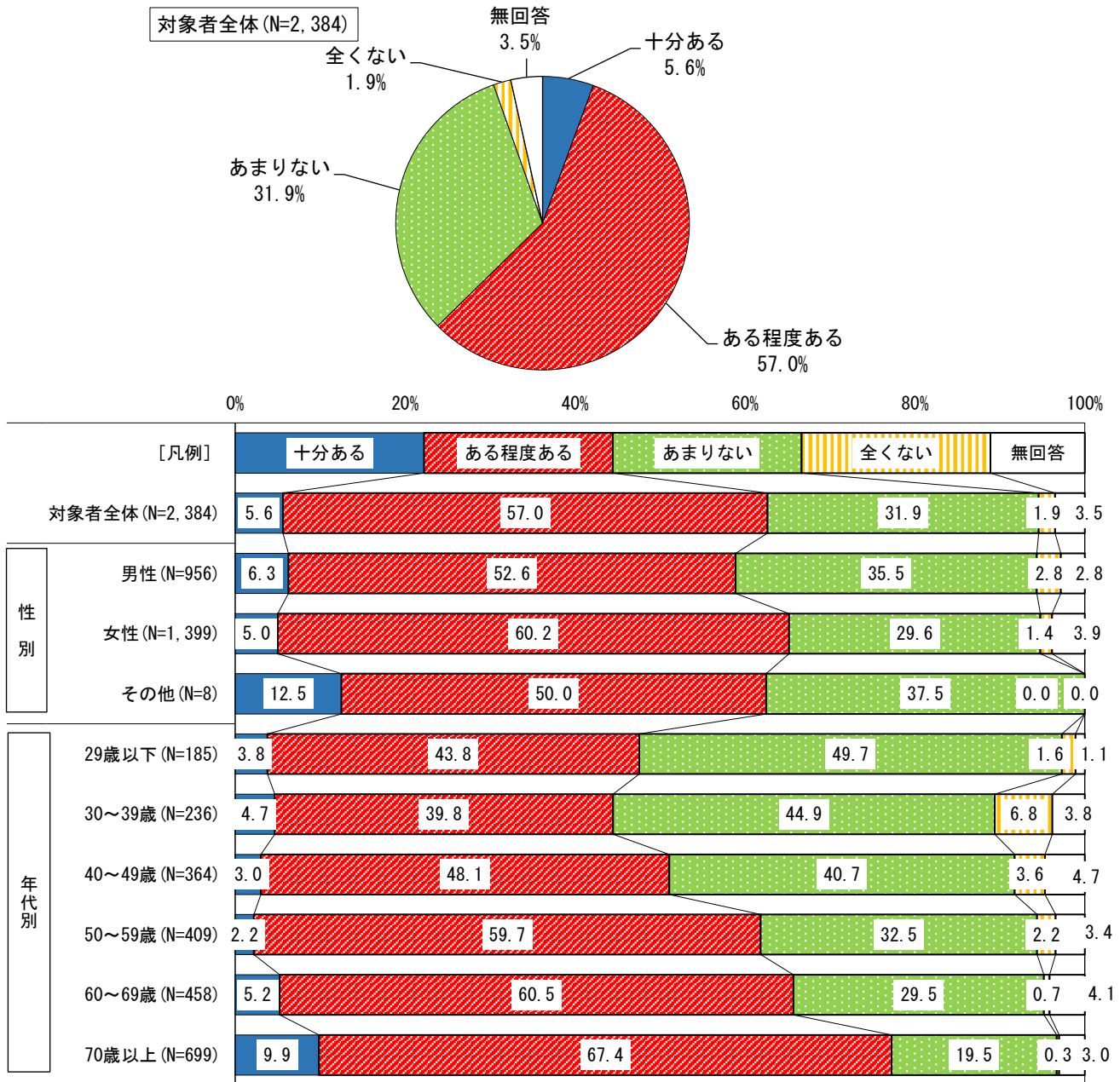
◇食品の安全性に関する知識の有無

《問3で「1 衛生管理」から「10 その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問3-1 あなたは、食品の安全性に関する知識があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

食品の安全性に関する知識は“ある”と回答した人が62.6%

※ “ある”（「十分ある」+「ある程度ある」）



【全体】 食品の安全性に関する知識は、「十分ある」が5.6%、「ある程度ある」が57.0%、合わせると62.6%となっている。一方で、「あまりない」が31.9%、「全くない」が1.9%、合わせると33.8%となっている。

【性別】 “ある”は女性が65.2%と、男性の58.9%より6.3ポイント高くなっている。また、“ない”（「あまりない」+「全くない」）は男性が38.3%と、女性の31.0%より7.3ポイント高くなっている。

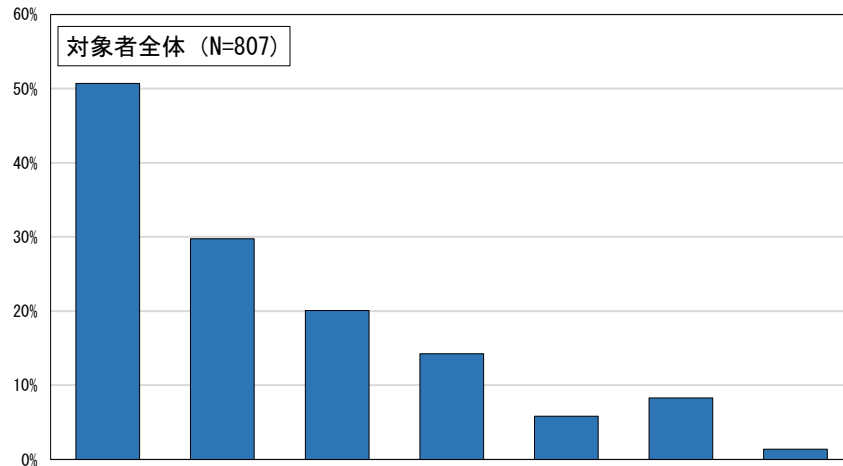
【年代別】 “ある”は70歳以上（77.3%）で最も高く、次いで60歳代（65.7%）、50歳代（61.9%）となっている。

◇食品の安全性に関する知識がない理由

《問3-1で「3 あまりない」または「4 全くない」と答えた方にお聞きします。》

問3-2 あなたが、食品の安全性に関する知識がないと思う理由について、次の中からあてはまるもの
いくつでも○をつけてください。

食品の安全性に関する知識がない理由は、「知る機会がない」が50.7%



		対象者数	知る機会がない	自分で調べたり学んだりしたいとは思わない	調べる方法がわからない	難しく理解できない	調べてみたが、知りたい情報がみつからない	その他	無回答
		(%)							
対象者全体		807	50.7	29.7	20.1	14.3	5.8	8.3	1.4
性別	男性	366	49.5	35.5	18.3	12.3	5.7	7.4	1.6
	女性	433	52.0	24.9	21.9	16.2	6.0	8.3	1.2
	その他	3	33.3	66.7	-	-	-	33.3	-
年代別	29歳以下	95	58.9	32.6	12.6	16.8	2.1	3.2	2.1
	30~39 歳	122	54.9	27.9	13.1	13.9	4.1	13.1	1.6
	40~49 歳	161	47.8	27.3	16.1	15.5	9.3	6.2	1.2
	50~59 歳	142	47.9	32.4	21.1	12.7	5.6	10.6	0.7
	60~69 歳	138	50.0	27.5	25.4	11.6	5.1	8.7	2.2
	70 歳以上	138	48.6	32.6	31.2	15.2	7.2	6.5	0.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】食品の安全性に関する知識がないと思う理由は、「知る機会がない」と回答した人が50.7%、「自分で調べたり学んだりしたいとは思わない」が29.7%、「調べる方法がわからない」が20.1%となっている。

【性 別】「自分で調べたり学んだりしたいとは思わない」は男性が35.5%と、女性の24.9%より10.6ポイント高くなっている。

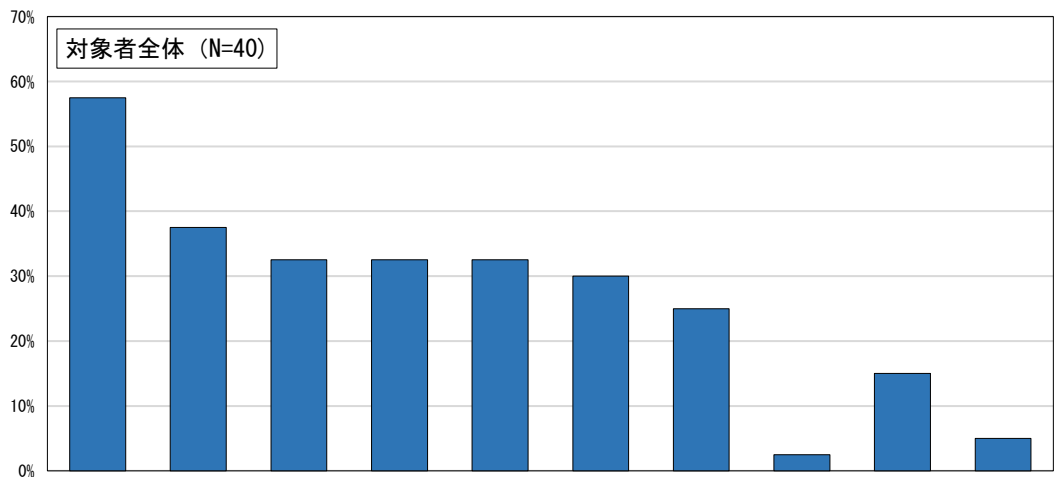
【年代別】「調べる方法がわからない」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇食品の安全性に関心がない理由

《問3で「11 食品の安全性に関心がない」と回答した方にお聞きします。》

問3-3 あなたが、食品の安全性に関心がない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

食品の安全性に関心がない理由は、「実生活で困ったことがないから」が57.6%



対象者数		から実生活で困ったことがない	安全だと考えているから	食品の生産者や製造者を信頼しているから	アレルギーなどの健康面での心配がないから	食中毒・食あたりなどの被害にあつた経験がないから	店で提供されている料理は安全だと考えているから	おいしさや価格を優先するか	その他	特に理由はない	無回答	
(%)												
対象者全体	40	57.5	37.5	32.5	32.5	32.5	30.0	25.0	2.5	15.0	5.0	
性別	男性	30	63.3	33.3	30.0	30.0	26.7	30.0	20.0	3.3	16.7	3.3
	女性	10	40.0	50.0	40.0	40.0	50.0	30.0	40.0	-	10.0	10.0
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	7	42.9	42.9	28.6	28.6	42.9	28.6	42.9	-	-	14.3
	30～39歳	3	33.3	66.7	66.7	33.3	66.7	66.7	33.3	-	-	-
	40～49歳	8	62.5	37.5	37.5	25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
	50～59歳	7	57.1	14.3	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	14.3	-
	60～69歳	8	100.0	62.5	62.5	75.0	37.5	62.5	37.5	-	-	-
	70歳以上	7	28.6	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	42.9	14.3

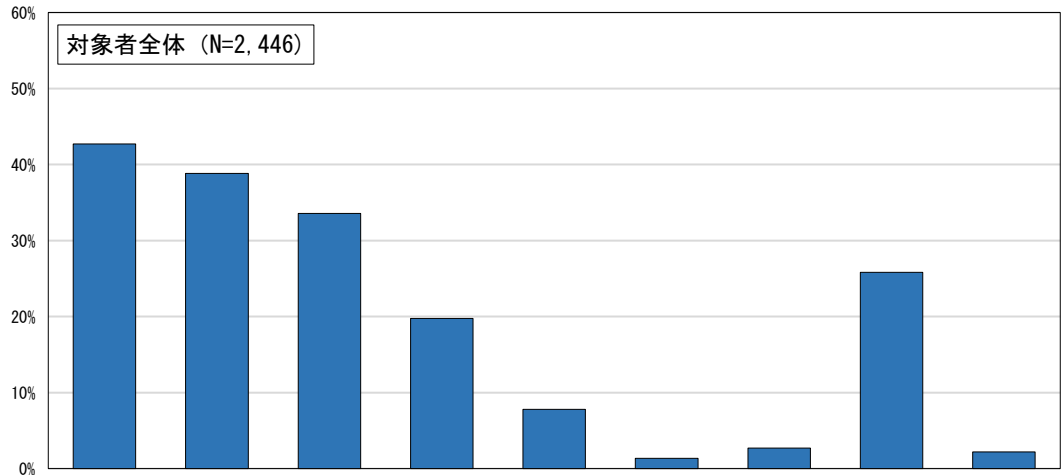
■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食品の安全性に関心がない理由は、「実生活で困ったことがないから」が57.5%、「一般に流通している食品は安全だと考えているから」が37.5%、「食品の生産者や製造者を信頼しているから」、「アレルギーなどの健康面での心配がないから」、「食中毒・食あたりなどの被害にあつた経験がないから」が32.5%となっている。

◇食の安全・安心の確保のためにしている行動

問4 あなたが日ごろ食の安全・安心の確保のためにしている行動について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

日ごろの食の安全・安心の確保のためにしている行動は、「食品表示に関する必要な知識を身に付け、商品を選択する（購入する）」と回答した人が42.7%



対象者数		食品表示に関する必要な知識を身に付け、商品を選択する（購入する）	メーカーの商品を選択する（利用・購入する）	食の安全・安心に力を入れているお店を選択する（利用・購入する）	インターネットサイトに関する情報やインターネットサイトで書籍や食の安全・安心に関する情報を収集する	国や札幌市のホームページ・広報物を見て、知識と理解を深める	食の安全・安心に関するイベント等に参加する	その他	特に何もしていない	無回答	
		(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
対象者全体		2,446	42.7	38.8	33.6	19.7	7.8	1.3	2.7	25.8	2.2
性別	男性	993	39.8	31.2	28.5	17.3	7.4	0.8	3.2	31.1	2.2
	女性	1,421	44.6	44.1	37.2	21.5	8.2	1.7	2.3	22.6	2.0
	その他	8	50.0	50.0	50.0	50.0	-	12.5	12.5	-	-
年代別	29歳以下	194	32.5	24.2	16.0	23.7	2.1	0.5	2.6	37.6	2.1
	30～39歳	239	34.7	31.0	23.0	29.3	3.3	0.4	2.1	34.3	1.7
	40～49歳	372	39.8	39.2	30.6	25.5	4.6	1.3	2.2	29.3	1.3
	50～59歳	416	39.4	39.4	31.0	22.4	5.5	1.9	3.4	30.0	1.7
	60～69歳	470	45.1	41.3	37.7	18.9	8.1	1.3	2.3	20.0	2.3
	70歳以上	719	49.2	43.1	42.1	11.5	13.8	1.5	2.9	20.2	2.9

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】日ごろ食の安全・安心の確保のためにしている行動について、「食品表示に関する必要な知識を身に付け、商品を選択する（購入する）」が42.7%、「食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する（利用・購入する）」が38.8%、「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する（利用・購入する）」が33.6%となっている。

【性別】「食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する（利用・購入する）」、「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する（利用・購入する）」は女性が男性より8.7ポイント以上高くなっている。

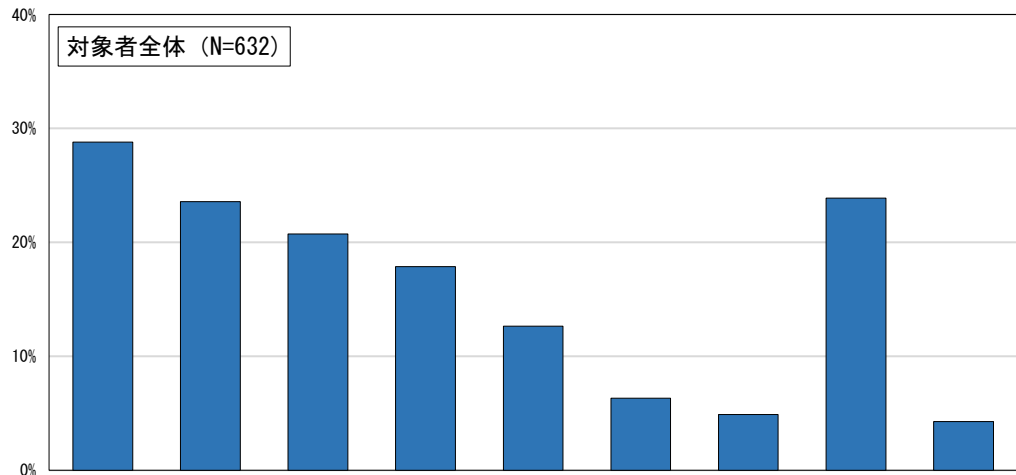
【年代別】「食の安全・安心に力を入れているお店を選択する（利用・購入する）」が70歳以上（42.1%）で最も高く、最も低い29歳以下（16.0%）と比べると26.1ポイントの差となっている。

◇食の安全・安心の確保のための行動をしていない理由

《問4で「8 特に何もしていない」と回答した方にお聞きします。》

問4-1 あなたが、食の安全・安心の確保のための行動をしていない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

食の安全・安心の確保のための行動をしていない理由は「食の安全性に不安を感じていないから」と回答した人が28.8%



		対象者数	食の安全性に不安を感じていないから (%)	面倒だから (%)	知識が足りないから (%)	時間がないから (%)	興味や関心がないから (%)	感じないから (利点) を (%)	その他 (%)	特に理由はない (%)	無回答 (%)
対象者全体		632	28.8	23.6	20.7	17.9	12.7	6.3	4.9	23.9	4.3
性別	男性	309	30.4	25.9	18.8	14.2	16.5	8.7	6.8	20.1	3.9
	女性	321	27.4	21.5	22.7	21.5	9.0	4.0	2.8	27.4	4.7
	その他	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
年代別	29歳以下	73	35.6	28.8	16.4	24.7	19.2	5.5	4.1	9.6	1.4
	30～39歳	82	23.2	39.0	25.6	29.3	18.3	4.9	8.5	15.9	2.4
	40～49歳	109	34.9	30.3	19.3	27.5	17.4	9.2	2.8	18.3	1.8
	50～59歳	125	20.0	20.0	24.0	18.4	13.6	6.4	4.0	29.6	4.8
	60～69歳	94	33.0	20.2	21.3	7.4	8.5	8.5	6.4	25.5	4.3
	70歳以上	145	29.0	13.1	17.9	6.2	4.1	4.1	4.8	33.8	8.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食の安全・安心の確保のための行動をしていない理由は、「食の安全性に不安を感じていないから」が28.8%、「面倒だから」が23.6%、「知識が足りないから」が20.7%となっている。

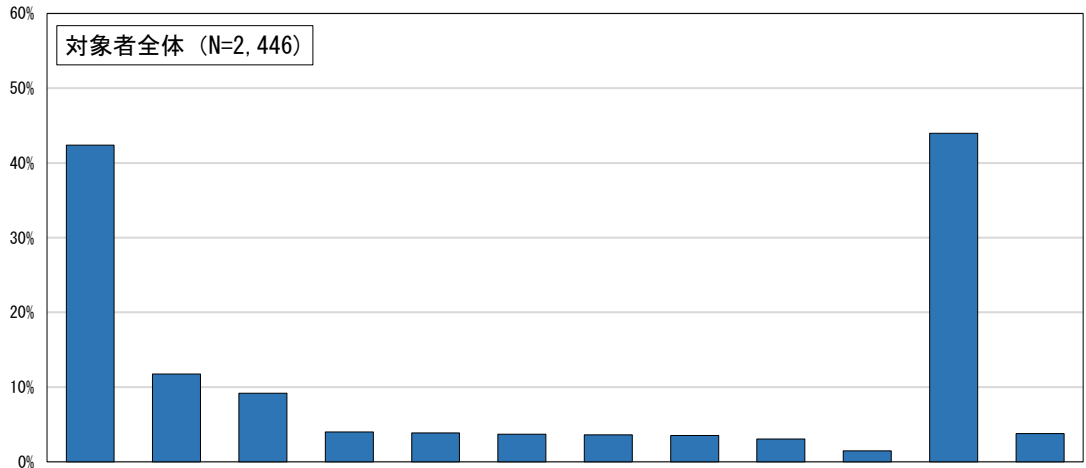
【性別】「時間がないから」は女性が21.5%と、男性の14.2%より7.3ポイント高くなっている。また、「興味や関心がないから」は男性が16.5%と、女性の9.0%より7.5ポイント高くなっている。

【年代別】「面倒だから」が30歳代(39.0%)で最も高く、次いで40歳代(30.3%)、29歳以下(28.8%)となっている。

◇食の安全・安心を目指した札幌市の条例等で知っている内容

問5 「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して策定・実施している、札幌市の条例・計画・制度・事業などについて、あなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

食の安全・安心を目指した札幌市の条例等で知っている内容は「食中毒警報・ノロウイルス食中毒注意報・警報」と回答した人が42.4%



対象者数	食中毒警報・ノロウイルス食中毒注意報・警報	さっぽろ HACCP (ハサップ)	札幌市安全・安心な食のまち推進条例	アレルギー原因食品(アレルギー)ピクトグラム(絵文字)	食の安全・安心おもてなしの店推進事業	食品衛生監視指導計画	しろくま忍者の手あらいソング	さっぽろ食の安全・安心推進協定制度	第2次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画	さっぽろ食の安全・安心モニター事業	知っているものはない	無回答
対象者全体 (N=2,446)	42.4	11.7	9.2	4.0	3.9	3.7	3.6	3.5	3.1	1.5	43.9	3.8
性別												
男性	37.7	11.9	9.1	3.4	3.3	3.7	2.2	3.7	2.7	0.8	49.1	3.5
女性	46.0	11.7	9.4	4.4	4.3	3.7	4.6	3.4	3.4	1.9	40.5	3.7
その他	37.5	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
年代別												
29歳以下	25.8	21.1	4.6	4.1	0.5	2.6	3.1	2.6	0.0	0.0	53.1	1.5
30~39歳	23.4	13.4	4.2	3.8	3.3	4.6	2.9	2.5	0.4	1.3	62.8	2.1
40~49歳	35.5	15.6	4.3	3.2	4.3	1.3	5.1	1.9	2.4	0.0	51.6	1.3
50~59歳	40.1	12.0	4.8	2.4	3.1	1.9	3.8	1.9	1.7	0.5	49.5	2.4
60~69歳	50.2	12.1	9.6	4.3	3.6	3.6	1.7	2.3	3.0	1.9	40.6	2.3
70歳以上	53.3	6.5	17.1	5.3	5.4	6.1	4.5	6.8	6.1	2.9	29.9	7.6

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食の安全・安心を目指した札幌市の条例等で知っている内容は、「食中毒警報・ノロウイルス食中毒注意報・警報」が42.4%、「さっぽろ HACCP (ハサップ)」が11.7%、「札幌市安全・安心な食のまち推進条例」が9.2%となっている。

【性別】「食中毒警報・ノロウイルス食中毒注意報・警報」は女性が46.0%と、男性の37.7%より8.3ポイント高くなっている。

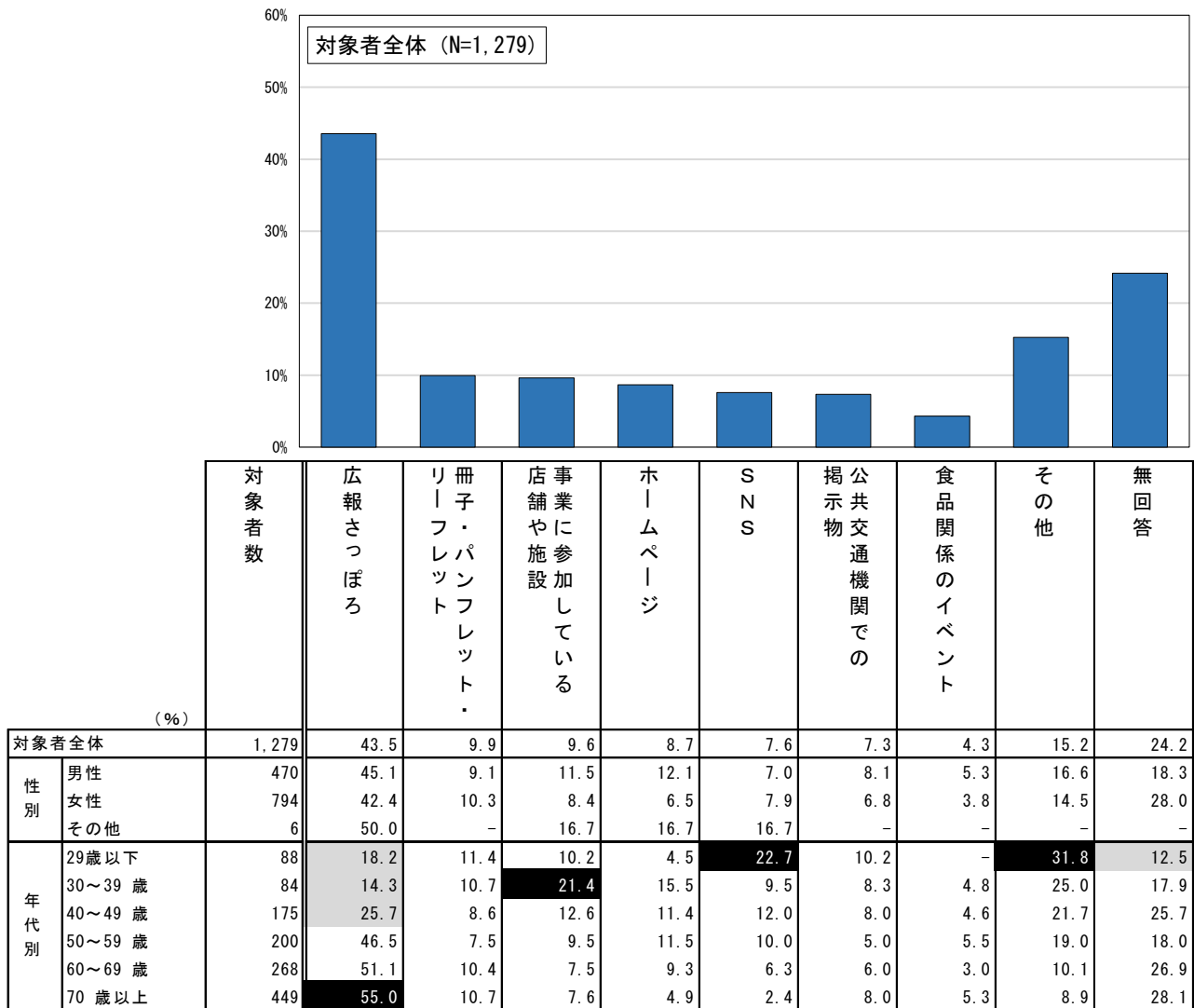
【年代別】「食中毒警報・ノロウイルス食中毒注意報・警報」が70歳以上(53.3%)で最も高く、最も低い30歳代(23.4%)と比べると29.9ポイントの差となっている。

◇食の安全・安心を目指した札幌市の条例等の認知方法

《問5で「1 札幌市安全・安心な食のまち推進条例」から「10 アレルギー原因食品（アレルゲン）ピクトグラム（絵文字）」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問5-1 あなたは、その情報をどのように知りましたか。次の中から、いくつでも○をつけてください。

食の安全・安心を目指した札幌市の条例等の認知方法は「広報さっぽろ」と回答した人が43.5%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食の安全・安心を目指した札幌市の条例等の認知方法は、「広報さっぽろ」が43.5%、「冊子・パンフレット・リーフレット」が9.9%、「事業に参加している店舗や施設」が9.6%となっている。

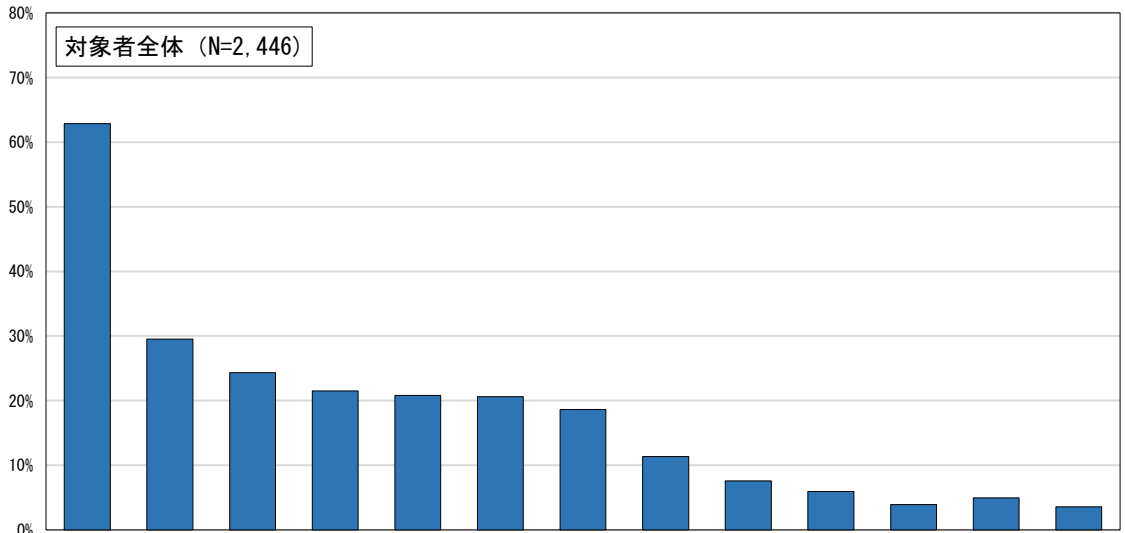
【性別】「ホームページ」は男性が12.1%と、女性の6.5%より5.6ポイント高くなっている。

【年代別】70歳以上では「広報さっぽろ」が、29歳以下では「SNS」が最も高くなっている。

◇食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報の取得をしたいと思う方法

問6 食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報について、あなたが受け取りたいと思う方法を、次の中からいくつでも○をつけてください。

食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報の取得をしたいと思う方法は、「広報さっぽろ」への掲載」と回答した人が 62.8%



対象者数	「広報さっぽろ」への掲載	地下鉄、路線バス内の広告	の情報誌（タウン誌など）への掲載	JR駅、地下鉄駅でのポスターの掲示	パンフレット・リーフレットの配布	ホームページへの掲載	SNS	地下鉄駅の大型電照広告	イベントの実施	映画上映前の動画CM	メールマガジン配信	その他	無回答
対象者全体 (N=2,446)	62.8	29.5	24.3	21.5	20.8	20.6	18.6	11.3	7.6	6.0	3.9	4.9	3.6
性別													
男性	59.8	26.1	22.8	19.1	17.8	24.6	18.1	10.6	6.4	4.9	3.7	6.6	3.4
女性	65.4	31.9	25.6	23.2	23.2	17.9	19.1	11.8	8.6	6.7	3.9	3.7	3.4
その他	12.5	50.0	-	50.0	-	12.5	37.5	37.5	-	12.5	25.0	12.5	-
年代別													
29歳以下	22.7	53.6	8.2	42.3	7.7	17.0	46.9	27.8	7.2	13.9	1.5	4.1	2.6
30～39歳	38.1	41.0	21.8	32.6	13.8	20.5	41.0	17.2	9.6	15.1	5.4	6.3	2.5
40～49歳	55.6	32.5	26.3	25.5	15.1	29.6	25.8	14.2	9.7	7.8	4.3	4.6	2.4
50～59歳	60.6	33.4	25.7	23.6	21.4	24.0	20.7	9.9	9.4	4.8	5.3	6.5	2.6
60～69歳	73.4	20.2	26.8	13.8	23.8	23.6	10.4	6.8	8.1	4.0	5.5	5.1	3.0
70歳以上	80.9	21.6	26.0	13.8	27.5	12.7	4.0	7.1	4.9	1.7	2.1	3.8	5.3

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報の取得をしたいと思う方法は、「広報さっぽろ」への掲載」が 62.8%、「地下鉄・路線バス内の広告」が 29.5%、「情報誌（タウン誌など）への掲載」が 24.3%となっている。

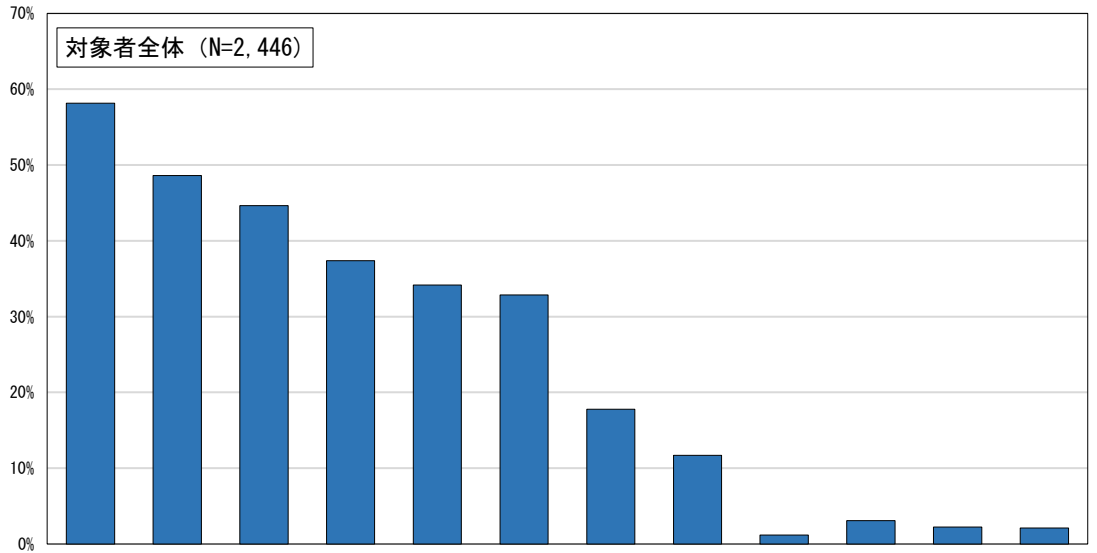
【性別】「広報さっぽろ」への掲載、「地下鉄・路線バス内の広告」、「パンフレット・リーフレットの配布」は女性が男性よりも 5.4 ポイント以上高くなっている。また、「ホームページへの掲載」は男性が 24.6%と、女性の 17.9%より 6.7 ポイント高くなっている。

【年代別】「地下鉄・路線バス内の広告」は 29 歳以下 (53.6%) で最も高く、次いで 30 歳代 (41.0%)、50 歳代 (33.4%) となっている。

◇食の安全・安心の確保のために札幌市に力を入れてほしい取り組み

問7 食の安全・安心の確保のために札幌市が行う取り組みのうち、あなたが力を入れてほしいことにくっでも○をつけてください。

食の安全・安心確保のために札幌市に力を入れてほしい取り組みは、「製造所や飲食店、販売店などでの衛生指導」と回答した人が 58.1%



対象者数		製造所や飲食店、販売店などでの衛生指導	わかりやすい情報の提供	食中毒予防に向けた啓発	食中毒発生時の対応	法令違反への厳しい対応	事業者の自主的な衛生管理への支援	札幌市が実施している事業の説明・PR	消費者、事業者、行政の間の情報・意見交換	その他	特にない	わからない	無回答	
(%)														
対象者全体	2,446	58.1	48.6	44.6	37.4	34.2	32.9	17.8	11.7	1.2	3.1	2.2	2.1	
性別	男性	993	53.0	45.3	43.4	35.9	36.9	29.8	17.5	10.7	1.9	4.2	1.5	1.2
	女性	1,421	62.0	51.4	45.6	38.8	32.2	35.3	17.9	12.5	0.6	2.3	2.8	2.5
	その他	8	62.5	37.5	37.5	25.0	50.0	25.0	25.0	12.5	-	-	-	-
年代別	29歳以下	194	51.0	45.9	38.7	35.6	30.4	29.9	17.5	14.9	-	4.1	1.0	1.5
	30～39歳	239	52.3	49.8	38.1	31.0	36.8	33.5	16.3	10.9	1.7	2.9	2.9	1.7
	40～49歳	372	59.7	46.0	36.6	39.0	42.7	33.1	15.3	12.6	2.2	3.5	1.6	1.1
	50～59歳	416	61.8	50.2	42.3	35.3	33.2	33.7	14.7	8.2	1.7	4.3	2.9	1.2
	60～69歳	470	61.3	52.1	45.5	38.9	31.9	32.1	19.4	11.1	0.9	3.2	1.7	1.7
	70歳以上	719	57.7	47.1	53.5	39.4	32.0	33.4	20.4	13.5	0.7	1.9	2.6	3.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食の安全・安心の確保のために札幌市に力を入れてほしい取り組みは、「製造所や飲食店、販売店などでの衛生指導」が 58.1%、「わかりやすい情報の提供」が 48.6%、「食中毒予防に向けた啓発」が 44.6%となっている。

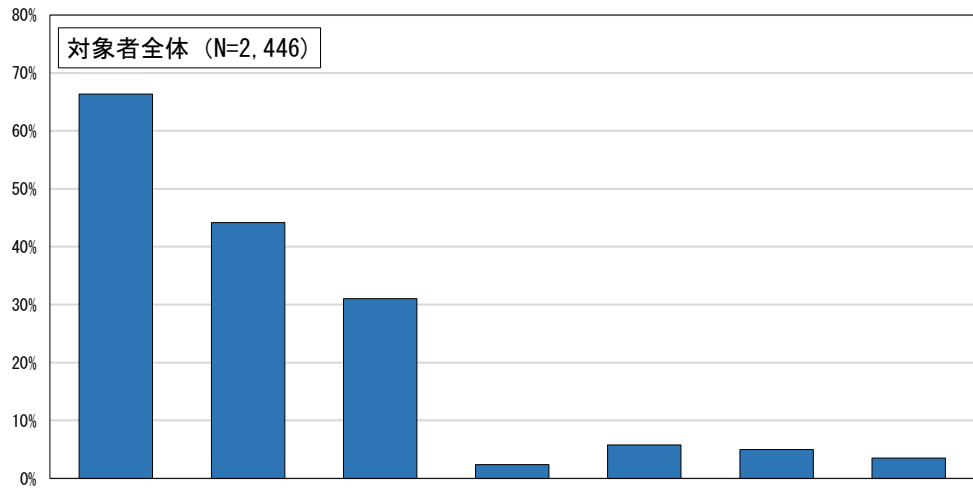
【性別】「製造所や飲食店、販売店などでの衛生指導」、「わかりやすい情報の提供」、「事業者の自主的な衛生管理への支援」は女性が男性よりも 5.5 ポイント以上高くなっている。

【年代別】「食中毒予防に向けた啓発」が 70 歳以上 (53.5%) で最も高く、最も低い 40 歳代 (36.6%) と比べると 16.9 ポイントの差となっている。

◇食の安全・安心の確保のために事業所に力を入れてほしい取り組み

問8 食の安全・安心の確保のために事業所が行う取り組みのうち、あなたが力を入れてほしいことにいくつかでも○をつけてください。

食の安全・安心確保のために事業所に力を入れてほしい取り組みは、「消費者への積極的な情報提供」と回答した人が66.4%



対象者数		消費者への積極的な情報提供	PRの推進	食の安全・安心を推進していること	札幌市が実施する食の安全・安心に関する事業や取り組みへの参加・登録	その他	特になし	わからない	無回答
対象者全体		2,446	66.4	44.2	31.0	2.4	5.8	5.0	3.5
性別	男性	993	66.4	38.6	28.5	2.8	7.9	3.9	2.3
	女性	1,421	66.3	48.3	33.3	1.9	4.4	5.8	4.1
	その他	8	87.5	37.5	12.5	12.5	-	-	-
年代別	29歳以下	194	63.9	37.6	29.9	1.0	8.8	5.2	1.5
	30～39歳	239	59.8	38.1	33.1	3.3	6.7	7.5	1.3
	40～49歳	372	67.2	41.1	30.9	3.5	7.0	5.6	1.6
	50～59歳	416	68.3	40.1	30.5	3.1	6.3	5.3	1.4
	60～69歳	470	67.4	48.7	34.3	1.7	5.7	3.8	3.6
	70歳以上	719	66.6	49.4	29.2	1.5	4.0	4.5	6.5

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食の安全・安心確保のために事業所に力を入れてほしい取り組みは、「消費者への積極的な情報提供」が66.4%、「食の安全・安心を推進していることのPR」が44.2%、「札幌市が実施する食の安全・安心に関する事業や取り組みへの参加・登録」が31.0%となっている。

【性別】「食の安全・安心を推進していることのPR」は女性（48.3%）が男性（38.6%）よりも9.7ポイント高くなっている。

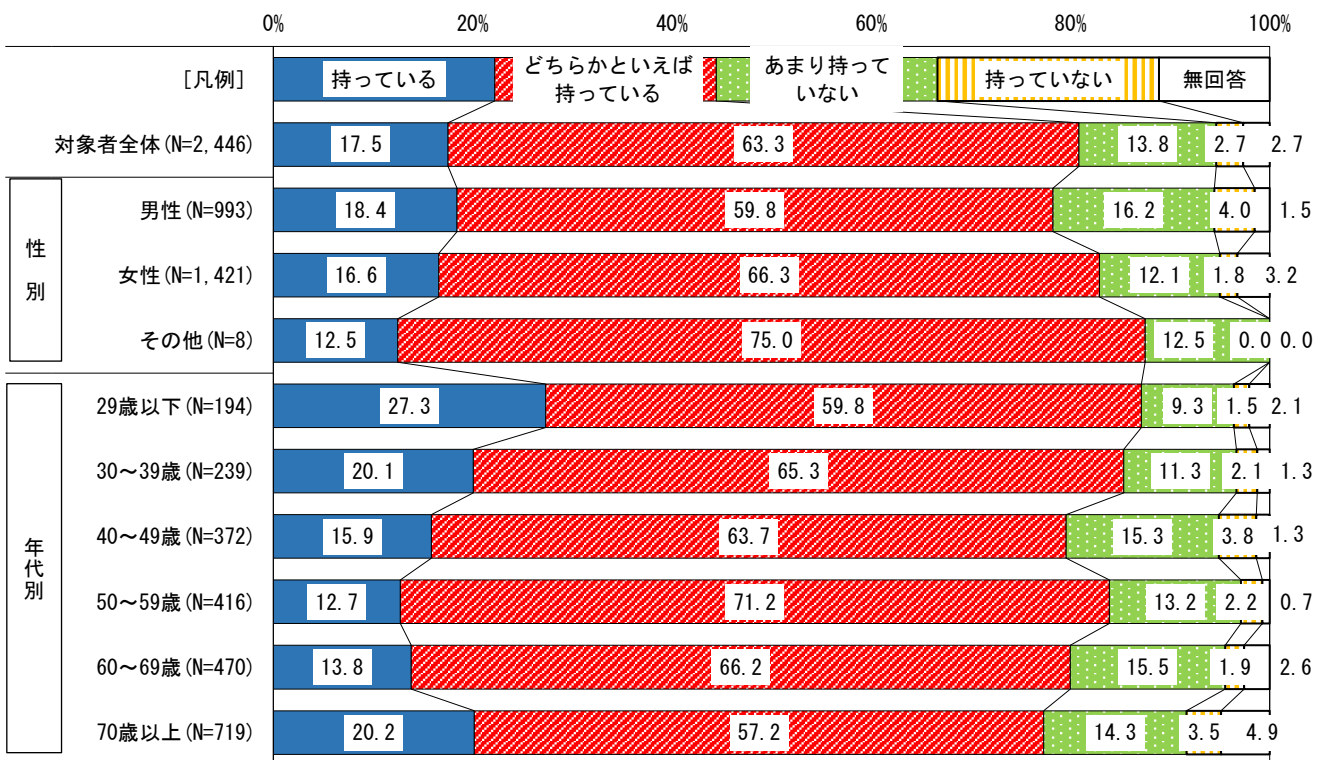
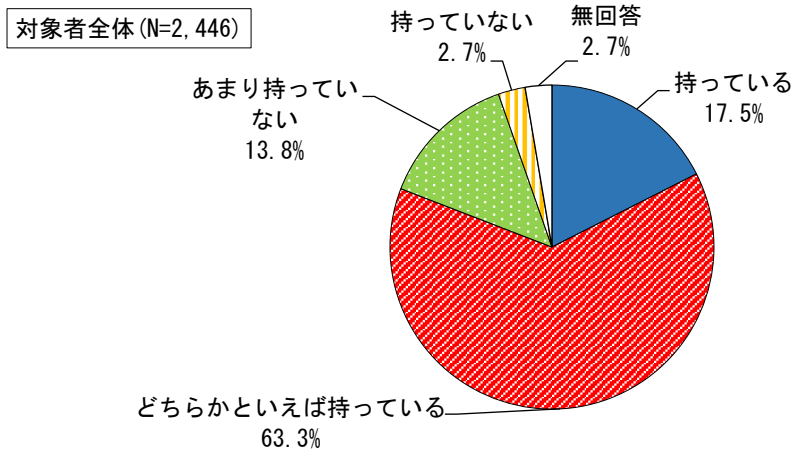
【年代別】「食の安全・安心を推進していることのPR」が70歳以上（49.4%）で最も高く、次いで60歳代（48.7%）、40歳代（41.1%）となっている。

◇「札幌の食」に対する「安全・安心」というイメージの有無

問9 あなたは「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っていますか。次の中から、あなたがもつイメージに近いものに1つだけ○をつけてください。

「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを“持っている”と回答した人が 80.8%

※ “持っている”（「持っている」＋「どちらかといえば持っている」）



【全体】「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っているかは、「持っている」が 17.5%、「どちらかといえば持っている」が 63.3%、合わせると 80.9%となっている。一方で、「あまり持っていない」は 13.8%、「持っていない」は 2.7%、合わせると 16.5%となっている。

【性別】“持っていない”（「あまり持っていない」＋「持っていない」）は男性で 20.2%と、女性の 13.9%より 6.3ポイント高くなっている。

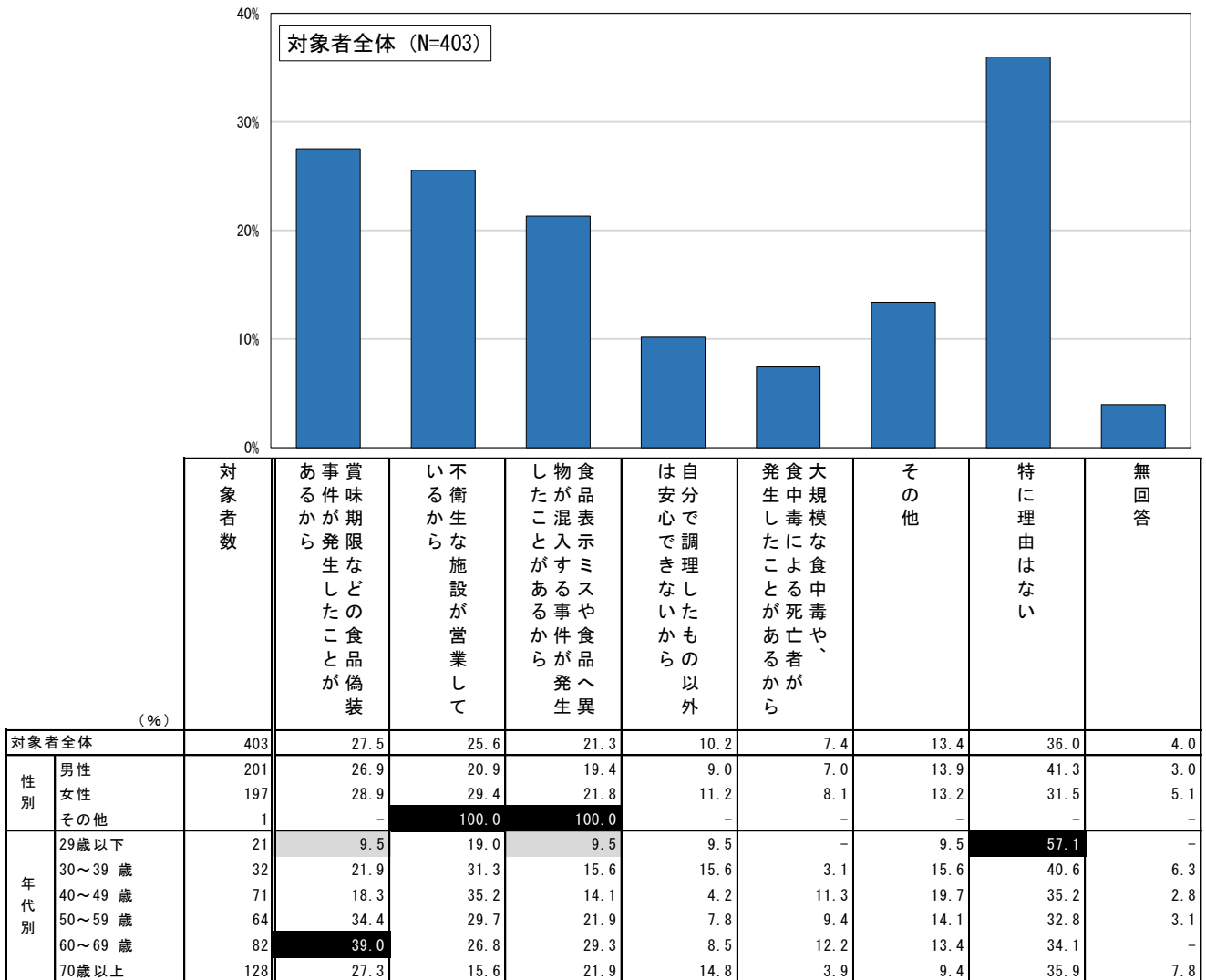
【年代別】“持っている”が 29歳以下 (87.1%) で最も高く、次いで 30歳代 (85.4%)、50歳代 (83.9%) となっている。

◇「札幌の食」に対しての「安全・安心」というイメージを持っていない理由

《問9で、「3 あまり持っていない」または「4 持っていない」と回答した方にお聞きします。》

問9-1 あなたが「札幌の食」に対して、「安全・安心」というイメージを持っていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っていない理由は、「賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから」と回答した人が27.5%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全 体】「札幌の食」に対して、「安全・安心」というイメージを持っていない理由は、「賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから」が27.5%、「不衛生な施設が営業しているから」が25.6%、「食品表示ミスや食品へ異物が混入する事件が発生したことがあるから」が21.3%となっている。

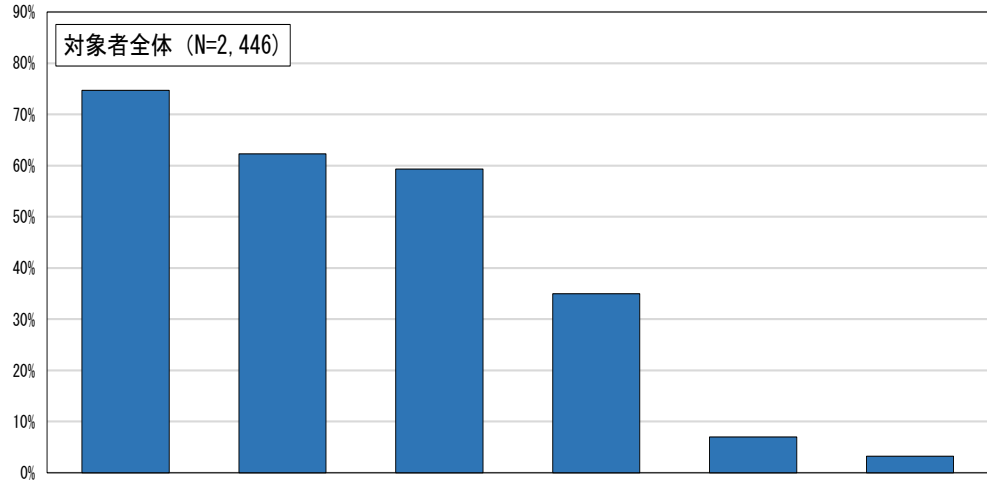
【性 別】「不衛生な施設が営業しているから」は女性が29.4%と、男性の20.9%より8.5ポイント高くなっている。

【年代別】「賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから」が60歳代(39.0%)で最も高く、最も低い29歳以下(9.5%)と比べると29.5ポイントの差となっている。

◇食中毒の特徴について知っている内容

問10 上記の食中毒の特徴について、あなたが知っていることを、次の中から、いくつでも○をつけてください。

食中毒の特徴について知っている内容は、「手や器具を介して生肉についていた菌が、サラダなどの他のメニューにうつることがあること」と回答した人が74.7%



	対象者数	うなつ手つなどの他のメニューに	起下発食こ病症し、腹痛、おう吐、	こ食にが法牛こ食にが法牛加上鶏食	ど	無	
(%)		うなつ手つなどの他のメニューに	起下発食こ病症し、腹痛、おう吐、	こ食にが法牛こ食にが法牛加上鶏食	ど	無	
対象者全体	2,446	74.7	62.3	59.3	35.0	7.0	3.2
性別							
男性	993	65.4	59.3	56.9	28.4	10.7	2.5
女性	1,421	82.0	64.5	61.4	39.5	4.1	3.3
その他	8	87.5	100.0	75.0	62.5	-	-
年代別							
29歳以下	194	72.7	73.2	63.4	30.4	5.7	1.0
30~39歳	239	79.5	70.3	64.9	33.9	6.3	0.8
40~49歳	372	82.8	71.2	60.5	35.8	4.0	1.1
50~59歳	416	81.0	65.1	58.4	39.7	6.5	1.0
60~69歳	470	76.2	61.9	61.9	33.6	8.1	2.8
70歳以上	719	65.8	50.8	55.1	34.1	8.1	6.8
問3-1 十分ある	134	71.6	59.7	71.6	46.3	6.7	5.2
問3-1 ある程度ある	1360	79.9	66.5	65.0	41.8	4.1	3.1
問3-1 あまりない	761	70.6	56.6	49.1	22.2	10.1	2.0
問3-1 全くない	46	50.0	67.4	43.5	17.4	15.2	2.2

【全体】食中毒の特徴について知っている内容は、「手や器具を介して生肉についていた菌が、サラダなどの他のメニューにうつることがあること」が74.7%、「食べてから1~7日以内に発症し、腹痛、おう吐、下痢などの胃腸炎症状を起こすこと」が62.3%となっている。

【性別】「手や器具を介して生肉についていた菌が、サラダなどの他のメニューにうつることがあること」、「食べてから1~7日以内に発症し、腹痛、おう吐、下痢などの胃腸炎症状を起こすこと」、「食中毒予防のためには、鶏肉の中心部が75℃以上に1分間なるように加熱するとよいこと」は、女性が男性よりも5.2ポイント以上高くなっている。

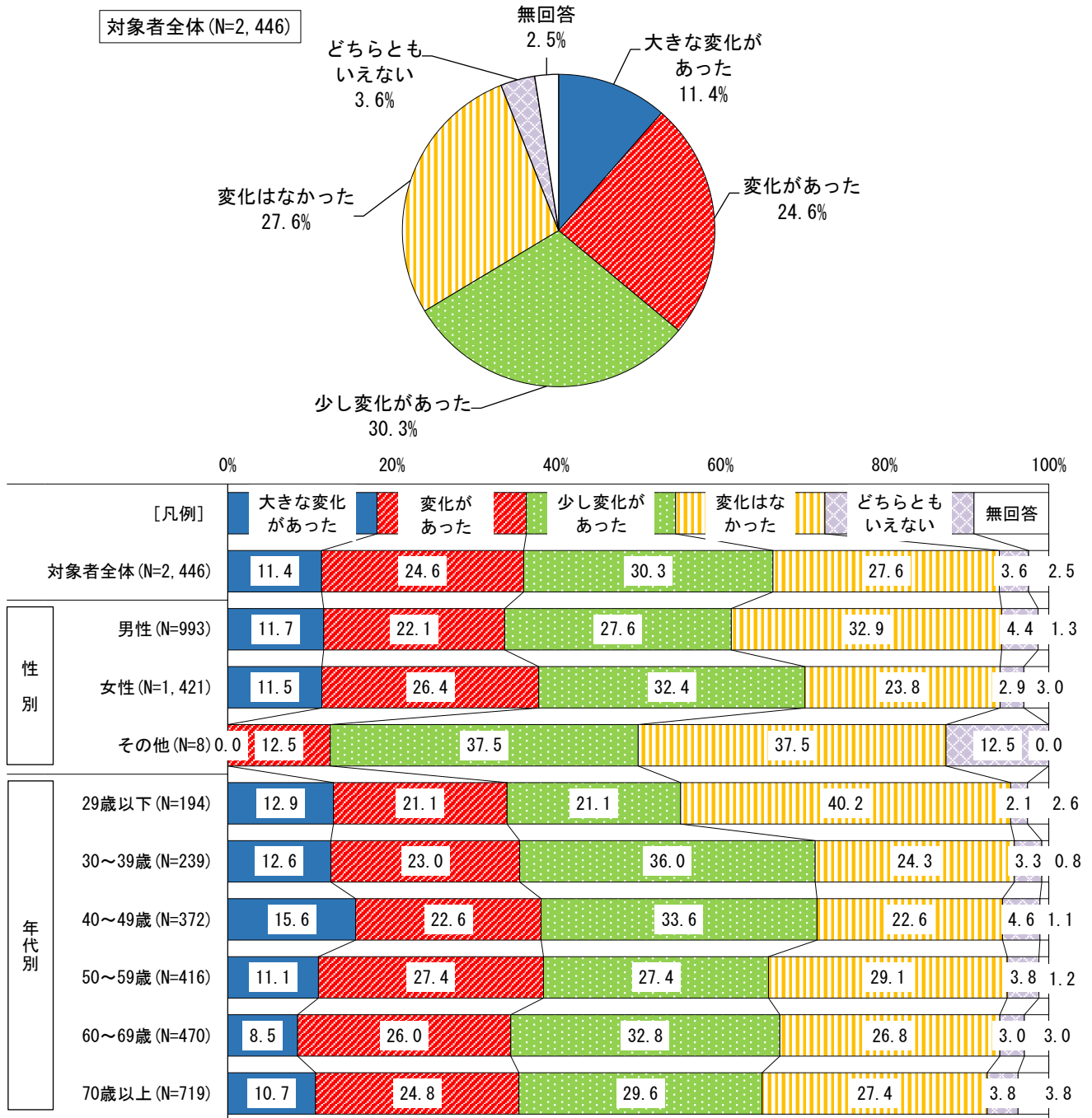
【年代別】29歳以下では「食べてから1~7日以内に発症し、腹痛、おう吐、下痢などの胃腸炎症状を起こすこと」が、30歳以上では「手や器具を介して生肉についていた菌が、サラダなどの他のメニューにうつることがあること」が最も高くなっている。

◇新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化

問 1 1 新型コロナウイルス感染症の拡大により、あなたの食生活には変化がありましたか。次の中から、1つだけ○をつけてください。

新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化は、“変化があった”と回答した人が 66.4%

※ “変化があった”（「大きな変化があった」+「変化があった」+「少し変化があった」）



【全 体】新型コロナウイルス感染症の拡大による食生活の変化は、「大きな変化があった」が 11.4%、「変化があった」が 24.6%、「少し変化があった」が 30.3%、合わせると 66.4%となっている。一方で、「変化はなかった」は 27.6%となっている。

【性 別】“変化があった”は女性が 70.3%と、男性の 61.4%よりも 8.9 ポイント高くなっている。

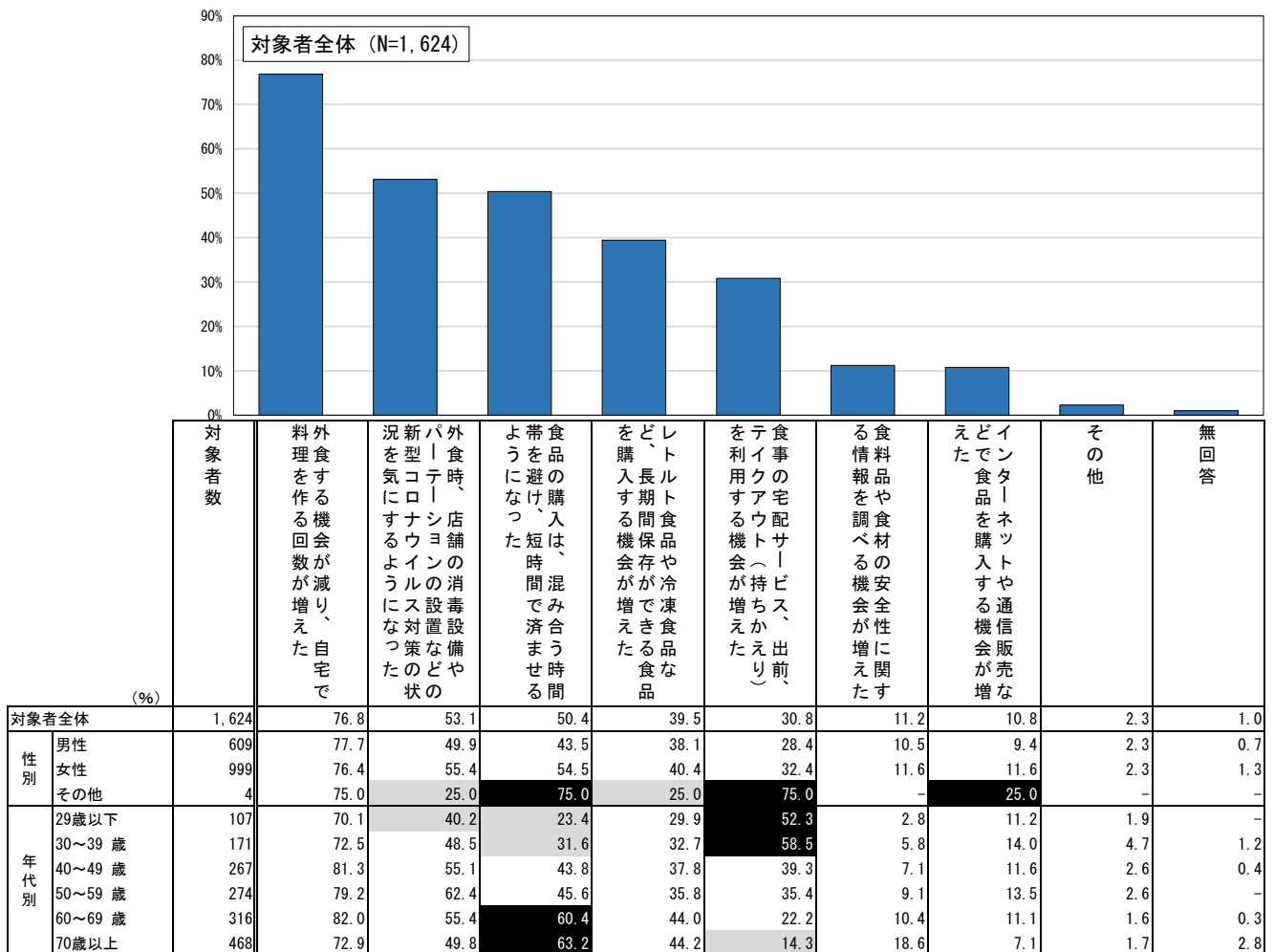
【年代別】“変化があった”は 40 歳代 (71.8%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (55.1%) と比べると 16.7 ポイントの差となっている。

◇食生活の変化の内容

《問11で、「1 大きな変化があった」から「3 少し変化があった」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。》

問11-1 あなたの食生活の変化について、次の中から、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

食生活の変化の内容は「外食する機会が減り、自宅で料理を作る機会が増えた」と回答した人が76.8%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】食生活の変化の内容は、「外食する機会が減り、自宅で料理をする回数が増えた」が76.8%、「外食時、店舗の消毒設備やパーテーションの設置などの新型コロナウイルス対策の状況に気になるようになった」が53.1%、「食品の購入は、混み合う時間帯を避け、短時間で済ませるようになった」が50.4%となっている。

【性別】「外食する機会が減り、自宅で料理をする回数が増えた」、「食品の購入は、混み合う時間帯を避け、短時間で済ませるようになった」は女性が男性より5.5ポイント以上高くなっている。

【年代別】「食品の購入は、混み合う時間帯を避け、短時間で済ませるようになった」、「食料品や食材の安全性に関する情報を調べる機会が増えた」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

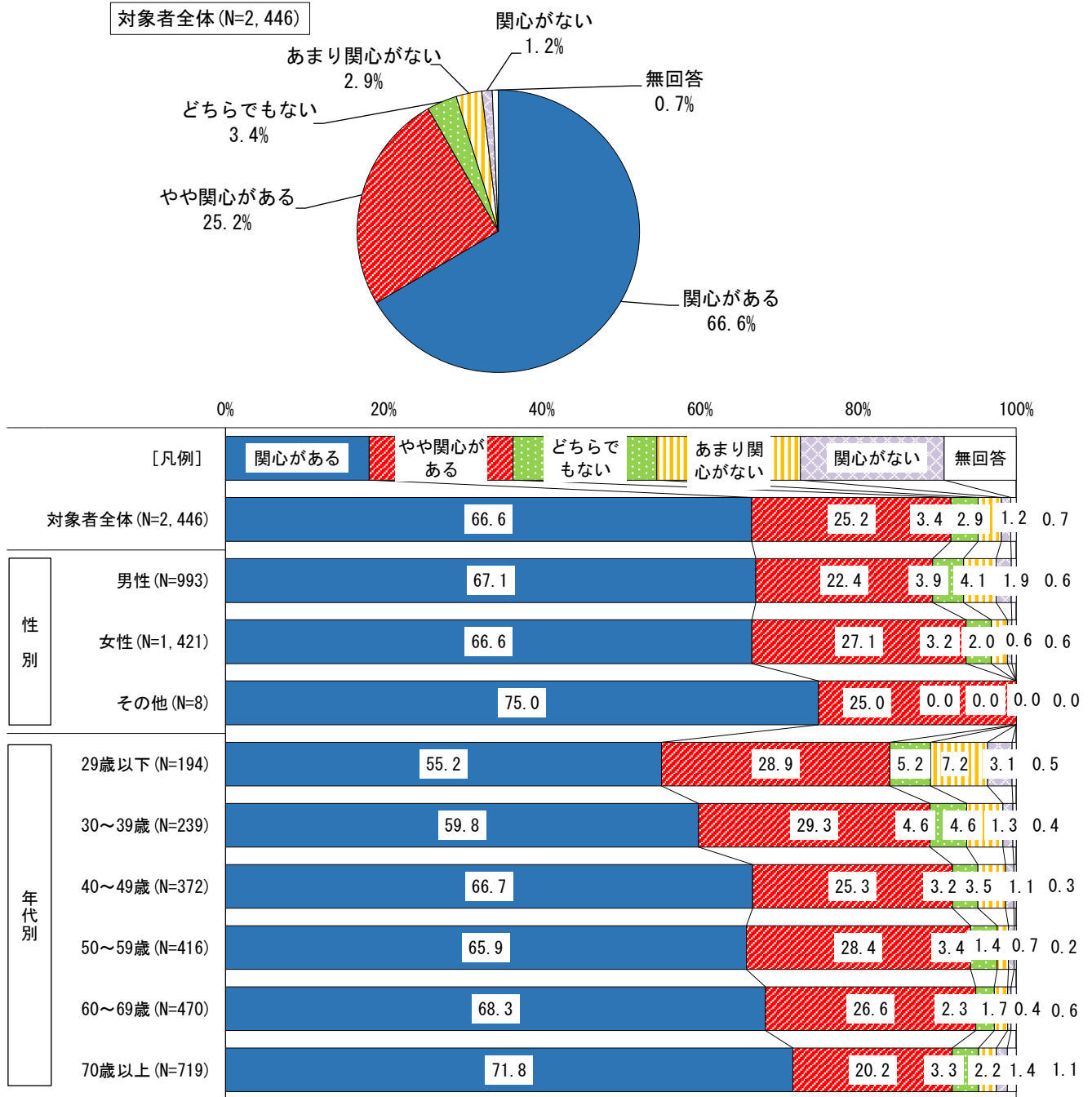
(3)ヒグマに対する意識と札幌市の対策について

◇ヒグマの出没に対する関心の有無

問 1 2 あなたは、市街地や住宅街にヒグマが出没していることについて関心がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

市街地や住宅地にヒグマが出没していることについて“関心がある”人は 91.8%

※“関心がある”（「関心がある」＋「やや関心がある」）



【全 体】市街地や住宅地にヒグマが出没していることについて、「関心がある」が66.6%、「やや関心がある」が25.2%、合わせると91.7%となっている。一方、「あまり関心がない」が2.9%、「関心がない」が1.2%、合わせると4.1%となっている。

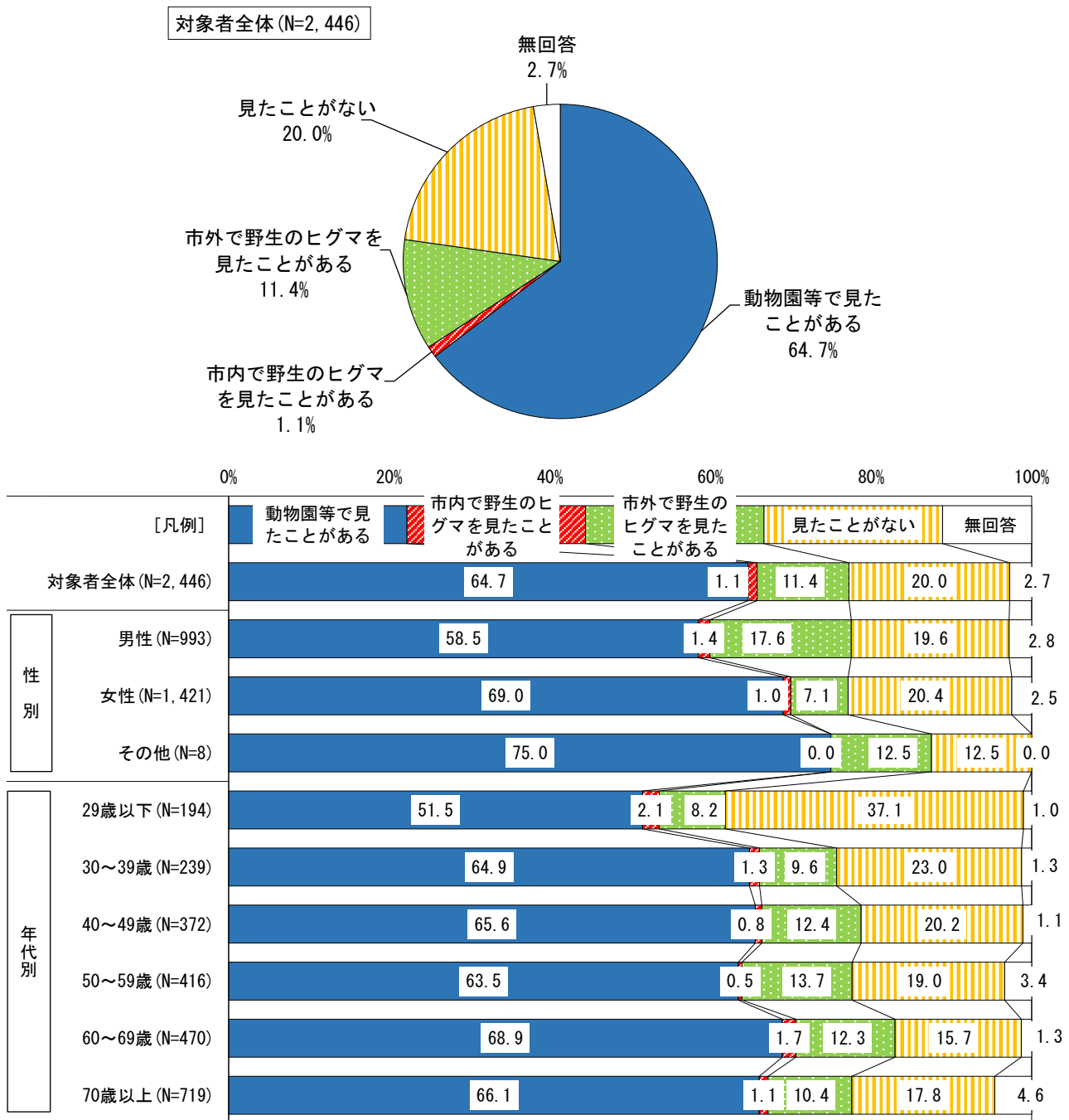
【性 別】大きな差は見られない。

【年代別】“関心がある”が60歳代(94.9%)で最も高く、次いで50歳代(94.3%)、40歳代(92.0%)となっている。

◇ヒグマを見た経験の有無

問13 あなたは、ヒグマを見たことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

ヒグマを見たことがあるかは「動物園等で見たことがある」と回答した人が64.7%



【全体】ヒグマを見たことがあるかは、「動物園等で見たことがある」が64.7%、「市外で野生のヒグマを見たことがある」が11.4%、「市内で野生のヒグマを見たことがある」が1.1%となっている。一方で「見たことがない」が20.0%となっている。

【性別】「動物園等で見たことがある」は女性が69.0%と、男性の58.5%より10.5ポイント高くなっている。また、「市外で野生のヒグマを見たことがある」は男性が17.6%と、女性の7.1%より10.5ポイント高くなっている。

【年代別】「動物園等で見たことがある」が60歳代(68.9%)で最も高く、次いで70歳以上(66.1%)、40歳代(65.6%)となっている。

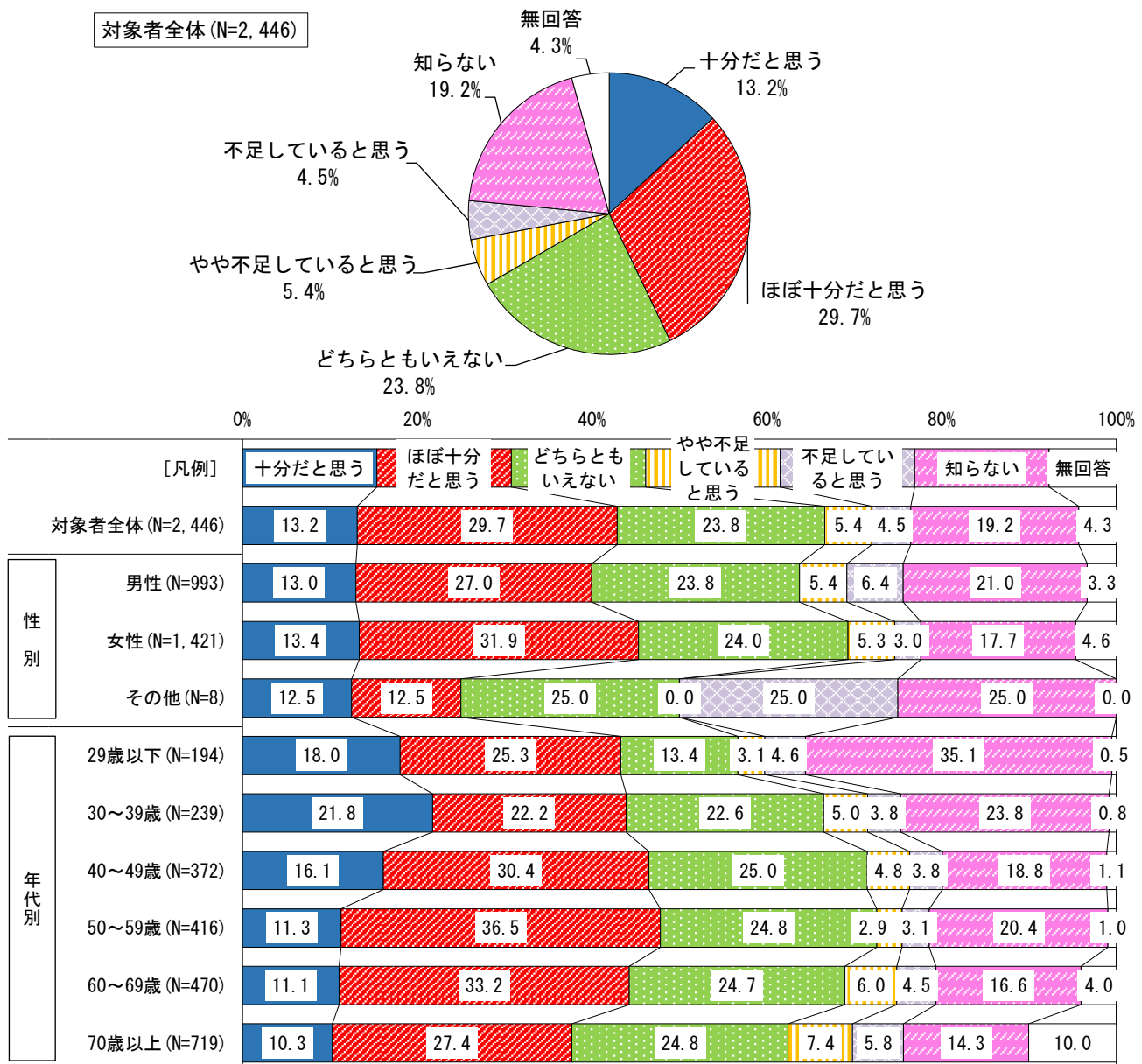
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(ア) 出没時の現場調査（足跡などの痕跡やヒグマを誘因するものが周囲にあるか否かの確認など）

出没時の現場調査（足跡などの痕跡やヒグマを誘因するものが周囲にあるか否かの確認など）は“十分だと思う”と回答した人が42.9%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全体】 出没時の現場調査（足跡などの痕跡やヒグマを誘因するものが周囲にあるか否かの確認など）は、「十分だと思う」が13.2%、「ほぼ十分だと思う」が29.7%、合わせると42.9%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が5.4%、「不足していると思う」が4.5%、合わせると9.9%となっている。

【性別】 “十分だと思う”は女性が45.3%と、男性の40.0%より5.3ポイント高くなっている。

【年代別】 “十分だと思う”が50歳代（47.8%）で最も高く、最も低い70歳以上（37.7%）と比べると10.1ポイントの差となっている。

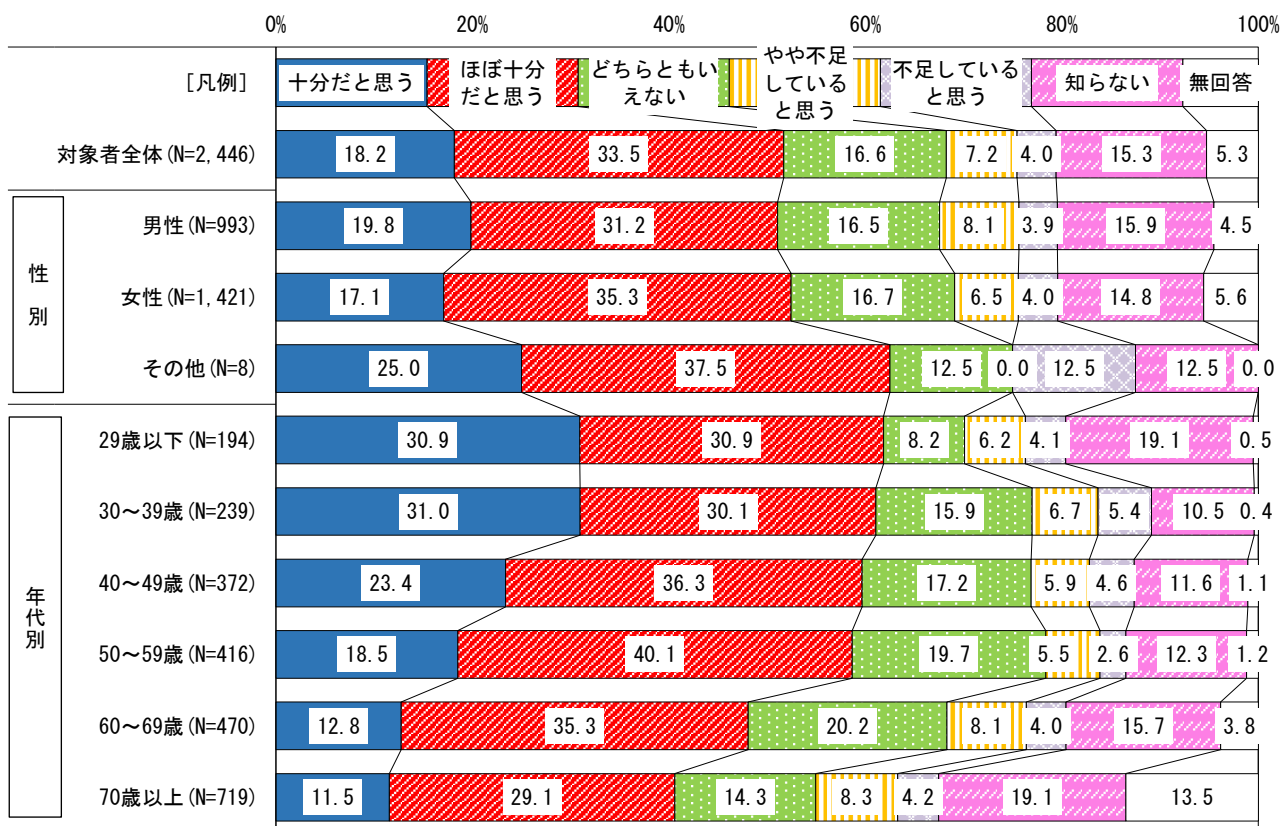
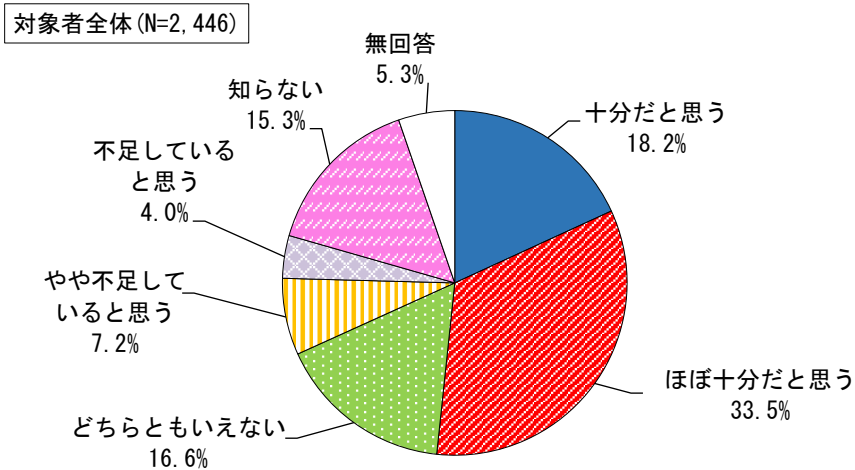
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(イ) 出没情報の提供（ホームページ、SNSなど）

出没情報の提供は“十分だと思う”と回答した人が51.7%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全 体】 出没情報の提供は、「十分だと思う」が18.2%、「ほぼ十分だと思う」が33.5%、合わせると51.7%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が7.2%、「不足していると思う」が4.0%、合わせると11.2%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “十分だと思う” は、年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

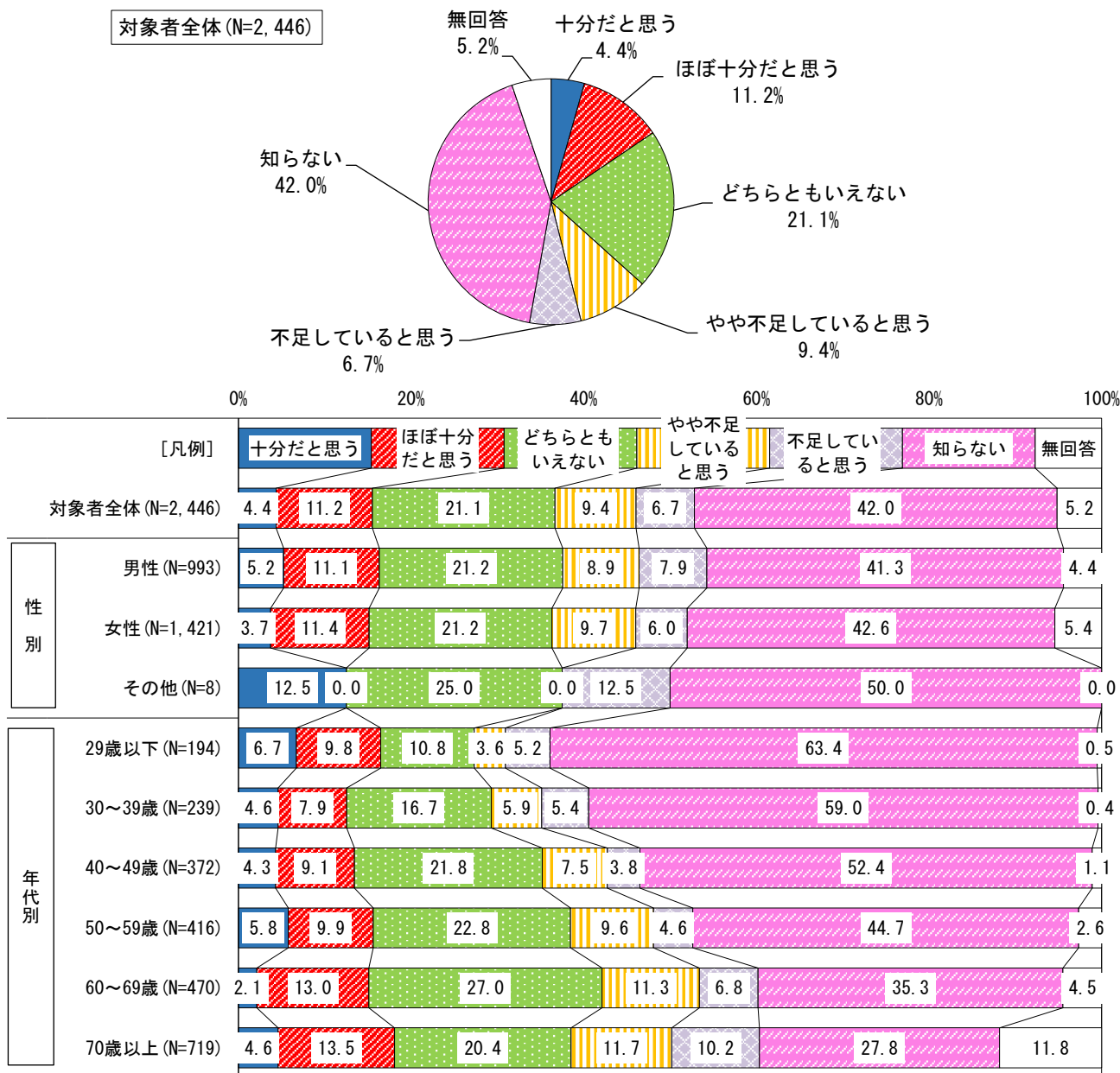
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(ウ) 農家や家庭菜園向けの電気柵普及事業（貸出、購入補助、設置指導）

農家や家庭菜園向けの電気柵普及事業（貸出、購入補助、設置指導）は“十分だと思う”と回答した人が 15.6%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全体】農家や家庭菜園向けの電気柵普及事業（貸出、購入補助、設置指導）は、「十分だと思う」が 4.4%、「ほぼ十分だと思う」が 11.2%、合わせると 15.6%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が 9.4%、「不足していると思う」が 6.7%、合わせると 16.1%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】70歳以上では“十分だと思う”、“不足していると思う”（「やや不足していると思う」＋「不足していると思う」）がどちらも最も高くなっている。

◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

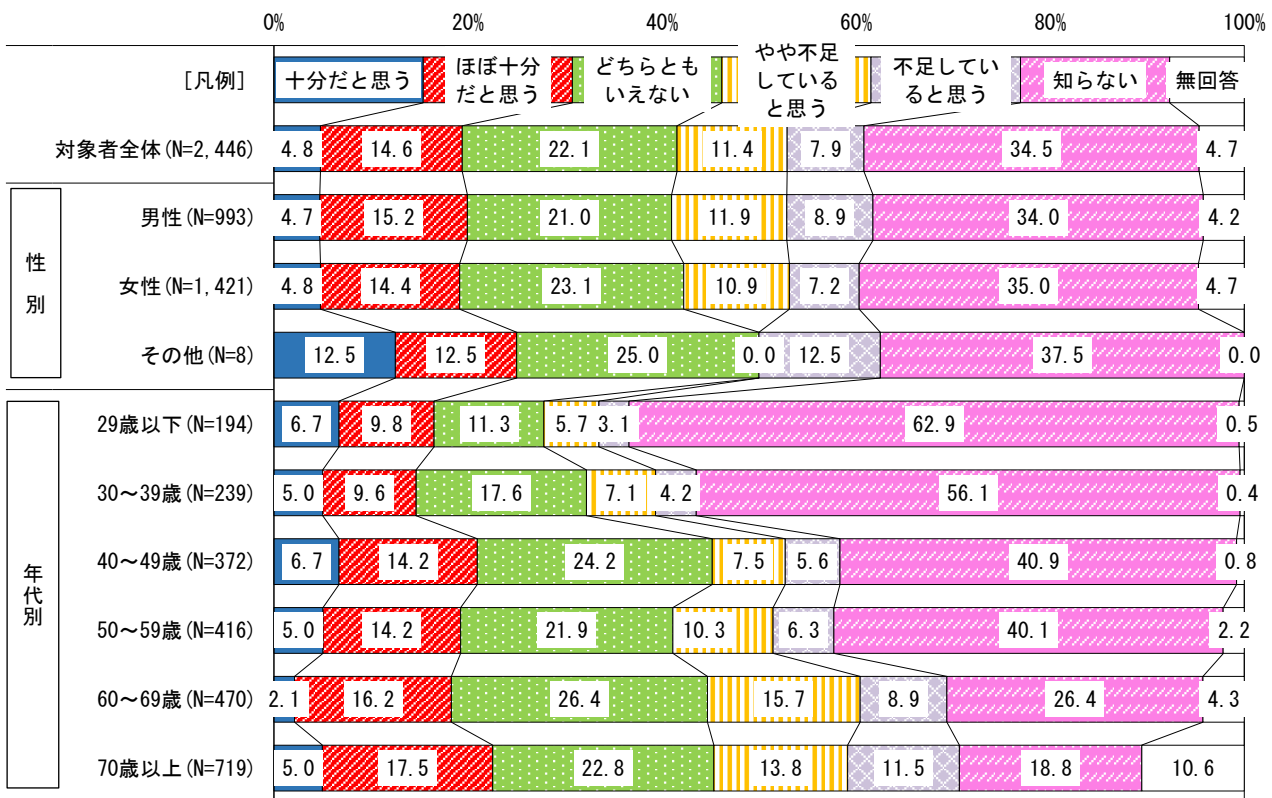
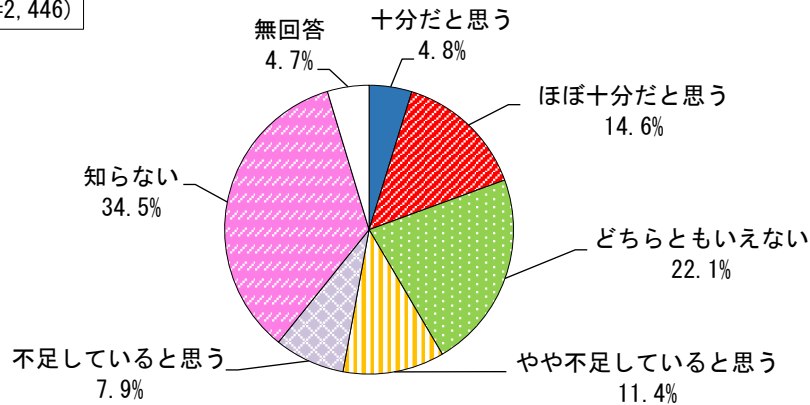
問14 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(エ) 地域住民やボランティアの方々との協働による河川敷の草刈り・放棄果樹の伐採

地域住民やボランティアの方々との協働による河川敷の草刈り・放棄果樹の伐採は、“十分だと思う”と回答した人が19.4%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）

対象者全体 (N=2,446)



【全体】 地域住民やボランティアの方々との協働による河川敷の草刈り・放棄果樹の伐採は、「十分だと思う」が4.8%、「ほぼ十分だと思う」が14.6%、合わせると19.4%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が11.4%、「不足していると思う」が7.9%、合わせると19.3%となっている。

【性別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「やや不足している」「不足していると思う」（「やや不足していると思う」＋「不足していると思う」）は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

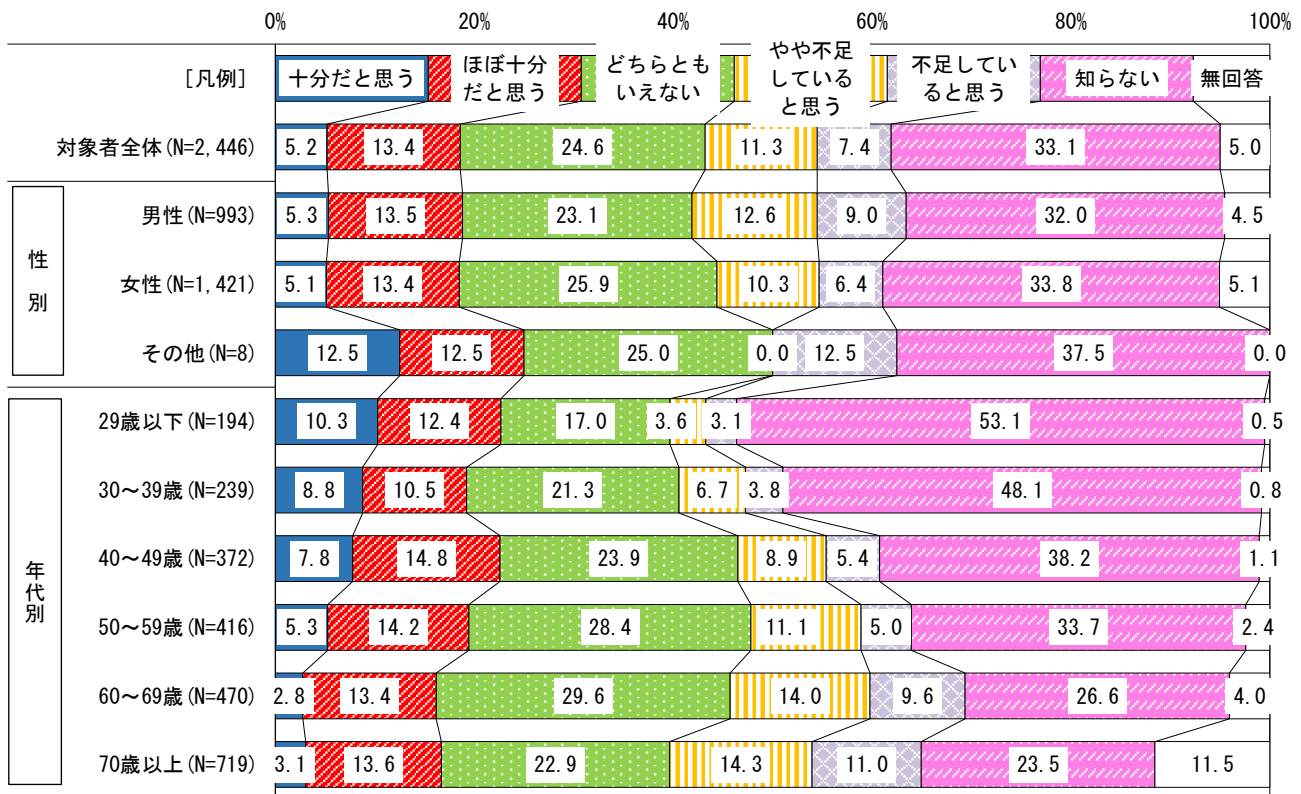
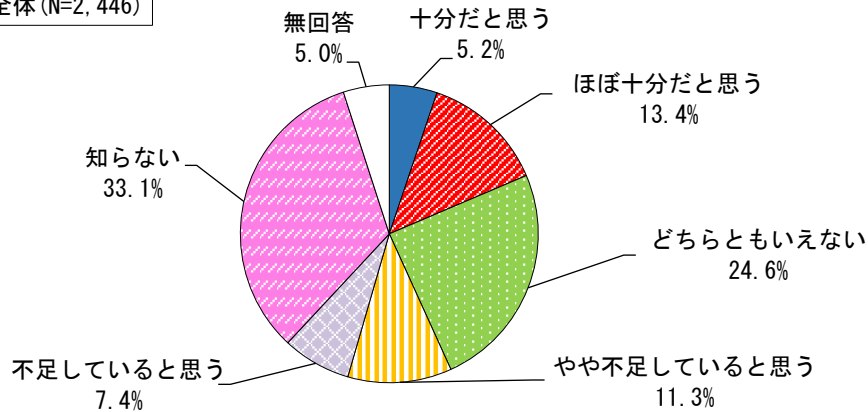
問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(オ) 札幌市近郊におけるヒグマの分布や生息状況を把握するための科学的調査

札幌市近郊におけるヒグマの分布や生息状況を把握するための科学的調査は、“十分だと思う”と回答した人が18.6%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）

対象者全体 (N=2,446)



【全 体】 札幌市近郊におけるヒグマの分布や生息状況を把握するための科学的調査は、「十分だと思う」が5.2%、「ほぼ十分だと思う」が13.4%、合わせると18.6%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が11.3%、「不足していると思う」が7.4%、合わせると18.7%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 “十分だと思う” が29歳以下(22.7%)で最も高く、次いで40歳代(22.6%)、50歳代(19.5%)となっている。

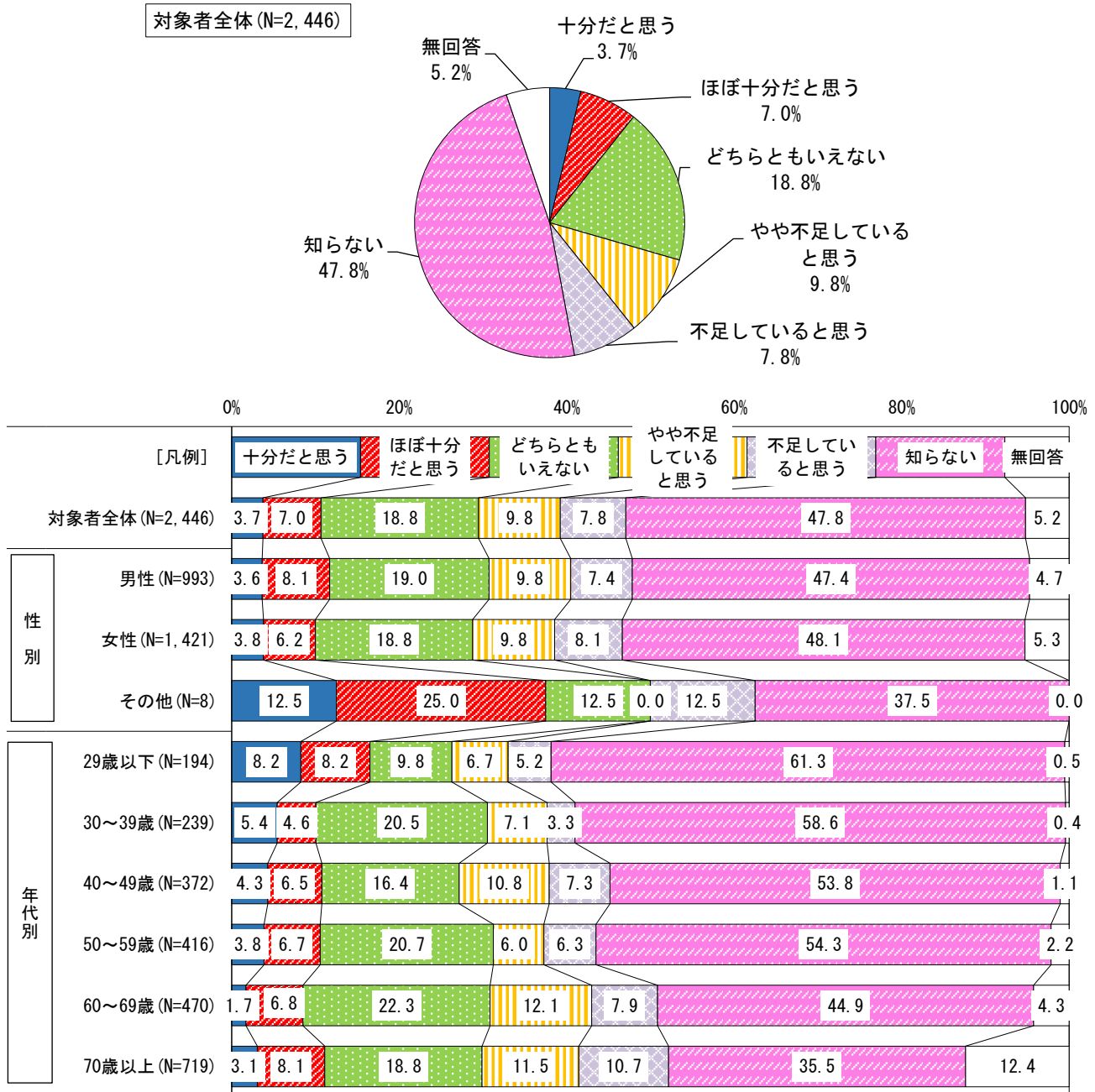
◇札幌市が行っているヒグマ対策の認知度と充実度

問 1 4 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

(カ) 小中学生や市民を対象にしたヒグマの講習会やフォーラム

小中学生や市民を対象にしたヒグマの講習会やフォーラムは、“十分だと思う”と回答した人が 10.7%

※ “十分だと思う”（「十分だと思う」＋「ほぼ十分だと思う」）



【全 体】 小中学生や市民を対象にしたヒグマの講習会やフォーラムは、「十分だと思う」が3.7%、「ほぼ十分だと思う」が7.0%、合わせると10.7%となっている。一方で、「やや不足していると思う」が9.8%、「不足していると思う」が7.8%、合わせると17.6%となっている。

【性 別】 男女で大きな差は見られない。

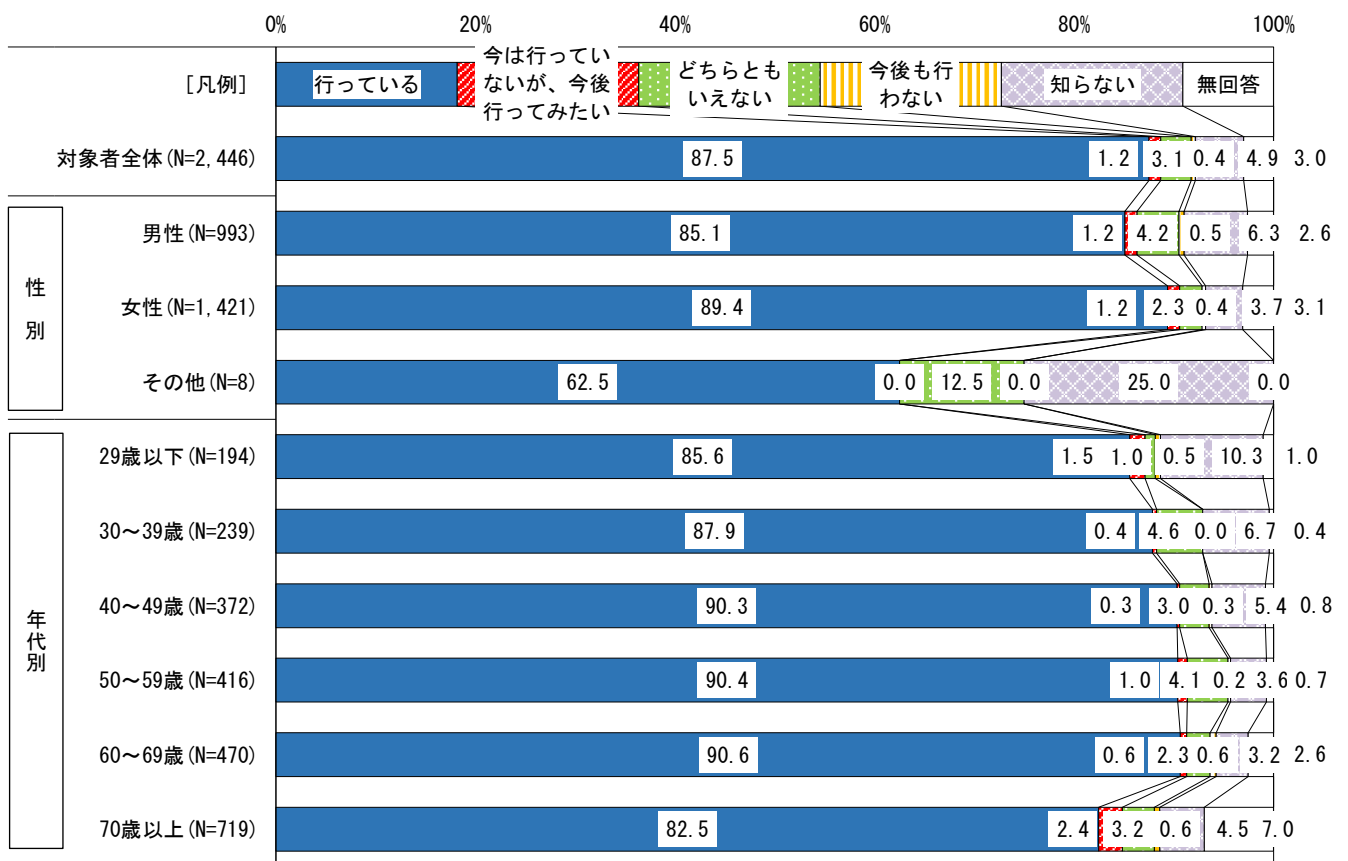
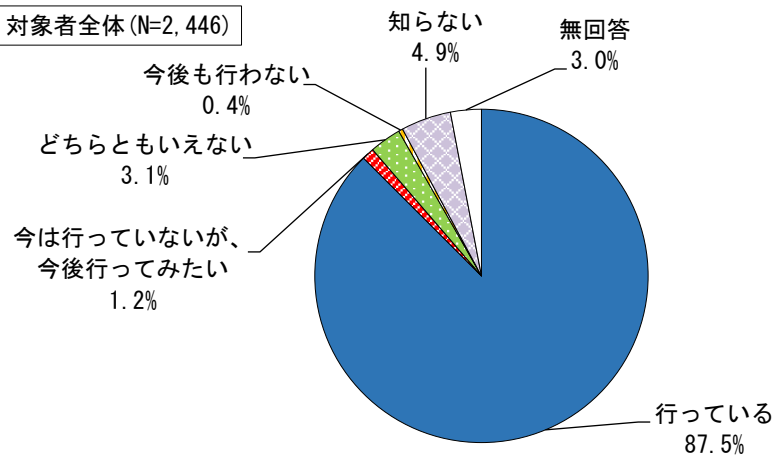
【年代別】 “不足していると思う”（「やや不足していると思う」＋「不足していると思う」）が70歳以上（22.3%）で最も高く、ついで60歳代（22.0%）、40歳代（18.1%）となっている

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ア) ゴミ出しルールを守る（分別して出す、決められた時間にごみステーションに出すなど）

ゴミ出しルールを守る（分別して出す、決められた時間にごみステーションに出すなど）ことは、「行っている」と回答した人が 87.5%



【全 体】 ゴミ出しルールを守る（分別して出す、決められた時間にごみステーションに出すなど）ことは、「行っている」が87.5%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が1.2%、「今後も行わない」が0.4%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

【年代別】 「行っている」は60歳代（90.6%）が最も高く、最も低い70歳以上（82.5%）と比べると、8.1ポイントの差となっている。

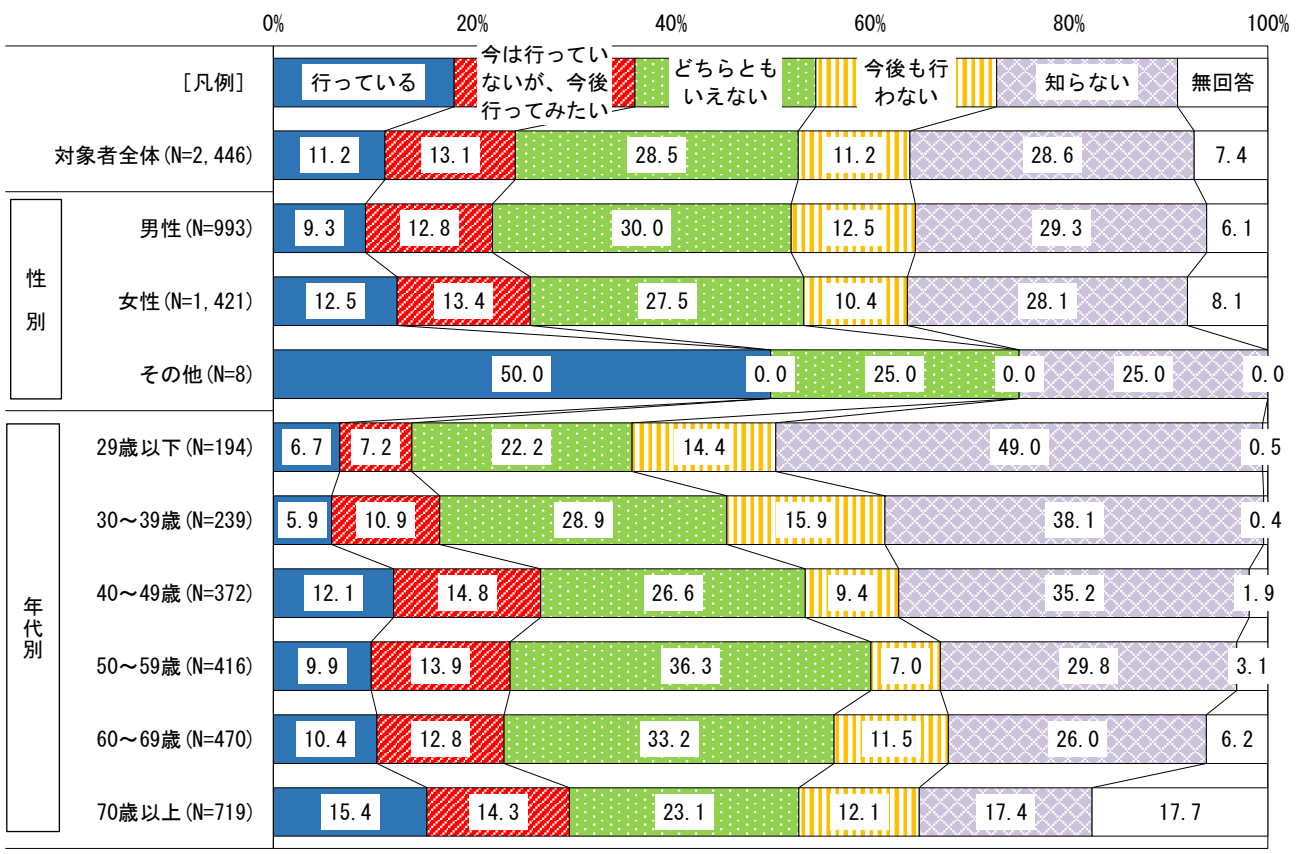
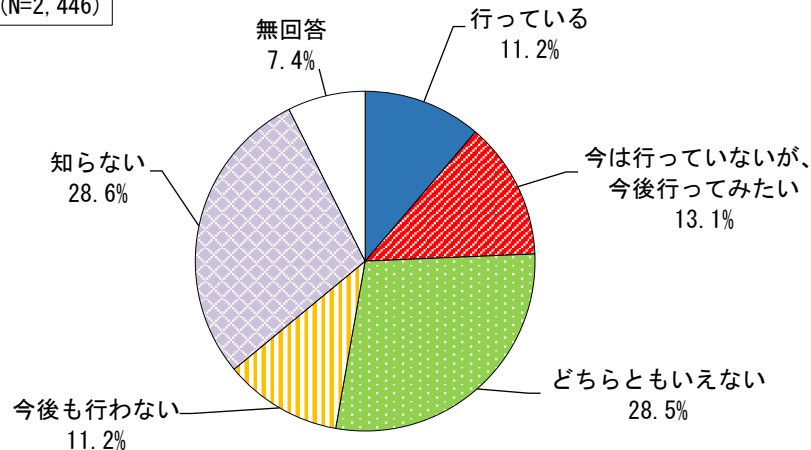
◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問15 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(イ) 見通しの悪いやぶの草刈りを行う（自宅敷地内のほか、町内会行事等で近所の河川敷など）

見通しの悪いやぶの草刈りを行う（自宅敷地内のほか、町内会行事等で近所の河川敷など）ことは、「行っている」と回答した人が11.2%

対象者全体(N=2,446)



【全体】見通しの悪いやぶの草刈りを行う（自宅敷地内のほか、町内会行事等で近所の河川敷など）ことは、「行っている」が11.2%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が13.1%、「今後も行わない」が11.2%となっている。

【性別】大きな差は見られない。

【年代別】「行っている」は70歳以上（15.4%）が最も高く、最も低い30歳代（5.9%）と比べると、9.5ポイントの差となっている。

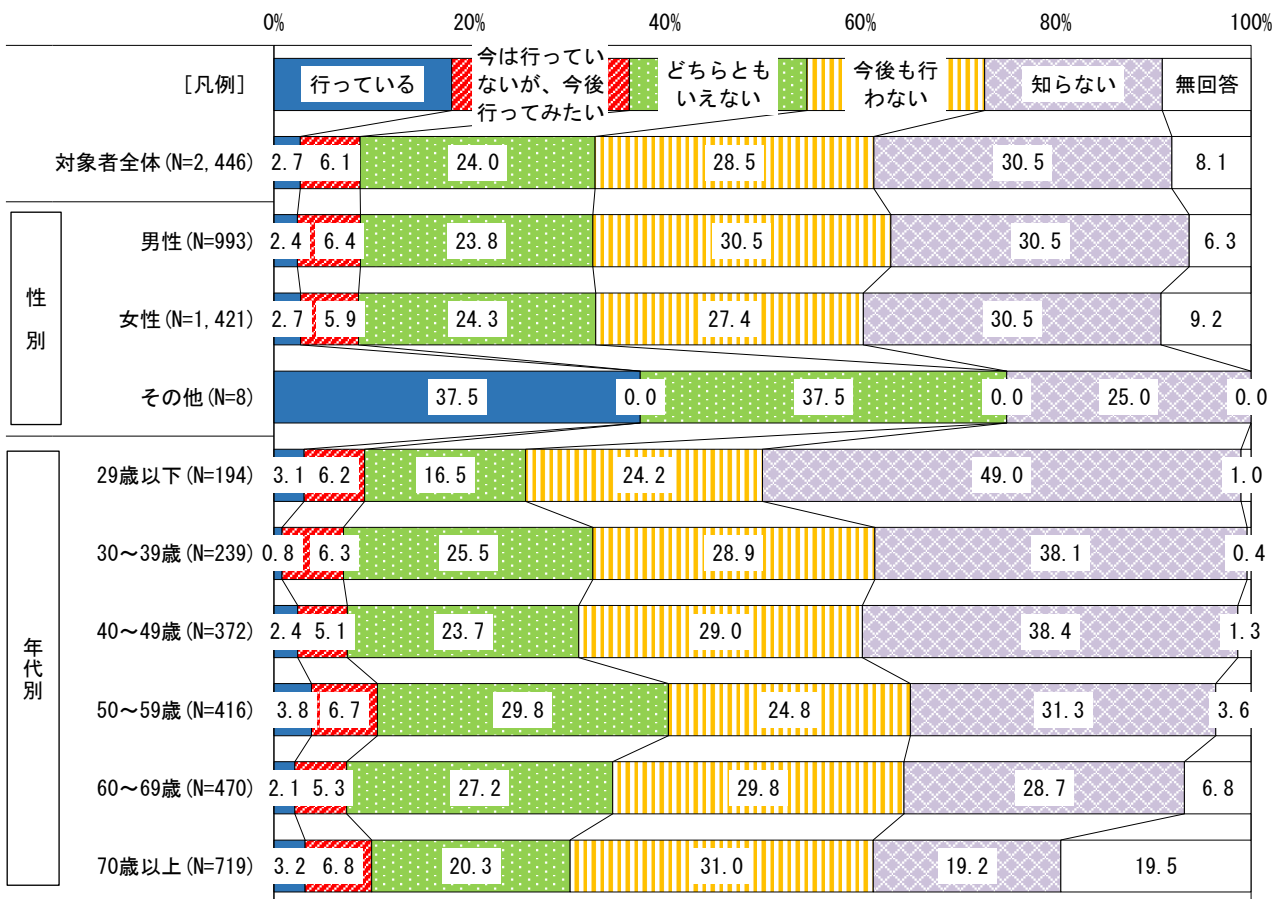
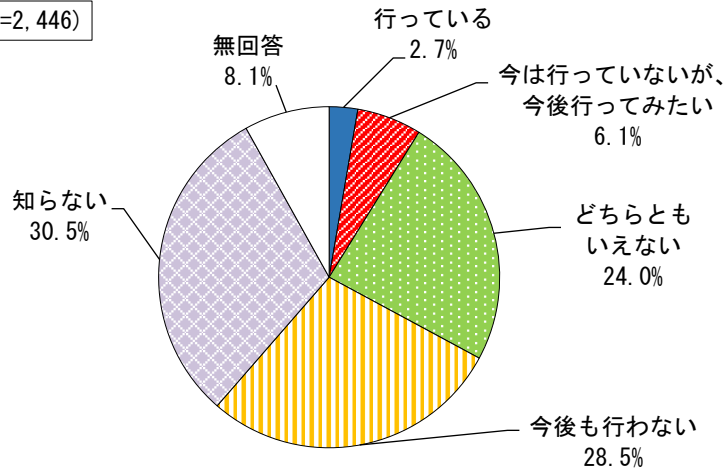
◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ウ) 畑や家庭菜園などを電気柵で囲う

畑や家庭菜園などを電気柵で囲うことは、「行っている」と回答した人が2.7%

対象者全体 (N=2,446)



【全 体】 畑や家庭菜園などを電気柵で囲うことは、「行っている」が2.7%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が6.1%、「今後も行わない」が28.5%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

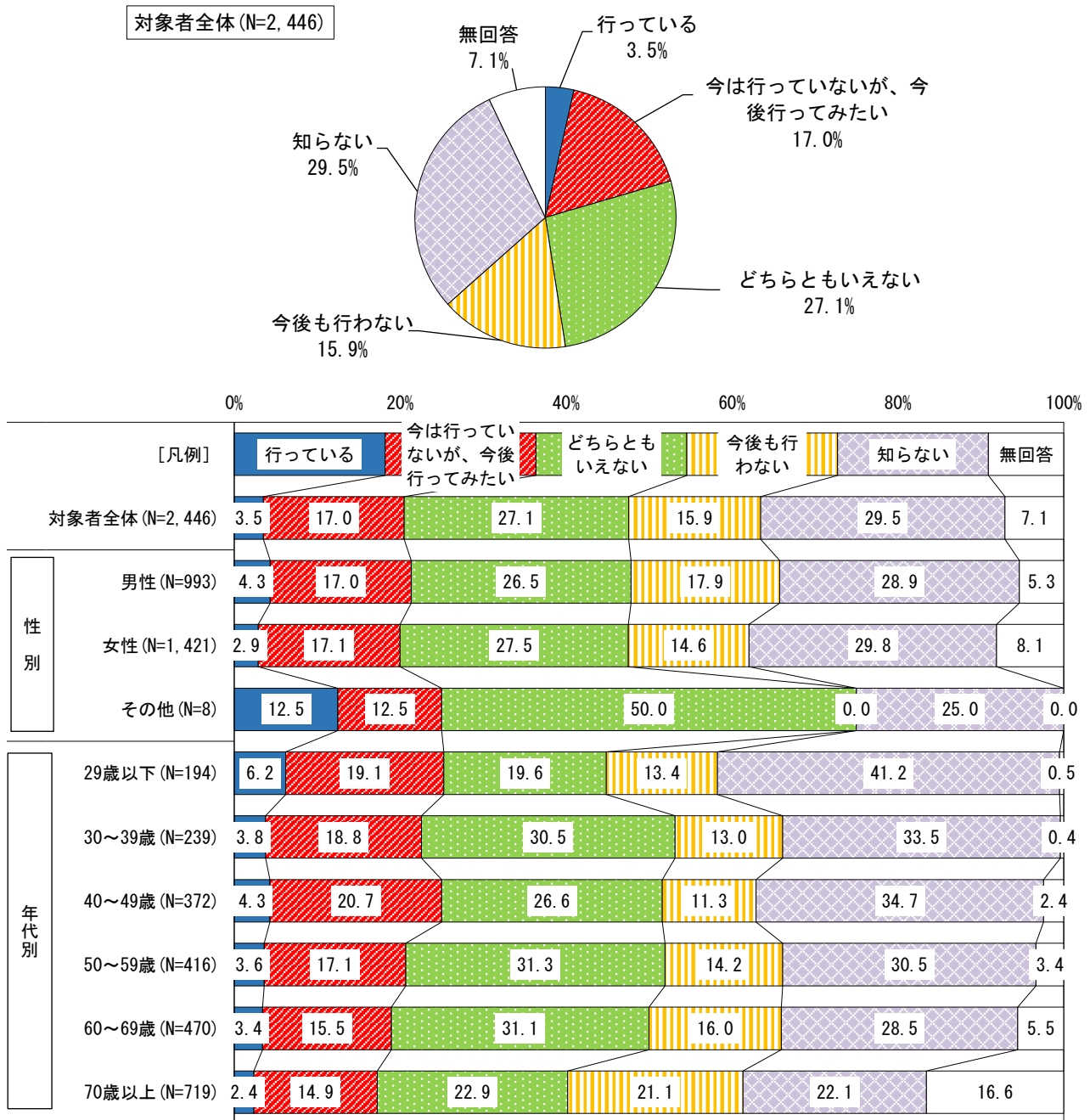
【年代別】 「今後も行わない」が70歳以上(31.0%)で最も高く、次いで60歳代(29.8%)、40歳代(29.0%)となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(エ) ヒグマに関するイベントに参加したり、パンフレット等でヒグマのことを学んだりする

ヒグマに関するイベントに参加したり、パンフレット等でヒグマのことを学んだりすることは、「行っている」と回答した人が 3.5%



【全 体】 ヒグマに関するイベントに参加したり、パンフレット等でヒグマのことを学んだりすることは、「行っている」が3.5%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が17.0%、「今後も行わない」が15.9%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

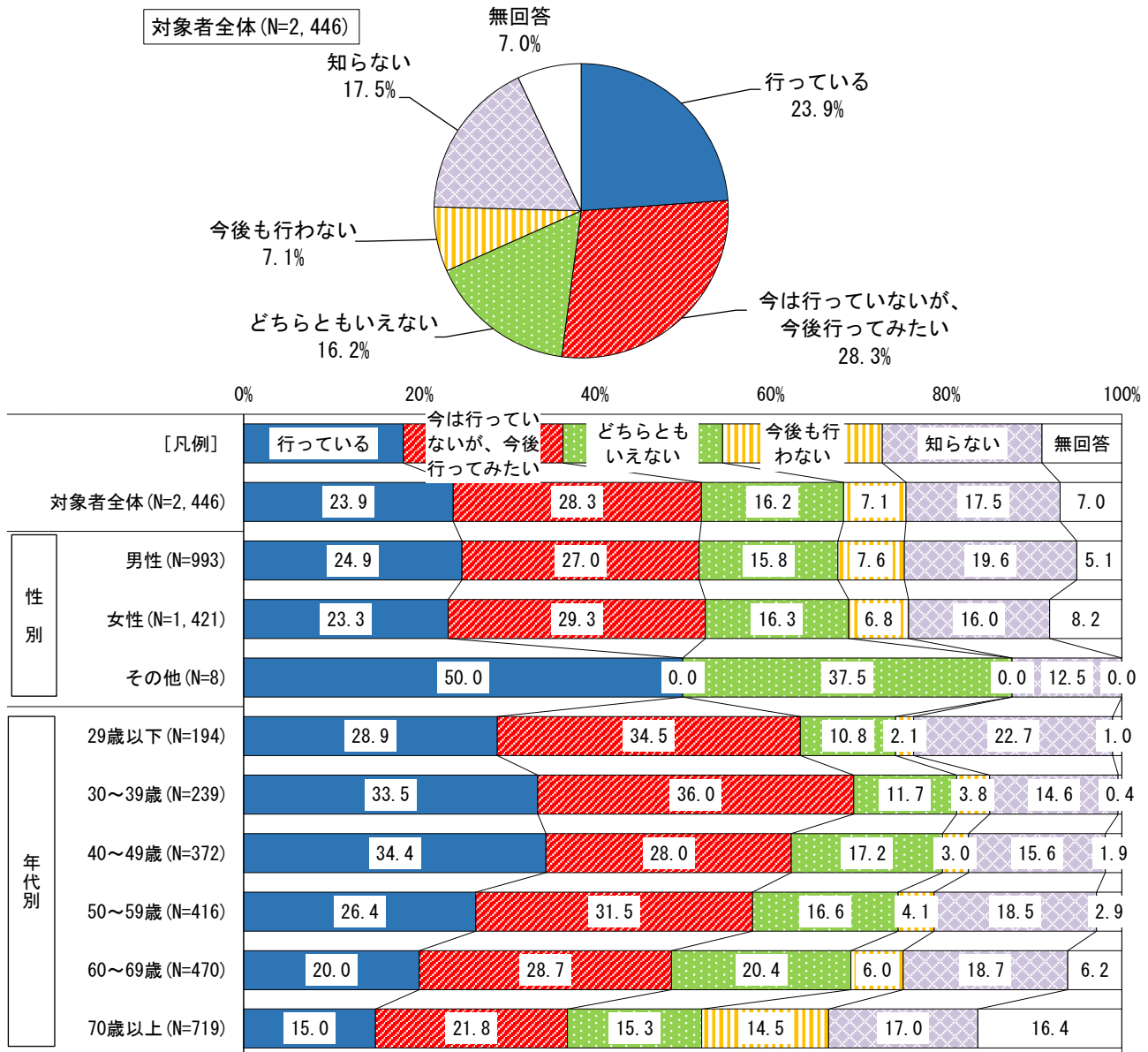
【年代別】 「今は行っていないが、今後行ってみたい」は40歳代(20.7%)で最も高く、次いで29歳以下(19.1%)、30歳代(18.8%)となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(オ) 自宅周辺や屋外レジャー（登山・キャンプなど）で訪れる地域の出没情報をホームページ等で確認する

自宅周辺や屋外レジャー（登山・キャンプなど）で訪れる地域の出没情報をホームページ等で確認することは、「行っている」と回答した人が 23.9%



【全 体】 自宅周辺や屋外レジャー（登山・キャンプなど）で訪れる地域の出没情報をホームページ等で確認することを、「行っている」が 23.9%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が 28.3%、「今後も行わない」が 7.1%となっている。

【性 別】 大きな差は見られない。

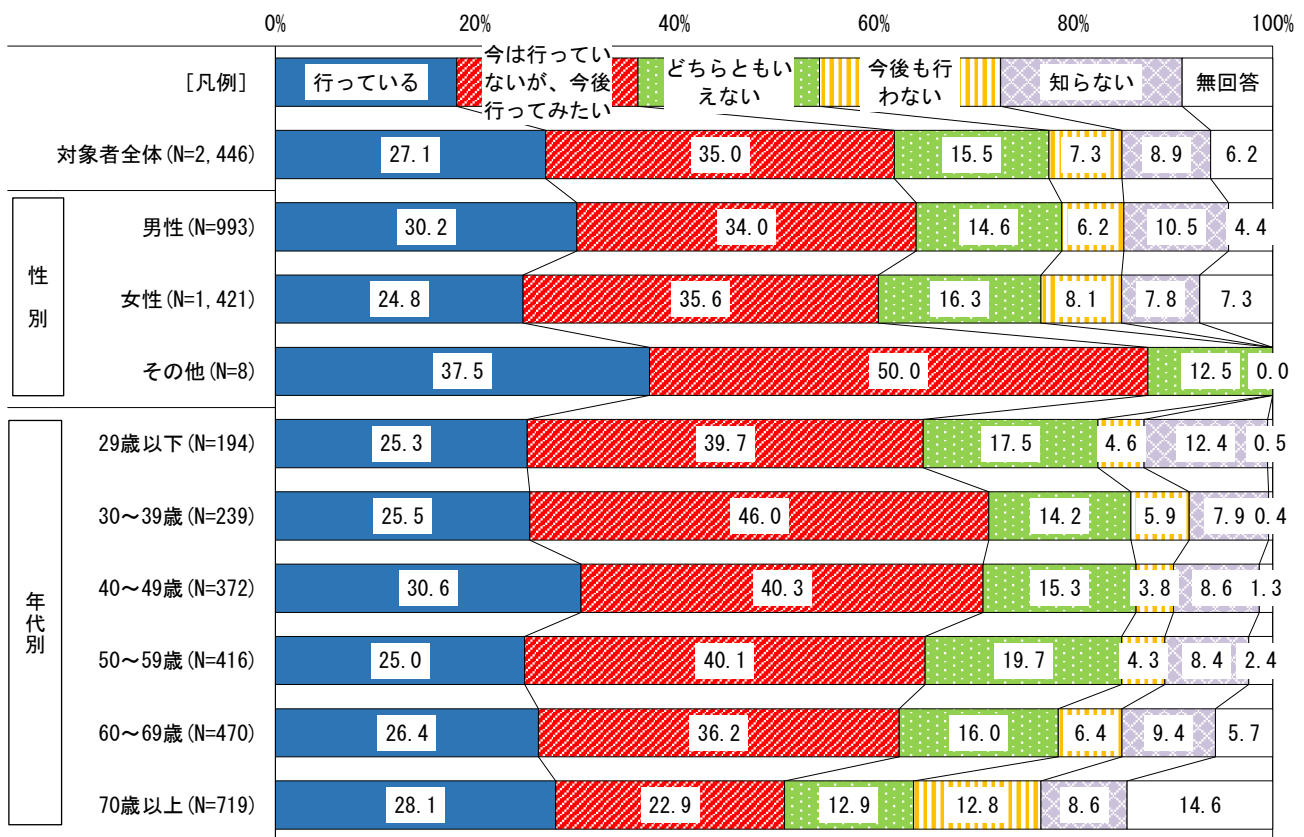
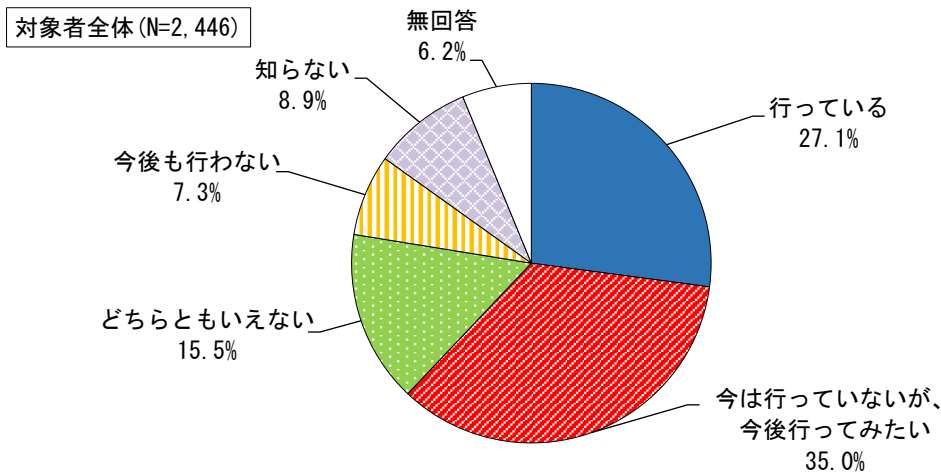
【年代別】 「行っている」は 40 歳代 (34.4%) が最も高く、最も低い 70 歳以上 (15.0%) と比べると 19.4 ポイントの差となっている。また、「今は行っていないが、今後行ってみたい」は 30 歳代 (36.0%) が最も高く、最も低い 70 歳以上 (21.8%) と比べると 14.2 ポイントの差となっている。

◇地域や個人でもできるヒグマ対策の認知度と実施したいかどうか

問15 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(カ) 屋外レジャー（登山・キャンプなど）の際には、クマ鈴やクマスプレー、ラジオなどを持ち歩く

屋外レジャー（登山・キャンプなど）の際には、クマ鈴やクマスプレー、ラジオなどを持ち歩くことは、「行っている」と回答した人が27.1%



【全体】 屋外レジャー（登山・キャンプなど）の際には、クマ鈴やクマスプレー、ラジオなどを持ち歩くことは、「行っている」が27.1%、「今は行っていないが今後行ってみたい」が35.0%、「今後も行わない」が7.3%となっている。

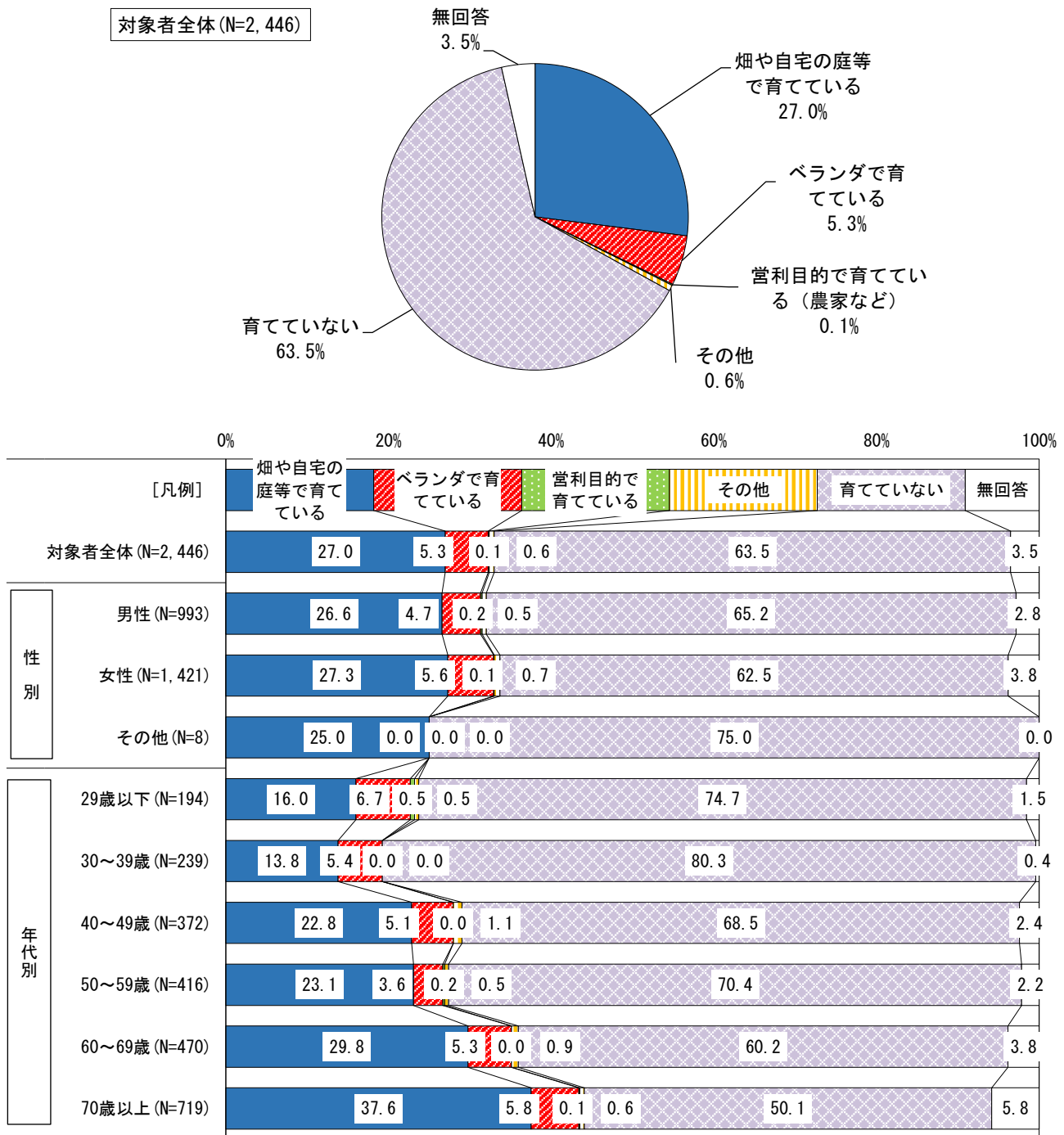
【性別】 「行っている」は男性が30.2%と、女性の24.8%より5.4ポイント高くなっている。

【年代別】 「今は行っていないが、今後行ってみたい」は30歳代(46.0%)が最も高く、最も低い70歳以上(22.9%)と比べると23.1ポイントの差となっている。

◇野菜や果実などの作物の育成方法

問16 あなたは、野菜や果実などの作物をどのように育てていますか。あてはまるものに1つだけ○を付けてください。なお、複数の方法で育てている場合は最も力を入れて行っているものを選んでください。

野菜や果実などの作物の育成方法は「畑や自宅の庭等で育てている」と回答した人は27.0%



【全体】野菜や果実などの作物をどのように育てているかは、「畑や自宅の庭等で育てている」が27.0%、「ベランダで育てている」が5.3%、「営利目的で育てている（農家など）」が0.1%となっている。一方、「育てていない」が63.5%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

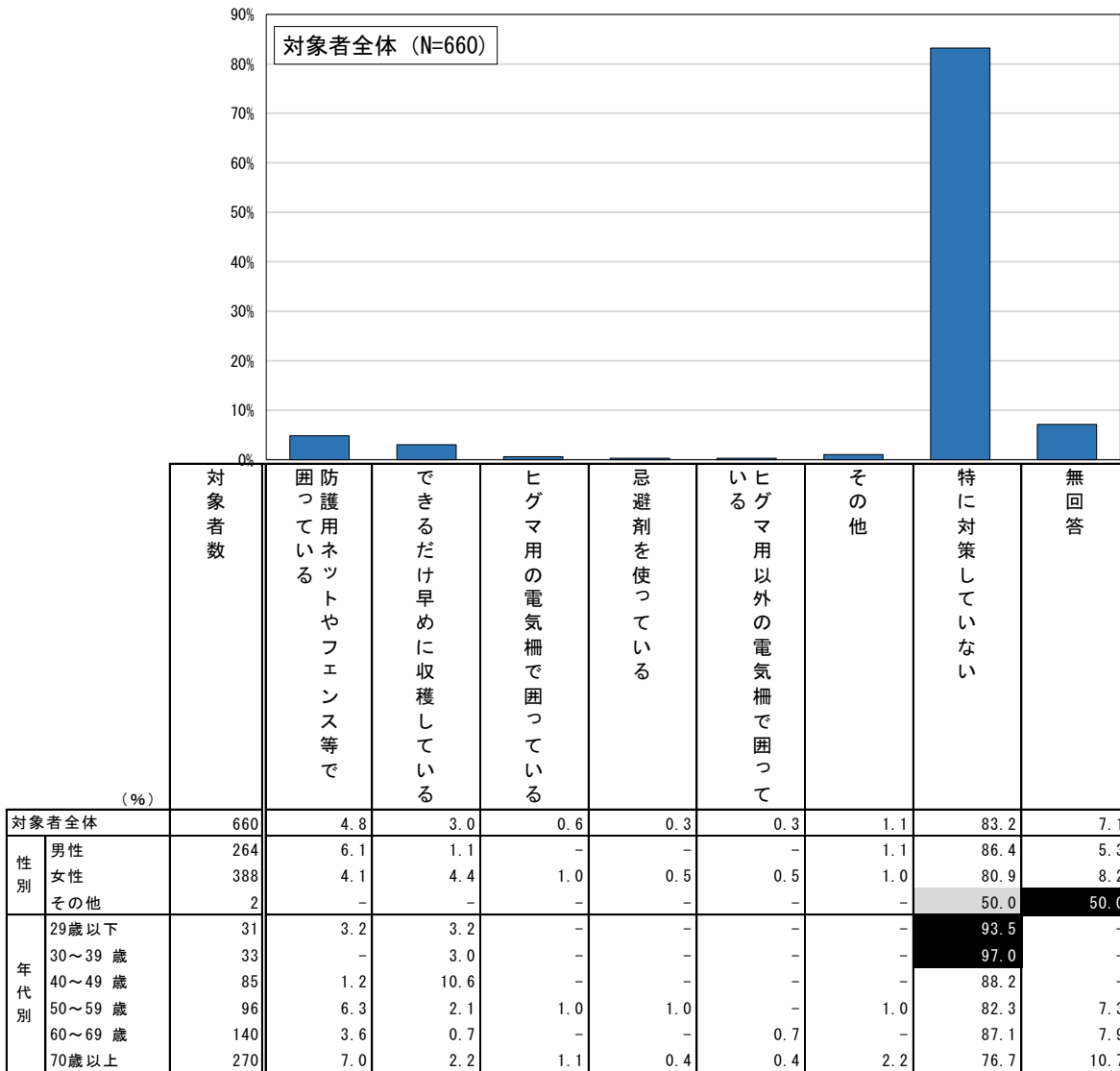
【年代別】「畑や自宅の庭等で育てている」は、70歳代(37.6%)が最も高く、最も低い30歳代(13.8%)と比べると23.8ポイントの差となっている。

◇家庭菜園でのヒグマ被害を防ぐために行っている対策

《問16で、「1 畑や自宅の庭等で育てている」と答えた方にお聞きします。》

問16-1 あなたが、家庭菜園へのヒグマの被害を防ぐために行っている対策について、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

家庭菜園へのヒグマの被害を防ぐために行っている対策は、「防護用ネットやフェンス等で囲っている」と回答した人が4.8%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】家庭菜園へのヒグマの被害を防ぐために行っている対策は、「防護用ネットやフェンス等で囲っている」が4.8%、「できるだけ早めに収穫している」が3.0%、「特に対策していない」が83.2%となっている。

【性別】「特に対策していない」は男性が86.4%と、女性の80.9%より5.5ポイント高くなっている。

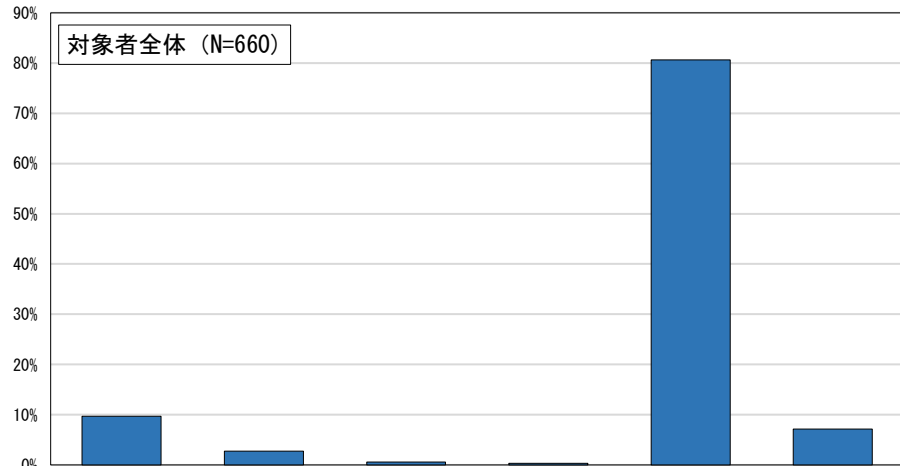
【年代別】「できるだけ早めに収穫している」は40歳代(10.8%)が最も高く、最も低い60歳代(0.7%)と比べると、10.1ポイントの差となっている。

◇札幌市が実施している家庭菜園用電気柵に関する制度を利用したいか

《引き続き、問16で、「1 畑や自宅の庭等で育てている」と答えた方にお聞きします。》

問16-2 あなたは、札幌市が実施している家庭菜園用電気柵の貸出制度や購入補助制度を利用したいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○を付けてください。

札幌市が実施している家庭菜園用電気柵の貸出制度や購入補助制度は、「貸出制度を利用してみたい」と回答した人が9.7%



		対象者数	貸出制度を利用してみたい (%)	購入補助制度を利用してみたい (%)	貸出制度を利用したことがある (%)	購入補助制度を利用したことがある (%)	どちらかまたはどちらも利用したい (%)	無回答 (%)
対象者全体		660	9.7	2.7	0.6	0.3	80.6	7.1
性別	男性	264	10.2	3.0	0.8	-	81.8	5.3
	女性	388	9.5	2.6	0.5	0.5	79.6	8.2
	その他	2	-	-	-	-	100.0	-
年代別	29歳以下	31	29.0	-	-	-	67.7	3.2
	30～39歳	33	15.2	-	-	-	84.8	-
	40～49歳	85	16.5	3.5	-	-	78.8	2.4
	50～59歳	96	13.5	5.2	1.0	-	77.1	7.3
	60～69歳	140	6.4	4.3	0.7	-	83.6	6.4
	70歳以上	270	5.2	1.5	0.7	0.7	81.5	10.4

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌市が実施している家庭菜園用電気柵の貸出制度や購入補助制度は、「貸出制度を利用してみたい」が9.7%、「購入補助制度を利用してみたい」が2.7%、「貸出制度を利用したことがある」が0.6%となっている。

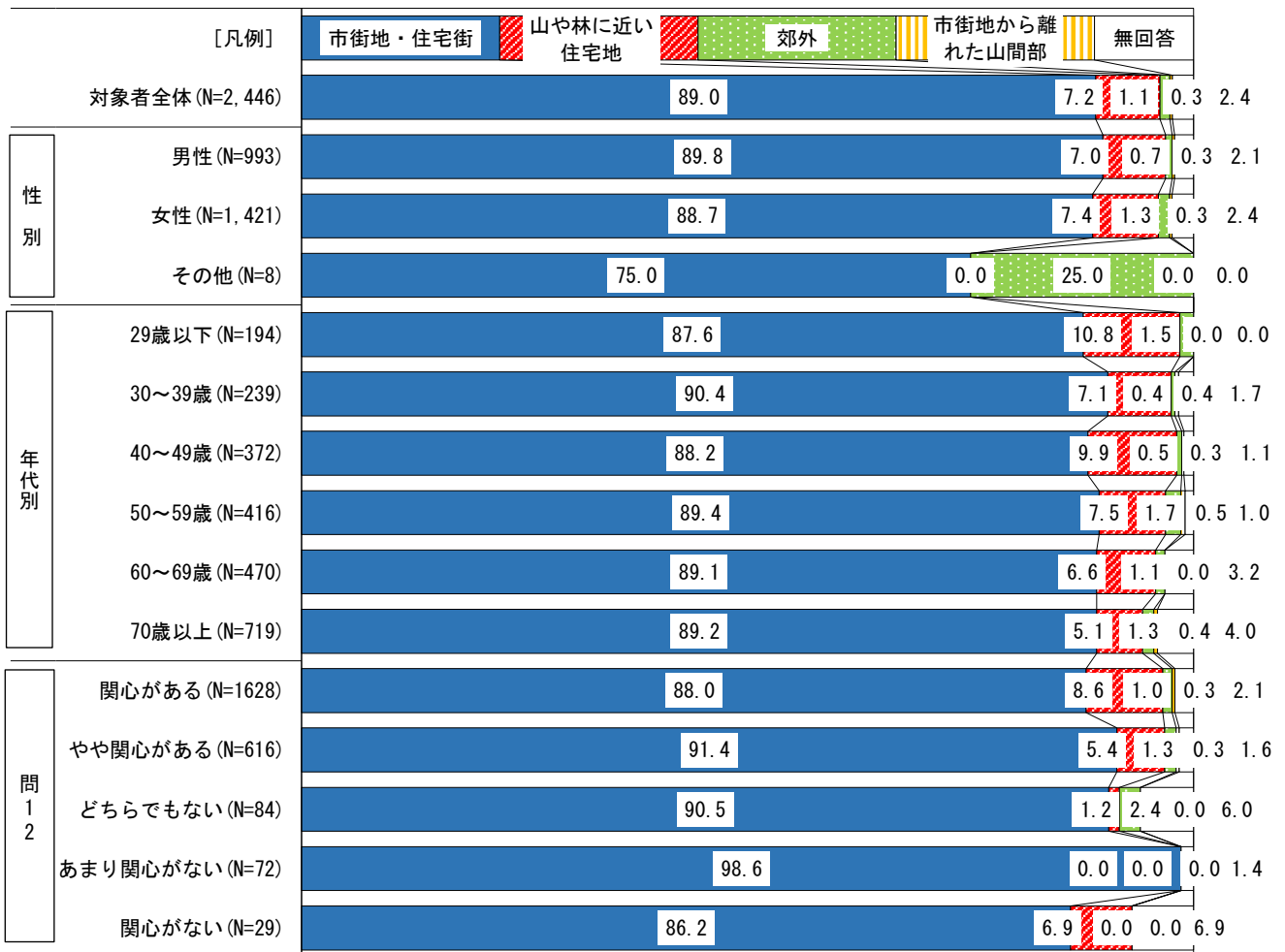
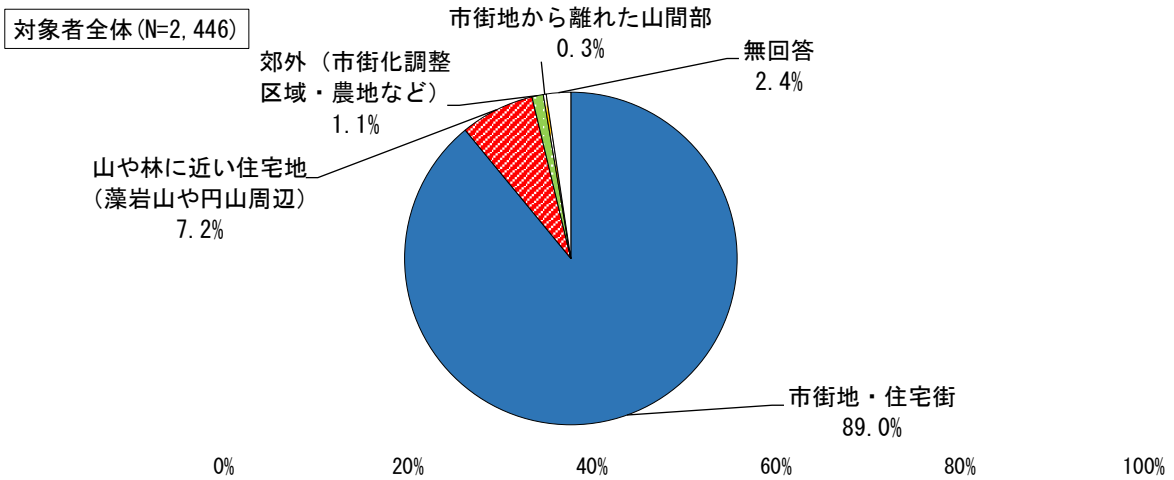
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「貸出制度を利用してみたい」が29歳以下(29.0%)で最も高く、最も低い70歳以上(5.2%)と比べると23.8ポイントの差となっている。

◇お住まいの地域について

問 1 7 あなたの住まいの地域について、最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

お住まいの地域について、「市街地・住宅街」と回答した人が 89.0%



【全 体】お住まいの地域は、「市街地・住宅街」が 89.0%、「山や林に近い住宅街 (藻岩山や円山周辺)」が 7.2%、「郊外 (市街化調整区域・農地など)」が 1.1%、「市街地から離れた山間部」が 0.3% となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「山や林に近い住宅地 (藻岩山や円山周辺)」が 29 歳以下で最も高く、次いで 40 歳代 (9.9%)、50 歳代 (7.5%) となっている。

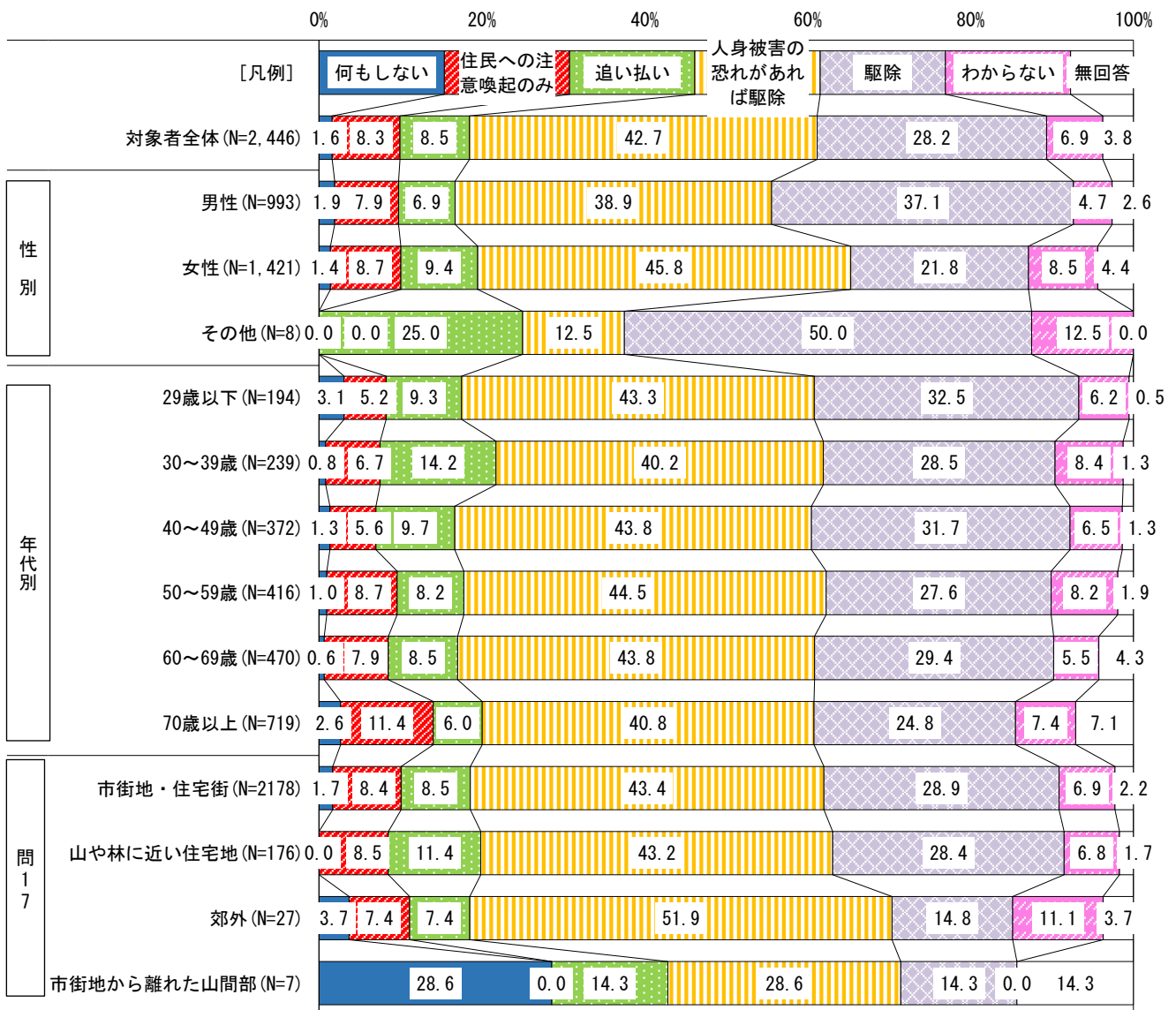
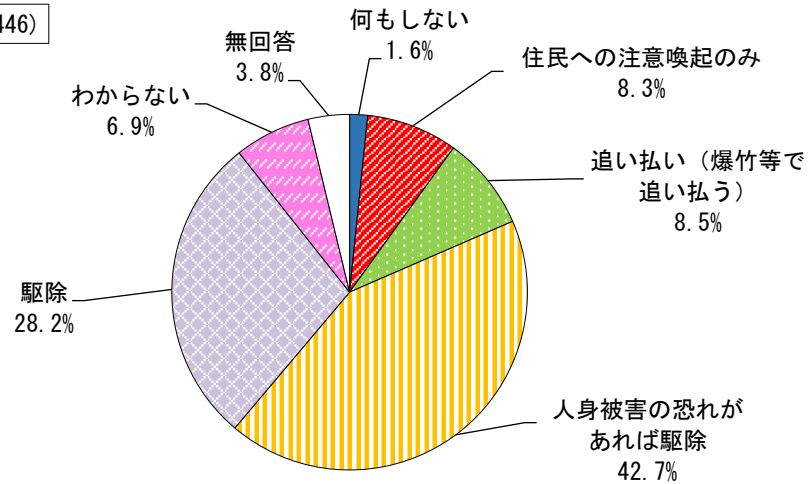
◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問18 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ア) 市街地・住宅街など人の居住区域

市街地・住宅街などの人の居住区域では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が42.7%

対象者全体 (N=2,446)



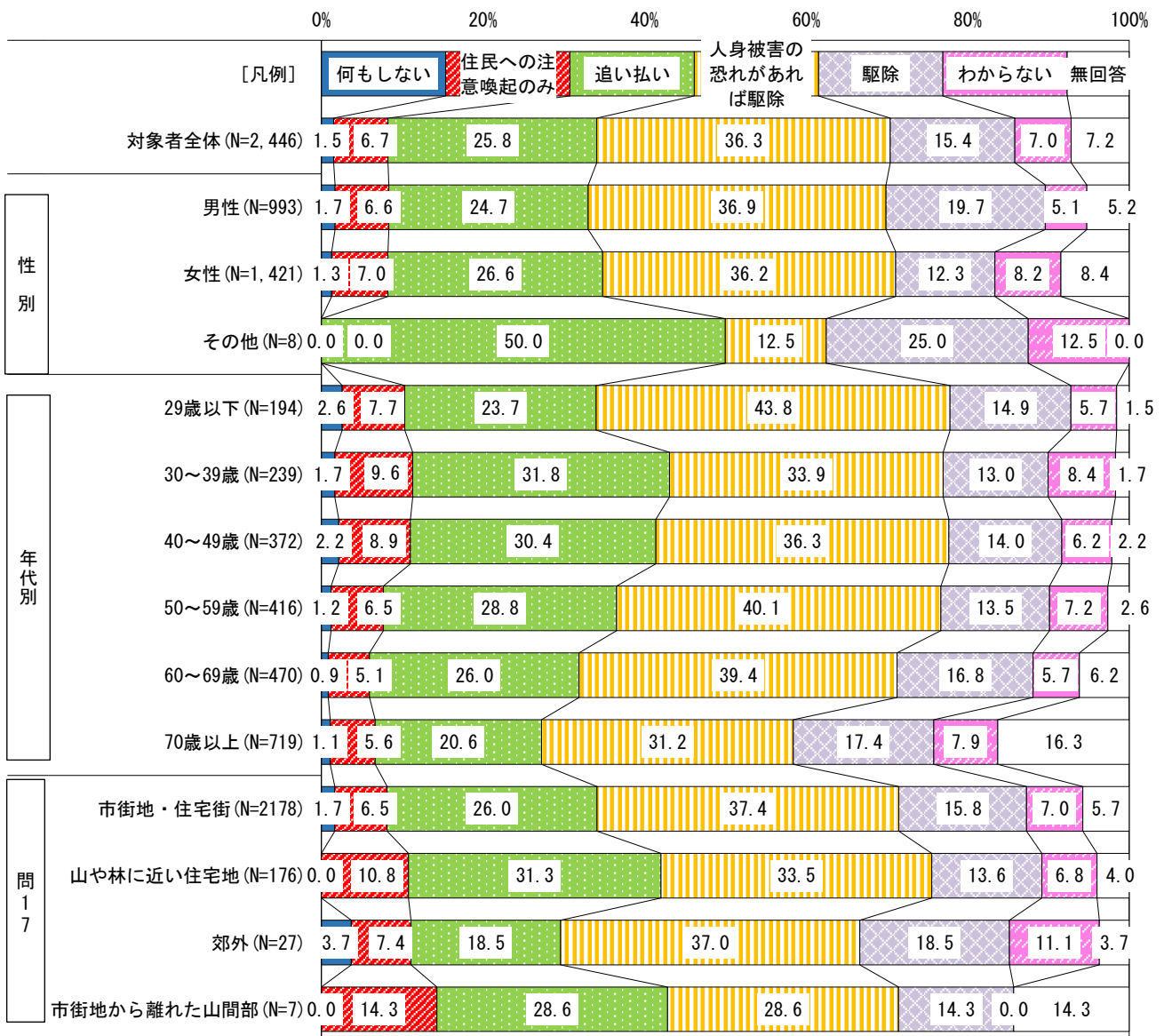
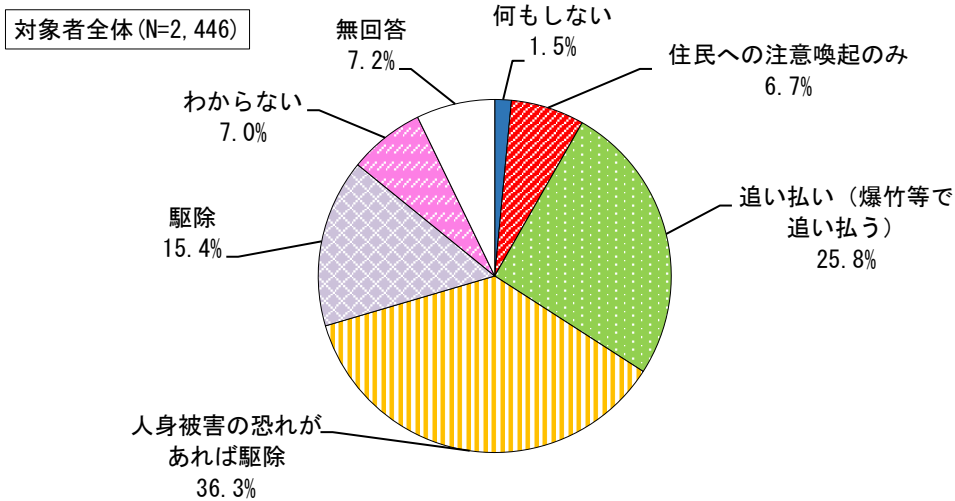
- 【全 体】市街地・住宅街などの人の居住区域にヒグマが出没した際の対策は、「人身被害の恐れがある場合は駆除」が42.7%、「駆除」が28.2%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が8.5%、「住民への注意喚起のみ」が8.3%となっている。
- 【性 別】「人身被害の恐れがある場合は駆除」は女性が45.8%と、男性の38.9%より6.9ポイント高くなっている。また、「駆除」は男性が37.1%と、女性の21.8%より15.3ポイント高くなっている。
- 【年代別】「追い払い（爆竹等で追い払う）」は30歳代（14.2%）で最も高く、次いで40歳代（9.7%）、29歳以下（9.3%）となっている。

◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問18 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(イ) 郊外（市街化調整区域・農地など）

郊外（市街化調整区域・農地など）では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が36.3%



【全 体】郊外（市街化調整区域・農地など）にヒグマが出没した際の対策は、「人身被害の恐れがある場合は駆除」が36.3%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が25.8%、「駆除」が15.4%、「住民への注意喚起のみ」が6.7%となっている。

【性 別】「駆除」は男性が19.7%と、女性の12.3%よりも7.4ポイント高くなっている。

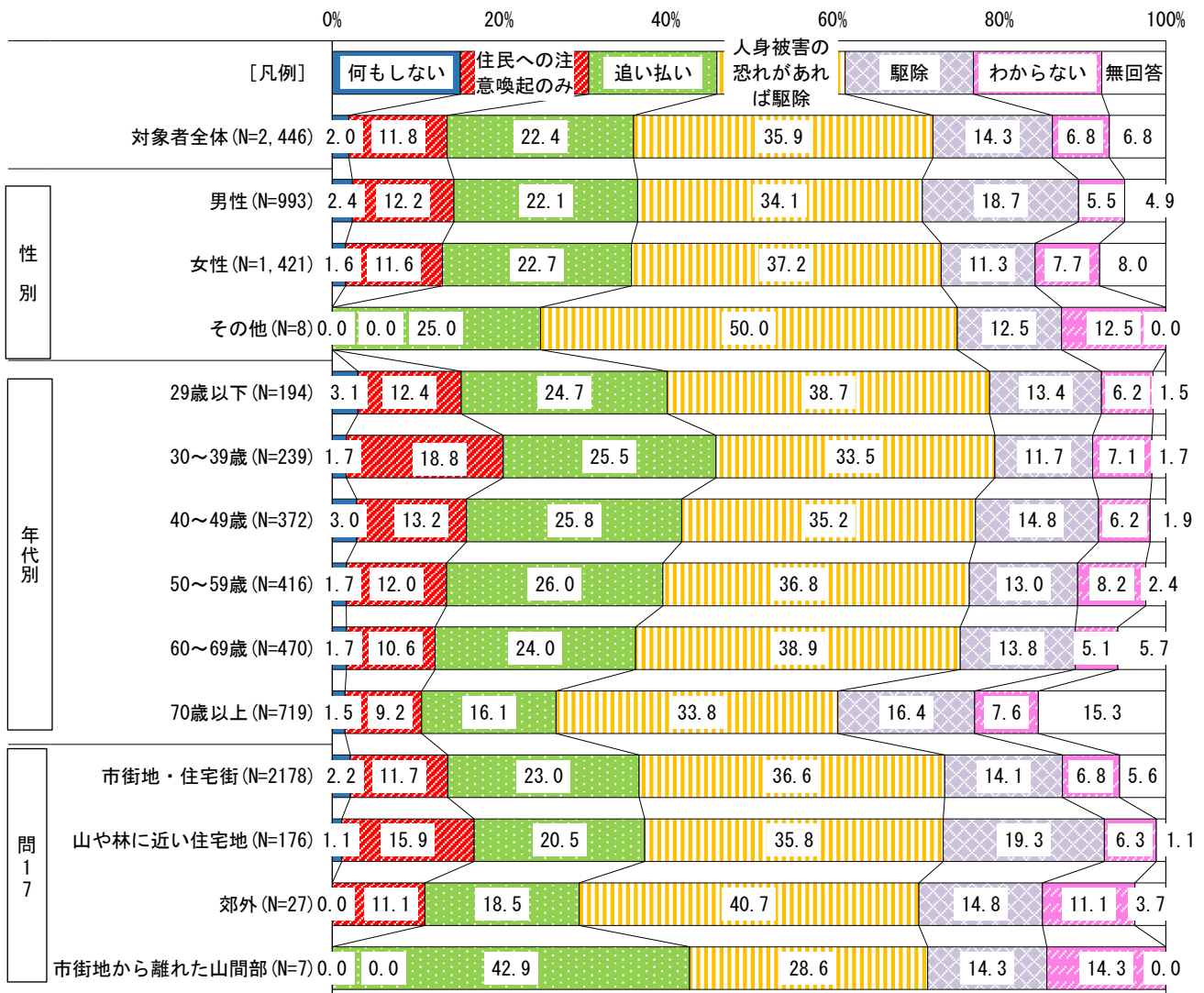
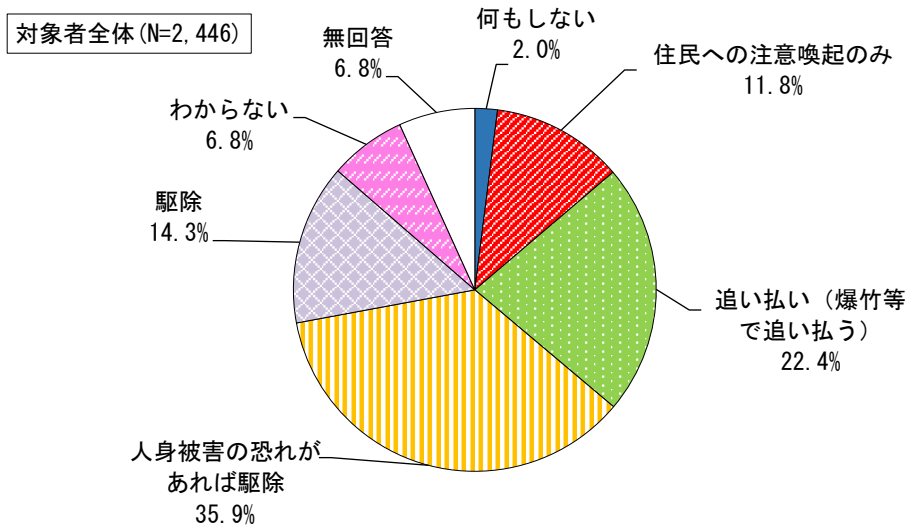
【年代別】「追い払い（爆竹等で追い払う）」は30歳以上（31.8%）が最も高く、最も低い70歳以上（20.6%）と比べると11.2ポイントの差となっている。また、「人身被害の恐れがある場合は駆除」は29歳以下（43.8%）が最も高く、最も低い70歳以上（31.2%）と比べると、12.6ポイントの差となっている。

◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問18 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(ウ) 市街地・住宅街と接している山林（藻岩山、円山、白旗山など）

市街地・住宅街と接している山林（藻岩山、円山、白旗山など）では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が35.9%



【全 体】市街地・住宅街と接している山林（藻岩山、円山、白旗山など）にヒグマが出没した際の対策は、「人身被害の恐れがある場合は駆除」が 35.9%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が 22.4%、「駆除」が 14.3%、「住民への注意喚起のみ」が 11.8%となっている。

【性 別】「駆除」は男性が 18.7%と、女性の 11.3%より 7.4 ポイント高くなっている。

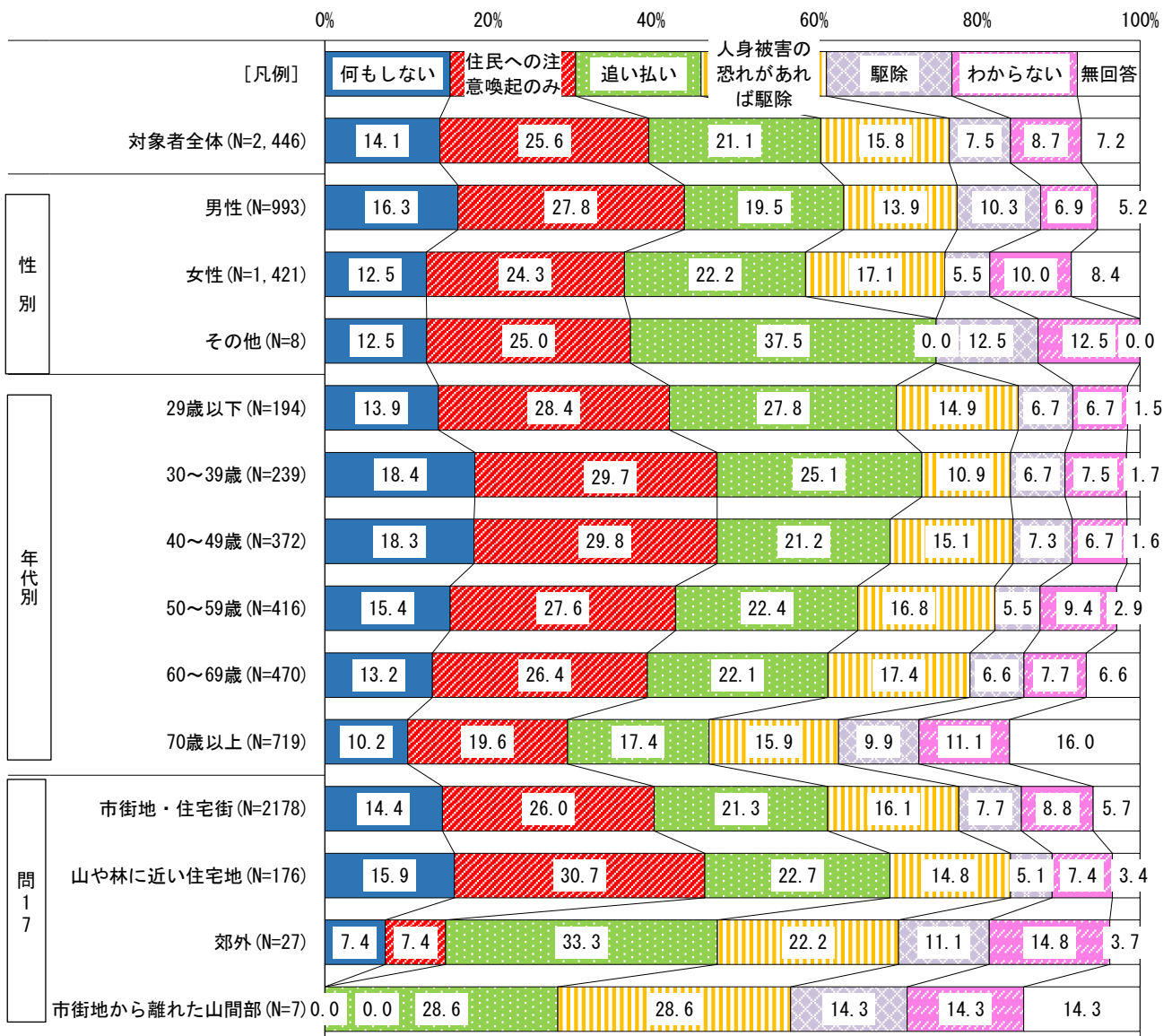
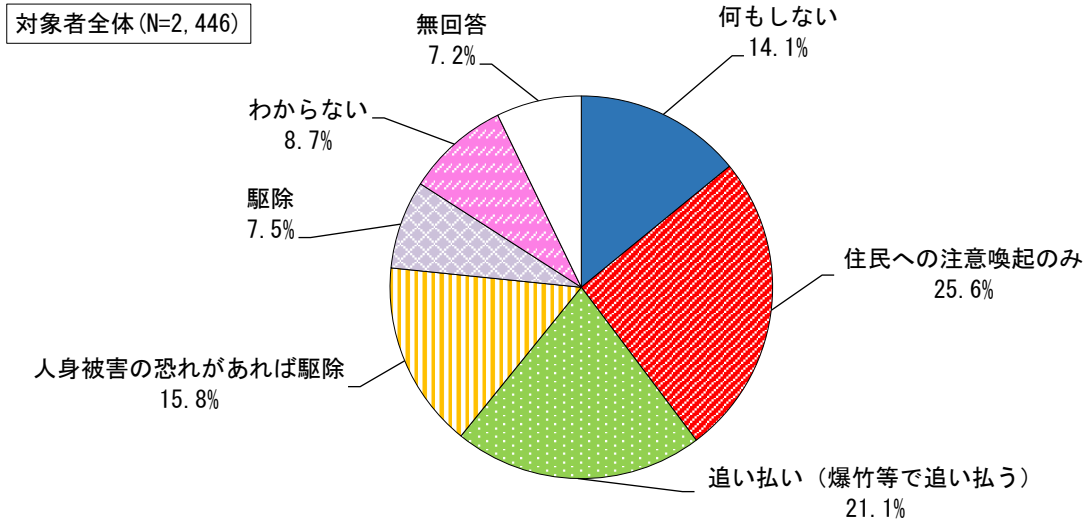
【年代別】「住民への注意喚起のみ」は 30 歳代（18.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（9.2%）と比べると、9.6 ポイントの差となっている。また、「追い払い（爆竹等で追い払う）」は 50 歳代（26.0%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（16.1%）と比べると 9.9 ポイントの差となっている。

◇ヒグマ出没の際に取るべき対策

問18 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

(エ) 市街地から離れた山間部

市街地から離れた山間部では、「人身被害の恐れがあれば駆除」と回答した人が35.9%



【全 体】市街地から離れた山間部にヒグマが出没した際の対策は、「住民への注意喚起のみ」が 25.6%、「追い払い（爆竹等で追い払う）」が 21.1%、「人身被害の恐れがあれば駆除」が 15.8%、「駆除」が 7.5%となっている。

【性 別】男女で大きな差は見られない。

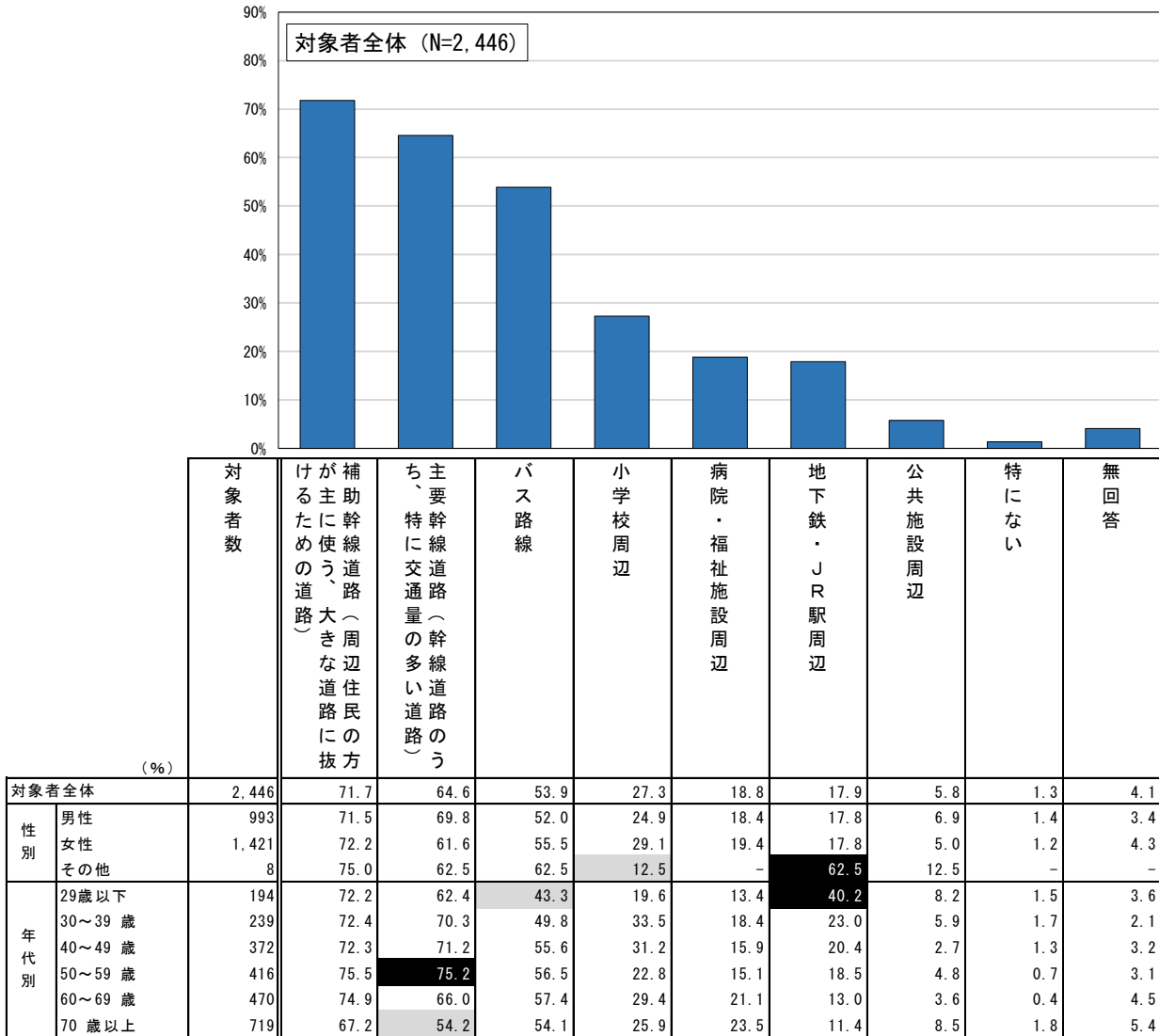
【年代別】「住民への注意喚起のみ」は 40 歳代（29.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（19.6%）と比べると、10.2 ポイント以上の差となっている。「追い払い（爆竹等で追い払う）」は 29 歳以下（27.8%）が最も高く、最も低い 70 歳以上（17.4%）と比べると 10.4 ポイントの差となっている。

(4) 雪対策に関する取り組みについて

◇今後除雪に力を入れてほしいと思う道路・場所

問 1 9 札幌市では、交通量や公共交通の利便性を考え、以下の通り、皆様により多く利用される道路・場所の除雪を強化しています。次のうち、あなたが特に今後力を入れてほしいと思う道路・場所はどこですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

今後除雪に力を入れてほしいと思う道路・場所は、「補助幹線道路（周辺住民の方が主に使う、大きな道路に抜けるための道路）」と回答した人が71.7%



■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】札幌市の除雪で今後特に力を入れてほしいと思う道路・場所は、「補助幹線道路（周辺住民の方が主に使う、大きな道路に抜けるための道路）」が71.7%、「主要幹線道路（幹線道路のうち、特に交通量の多い道路）」が64.6%、「バス路線」が53.9%となっている。

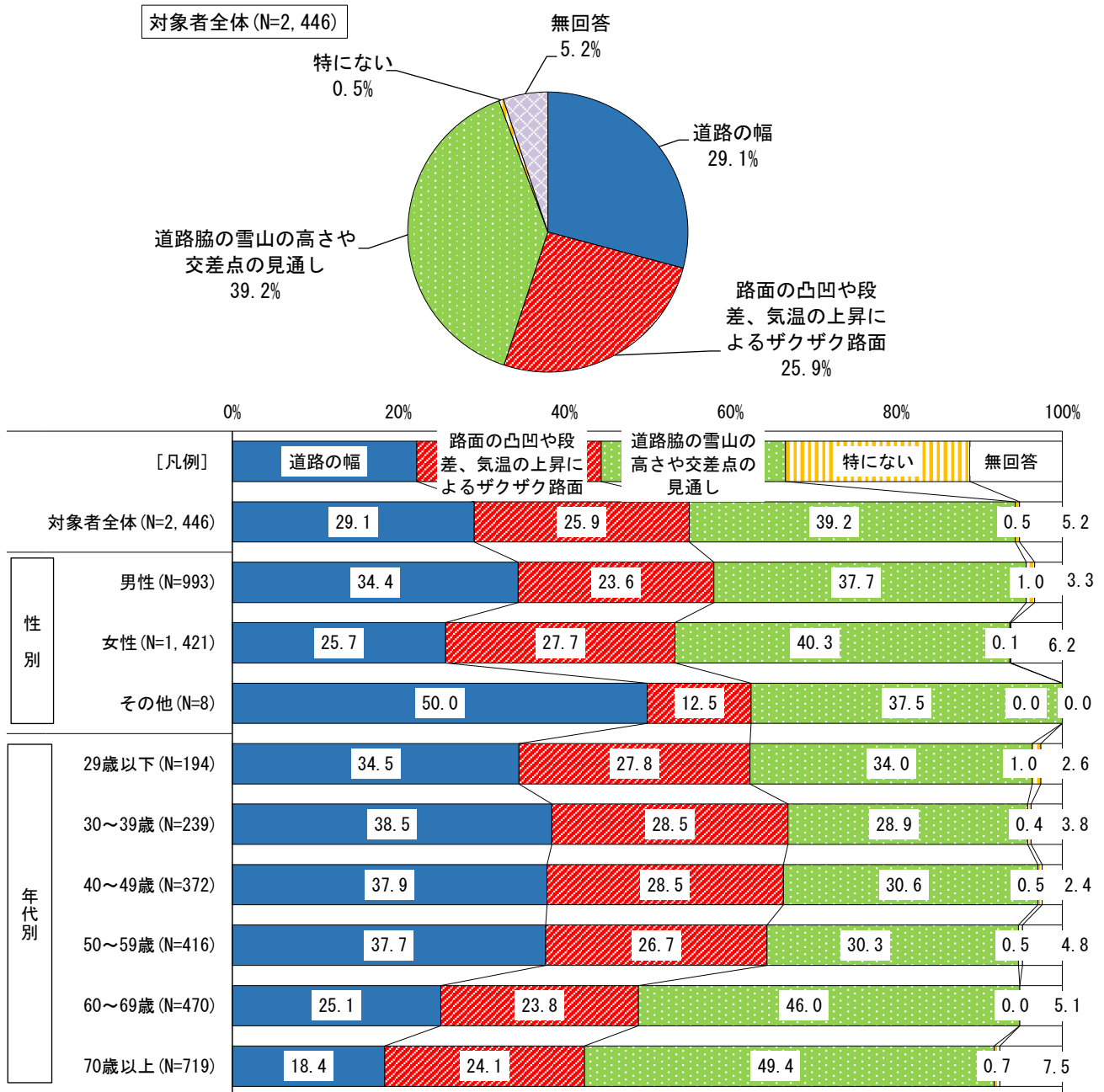
【性別】「主要幹線道路（幹線道路のうち、特に交通量の多い道路）」は男性が69.8%と、女性の61.6%より8.2ポイント高くなっている。

【年代別】「地下鉄・JR駅周辺」は年代が上がるにつれて割合が低くなっている。

◇冬期間の生活道路の状況の改善のために重視する点

問20 冬期間の生活道路の状況をより良くするために、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点は、「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し」と回答した人が39.2%



【全体】冬期間の生活道路の状況の改善のために重視すべき点は、「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し」が39.2%、「道路の幅」が29.1%、「路面の凸凹や段差、気温の上昇によるザクザク路面」が25.9%となっている。

【性別】「道路の幅」は男性が34.4%と、女性の25.7%より8.7ポイント高くなっている。

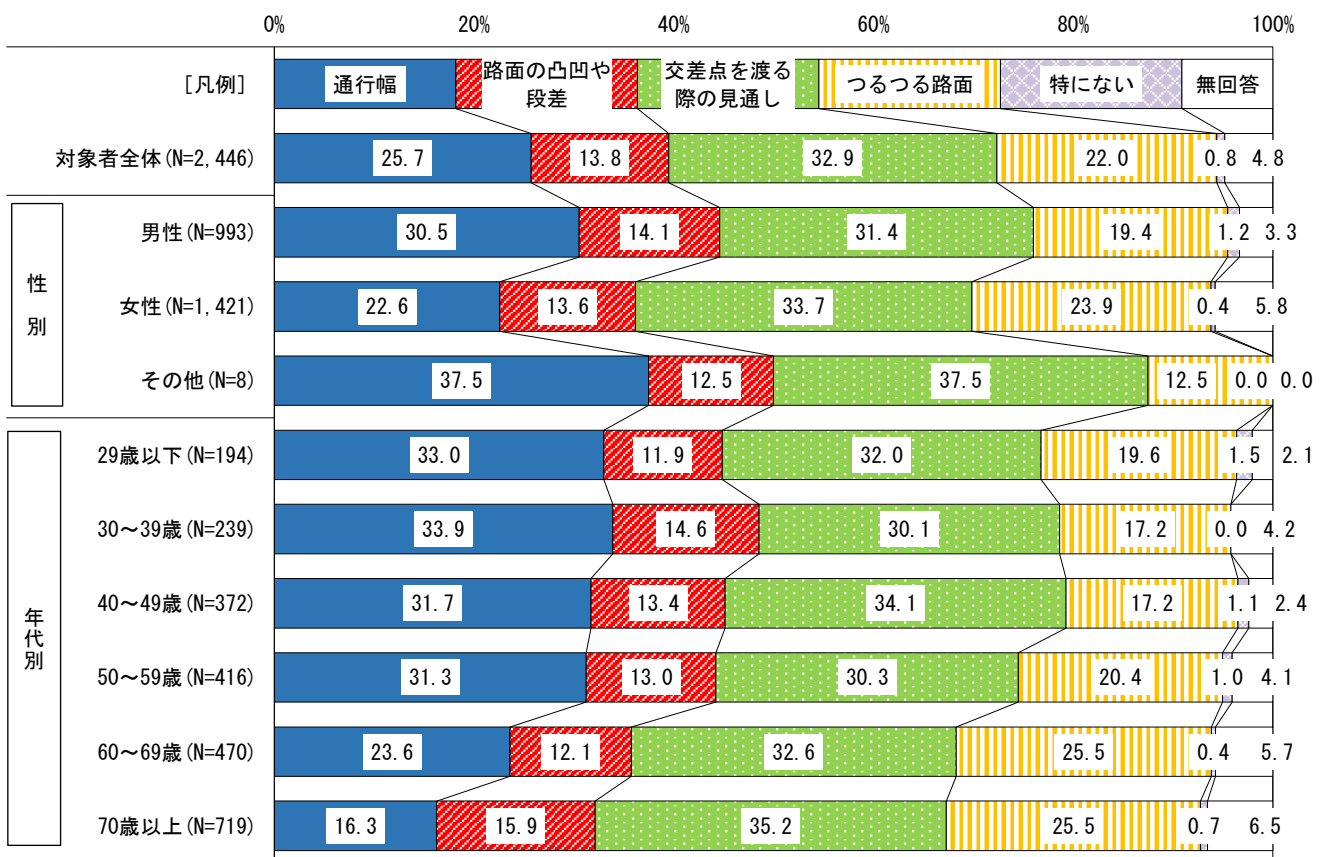
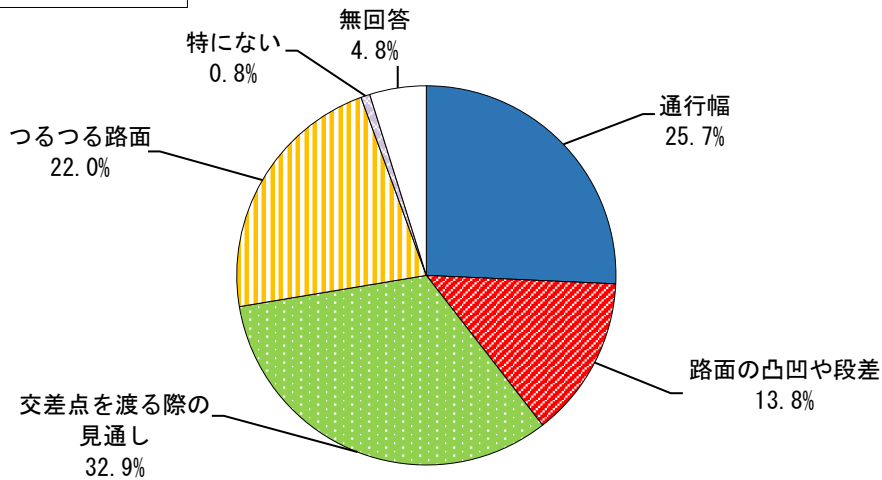
【年代別】「道路の幅」が30歳代(38.5%)で最も高く、最も低い70歳以上(18.4%)と比べると、20.1ポイントの差となっている。また、「道路脇の雪山の高さや交差点の見通し」が70歳以上(49.4%)と最も高く、最も低い30歳代(28.9%)と比べると、20.5ポイントの差となっている。

◇除雪の対象となっている歩道の状況について重視すべき点

問21 除雪の対象となっている歩道の状況について、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

除雪の対象となっている歩道の状況について重視すべき点は、「交差点を渡る際の見通し」と回答した人は32.9%

対象者全体 (N=2,446)



【全体】除雪の対象となっている歩道の状況について重視すべき点は、「交差点を渡る際の見通し」が32.9%、「通行幅」が25.7%、「つるつる路面」が22.0%、「路面の凸凹や段差」が13.8%となっている。

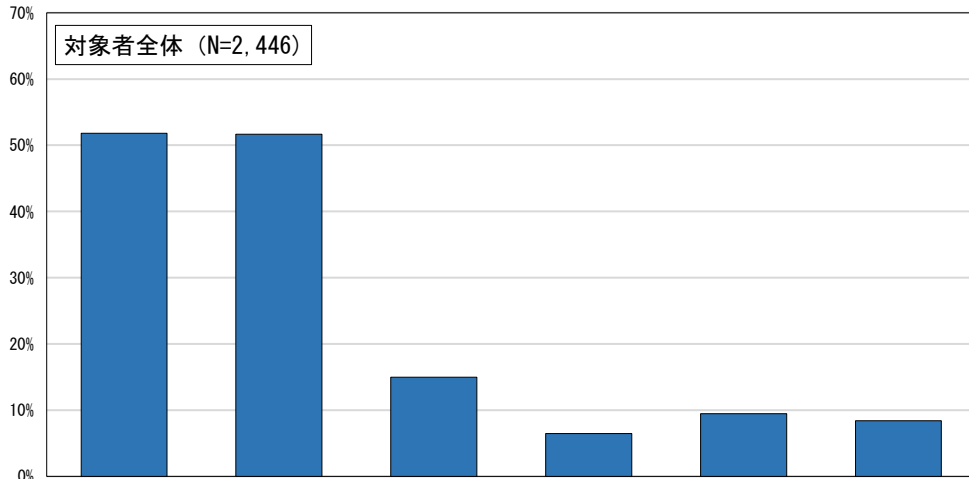
【性別】「通行幅」が男性で30.5%と、女性の22.6%より7.9ポイント高くなっている。

【年代別】30歳代では「通行幅」が、70歳以上では「交差点を渡る際の見通し」が最も高くなっている。

◇大雪時や大雪が想定されるときにとる行動

問22 あなたは、警報発令などの大雪時や大雪が予想されるときにどのような行動をとっていますか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

大雪時や大雪が想定されるときに行動は、「不要不急の車による外出を控えている」と回答した人が51.8%



		対象者数	不要不急の車による外出を控えている (%)	通勤・通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている (%)	通勤通学時に、移動手段を変更している (%)	時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、変勤形態や授業形態を (%)	と特にならぬと違う行動をとっている (%)	無回答 (%)
対象者全体		2,446	51.8	51.7	15.0	6.5	9.5	8.4
性別	男性	993	50.6	51.6	13.6	8.6	11.1	6.6
	女性	1,421	53.1	51.9	16.0	5.1	8.4	9.4
	その他	8	50.0	50.0	12.5	-	-	12.5
年代別	29歳以下	194	25.3	67.5	19.1	8.2	12.4	4.1
	30~39歳	239	43.5	64.9	18.0	6.7	9.2	5.4
	40~49歳	372	47.8	73.4	22.3	9.9	6.5	3.8
	50~59歳	416	49.3	70.0	18.8	9.4	5.8	5.0
	60~69歳	470	59.4	49.8	12.1	4.7	9.1	7.7
	70歳以上	719	61.2	22.5	8.6	3.5	12.5	14.7

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】大雪時や大雪が想定されるときにとる行動は、「不要不急の車による外出を控えている」が51.8%、「通勤・通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている」が51.7%、「通勤通学時に、移動手段を変更している」が15.0%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

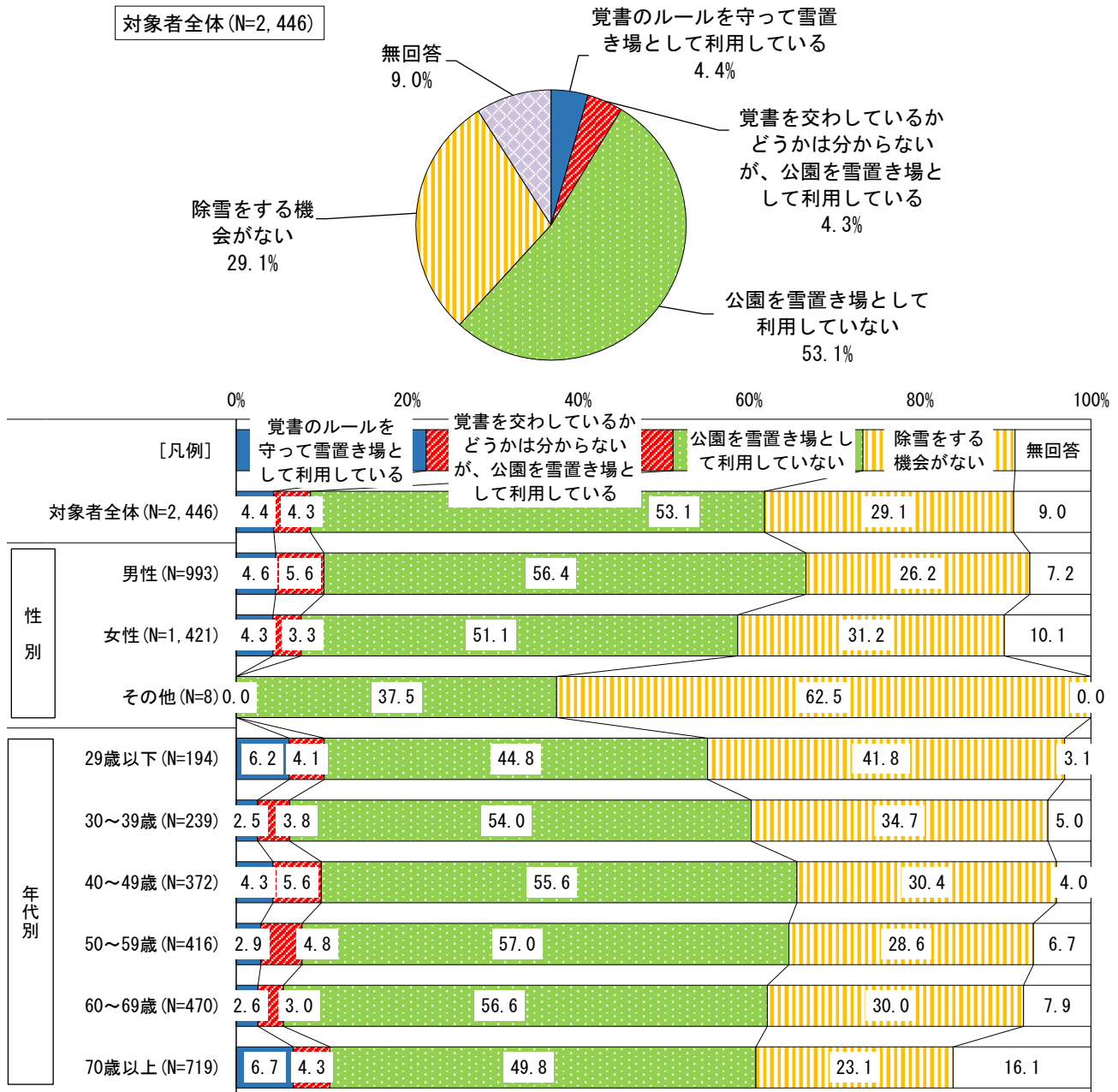
【年代別】「不要不急の車による外出を控えている」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇公園を雪置き場として利用しているか

問23 あなたは、公園を雪置き場として利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

公園を雪置き場として“利用している”人は8.7%

※“利用している”（「覚書のルールを守って雪置き場として利用している」＋「覚書を交わしているかどうかは分からないが、公園を雪置き場として利用している」）



【全体】公園を雪置き場として「覚書のルールを守って利用している」が4.4%、「覚書を交わしているかどうかは分からないが、利用している」が4.3%、合わせると8.7%となっている。一方で、「利用していない」が53.1%、「除雪をする機会がない」が29.1%となっている。

【性別】「公園を雪置き場として利用していない」は男性が56.4%と、女性の51.1%より5.3ポイント高くなっている。また「除雪をする機会がない」は女性が31.2%と、男性の26.2%より5.0ポイント高くなっている。

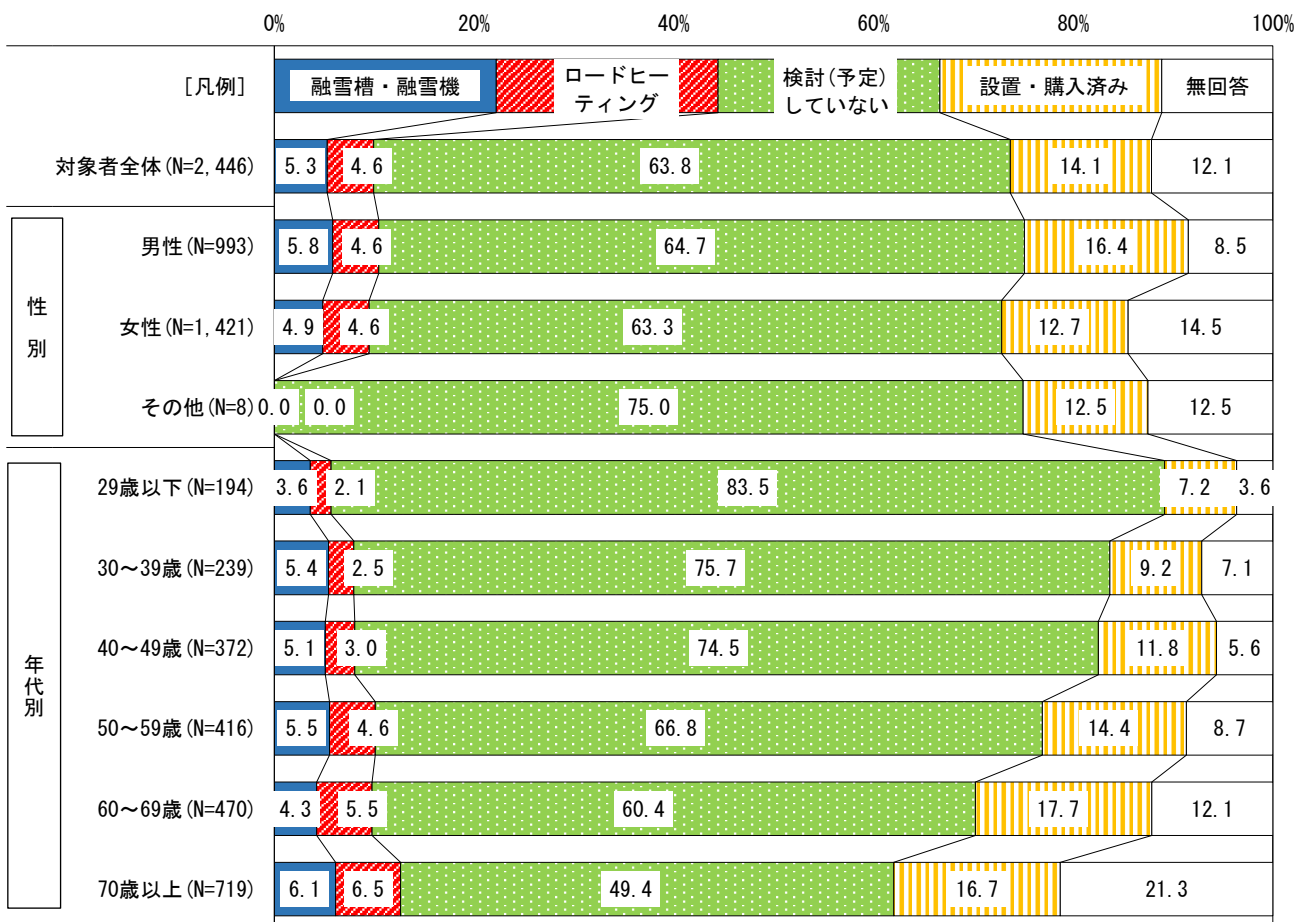
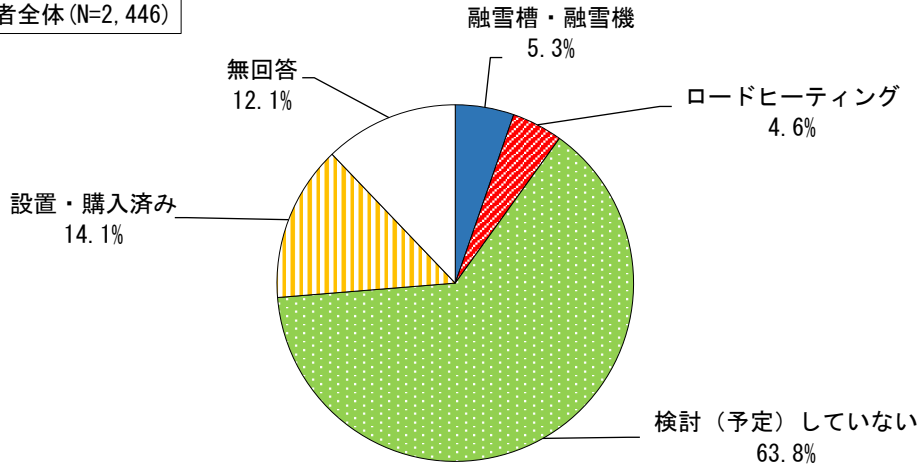
【年代別】“利用している”が70歳以上（11.0%）で最も高く、次いで29歳以下（10.3%）、40歳代（9.9%）となっている。

◇雪の処理のため設置・購入を検討している設備

問24 あなたは、冬期間に玄関前等に堆積する雪を処理するため、以下について設置・購入を検討（予定）していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

雪の処理のために設置・購入を検討（予定）している設備は、「融雪槽・融雪機」と回答した人が5.3%

対象者全体 (N=2, 446)



【全体】雪の処理のために設置・購入を検討（予定）している設備は、「融雪槽・融雪機」が5.3%、「ロードヒーティング」が4.6%、「設置・購入済み」が14.1%となっている。

【性別】男女で大きな差は見られない。

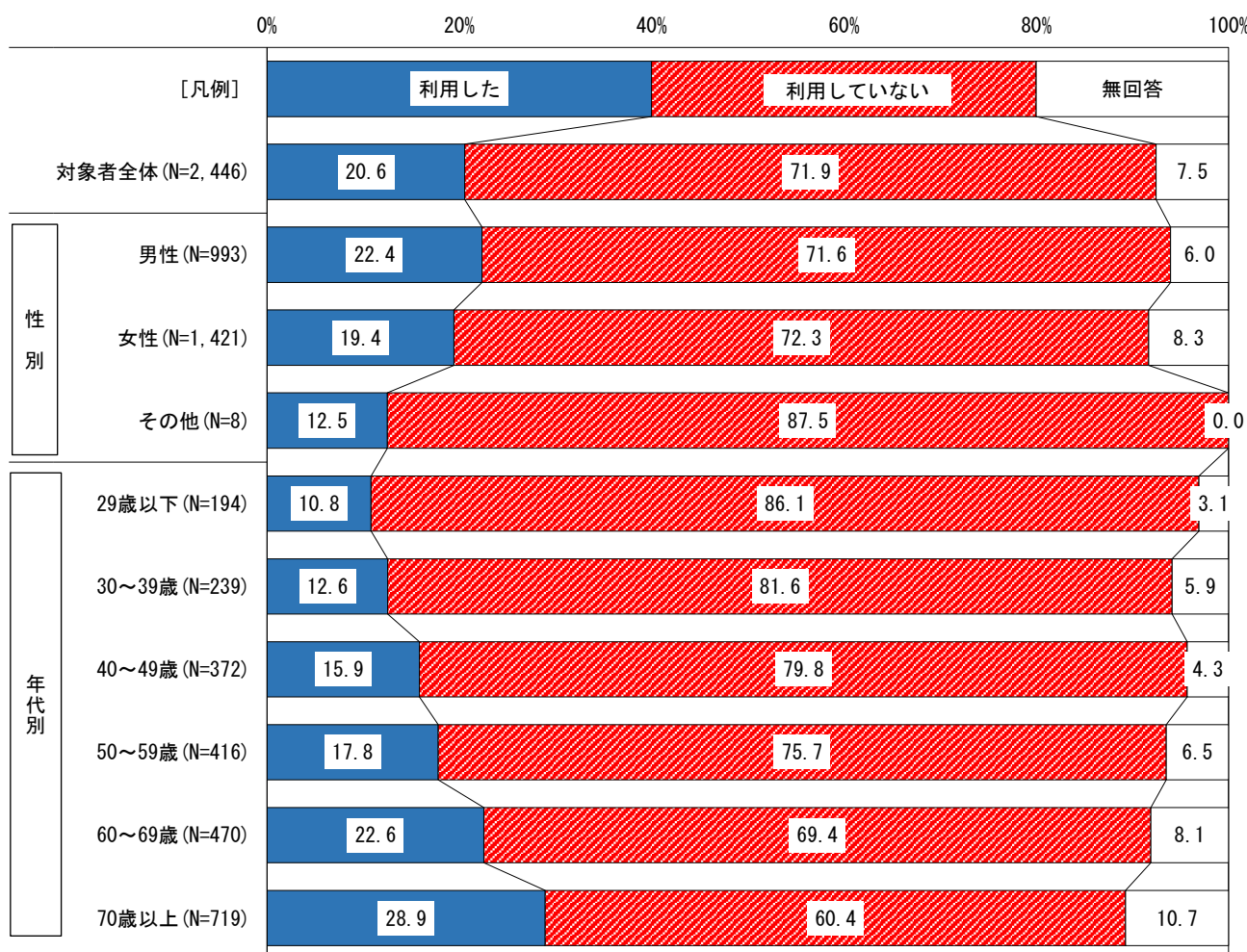
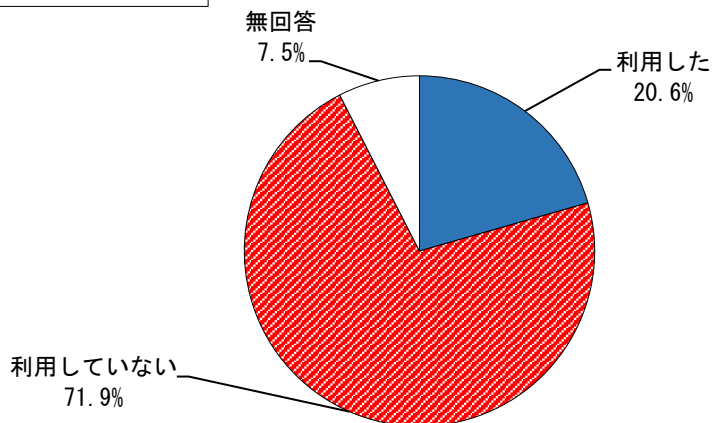
【年代別】「ロードヒーティング」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇有料除排雪サービスの利用の有無

問25 あなたは、昨年度の冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス（福祉除雪を除く）を利用しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

有料除排雪サービスを「利用した」と回答した人が20.6%

対象者全体 (N=2,446)



【全 体】 有料除排雪サービス（福祉除雪を除く）を利用したかは、「利用した」が20.6%、「利用していない」が71.9%となっている。

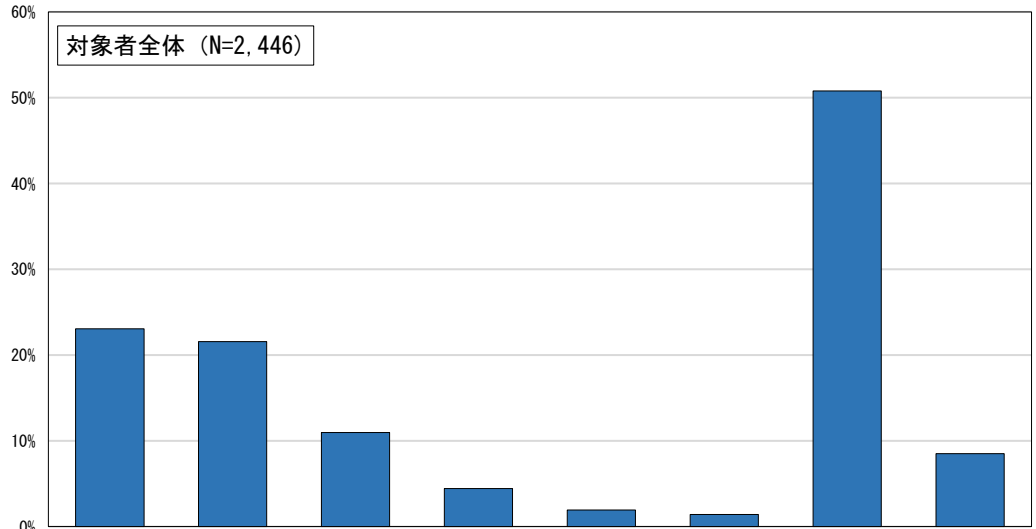
【性 別】 男女で大きな差は見られない。

【年代別】 「利用した」は年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇これまでに行ったことがある除雪ボランティア活動の種類

問26 札幌市では、市民の皆さまに『除雪ボランティア』への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに行ったことがある除雪ボランティアについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

これまでに行ったことがある除雪ボランティア活動の種類は、「ごみを出しやすいようにゴミステーション周りの除雪をする」と回答した人が23.1%



対象者数		除雪をする	ごみを出しやすいようにゴミステーション周りの除雪をする	転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく	近所で困っている人の除雪を自発的に手伝う	消火栓周りの除雪を行う	雪どけ後に、雪置き場として利用した公園の回収を行う	玄関前除雪を行う	福祉除雪の地域協力員に登録し、高齢者宅等に	行ったことはない	無回答	
		(%)										
対象者全体		2,446	23.1	21.5	11.0	4.4	1.9	1.4	50.8	8.5		
性別	男性	993	24.9	20.5	13.0	5.7	2.5	2.4	49.0	7.4		
	女性	1,421	22.0	22.4	9.6	3.4	1.5	0.7	52.0	9.1		
	その他	8	12.5	25.0	-	25.0	-	-	50.0	12.5		
年代別	29歳以下	194	8.2	14.4	6.2	0.5	0.5	0.5	70.1	4.6		
	30～39歳	239	14.6	20.5	11.3	2.9	1.3	0.8	60.3	6.3		
	40～49歳	372	18.5	21.2	14.8	2.7	0.5	1.3	55.4	5.1		
	50～59歳	416	21.2	20.7	11.5	3.6	2.6	0.5	55.5	6.0		
	60～69歳	470	23.4	21.3	10.6	4.0	1.3	1.3	50.6	8.3		
	70歳以上	719	33.7	25.2	10.3	7.6	3.3	2.5	36.9	13.2		

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 ■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】これまでに行ったことがある除雪ボランティア活動の種類は、「ごみを出しやすいようにゴミステーション周りの除雪をする」が23.1%、「転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく」が21.5%、「近所で困っている人の除雪を自発的に手伝う」が11.0%となっている。

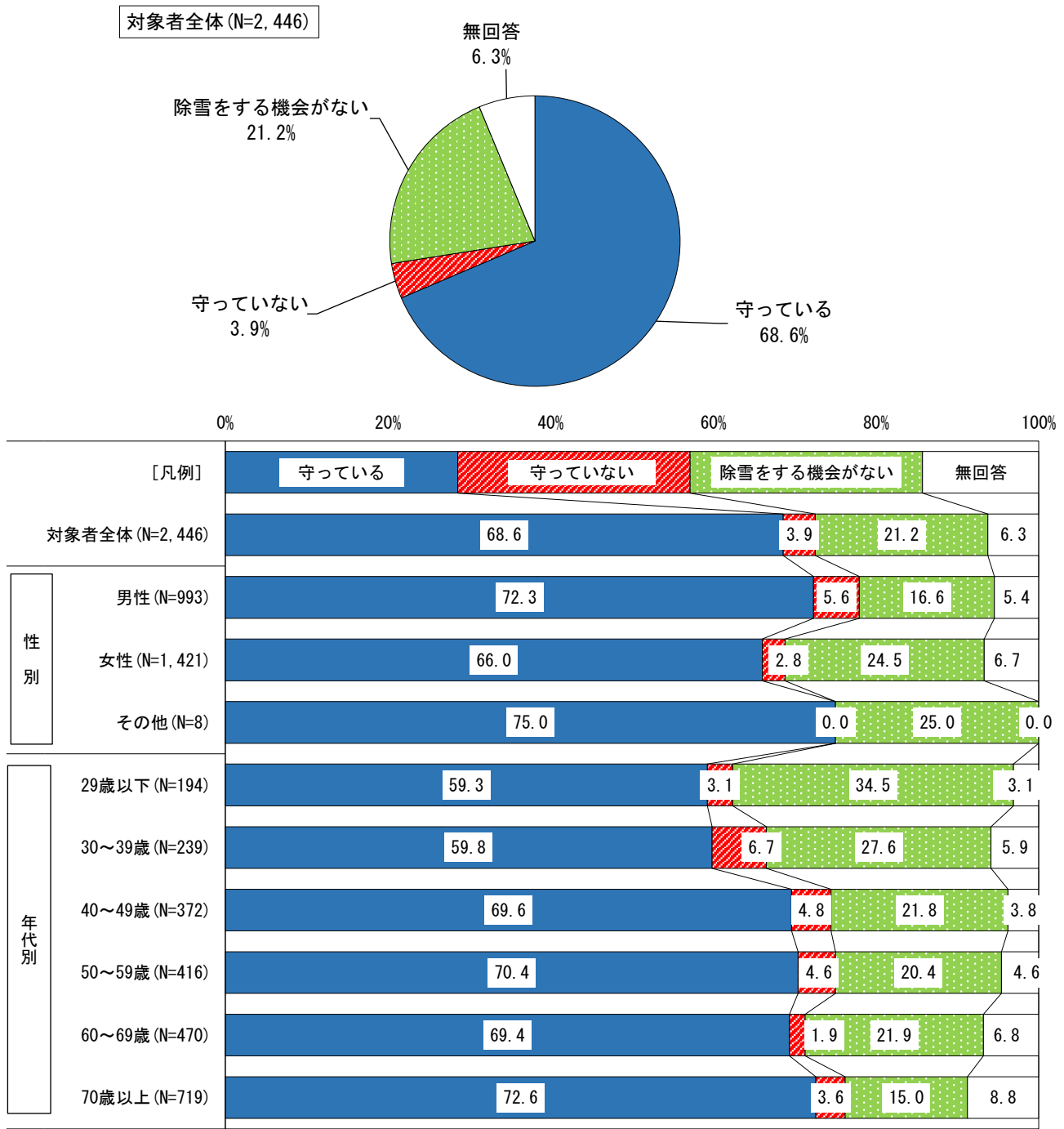
【性別】男女で大きな差は見られない。

【年代別】「ごみを出しやすいようにゴミステーション周りの除雪をする」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

◇「雪を道路に出してはいけない」ルールを守っているか

問27 あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「敷地内の雪を道路に出してはいけない」というルールを「守っている」と回答した人が 68.6%



【全体】「敷地内の雪を道路に出してはいけない」というルールを、「守っている」が 68.6%、「守っていない」が 3.9%、「除雪をする機会がない」が 21.2%となっている。

【性別】「守っている」は男性が 72.3%と、女性の 66.0%より 6.3 ポイント高くなっている。一方で、「除雪をする機会がない」は、女性が 24.5%と、男性の 16.6%より 7.9 ポイント高くなっている。

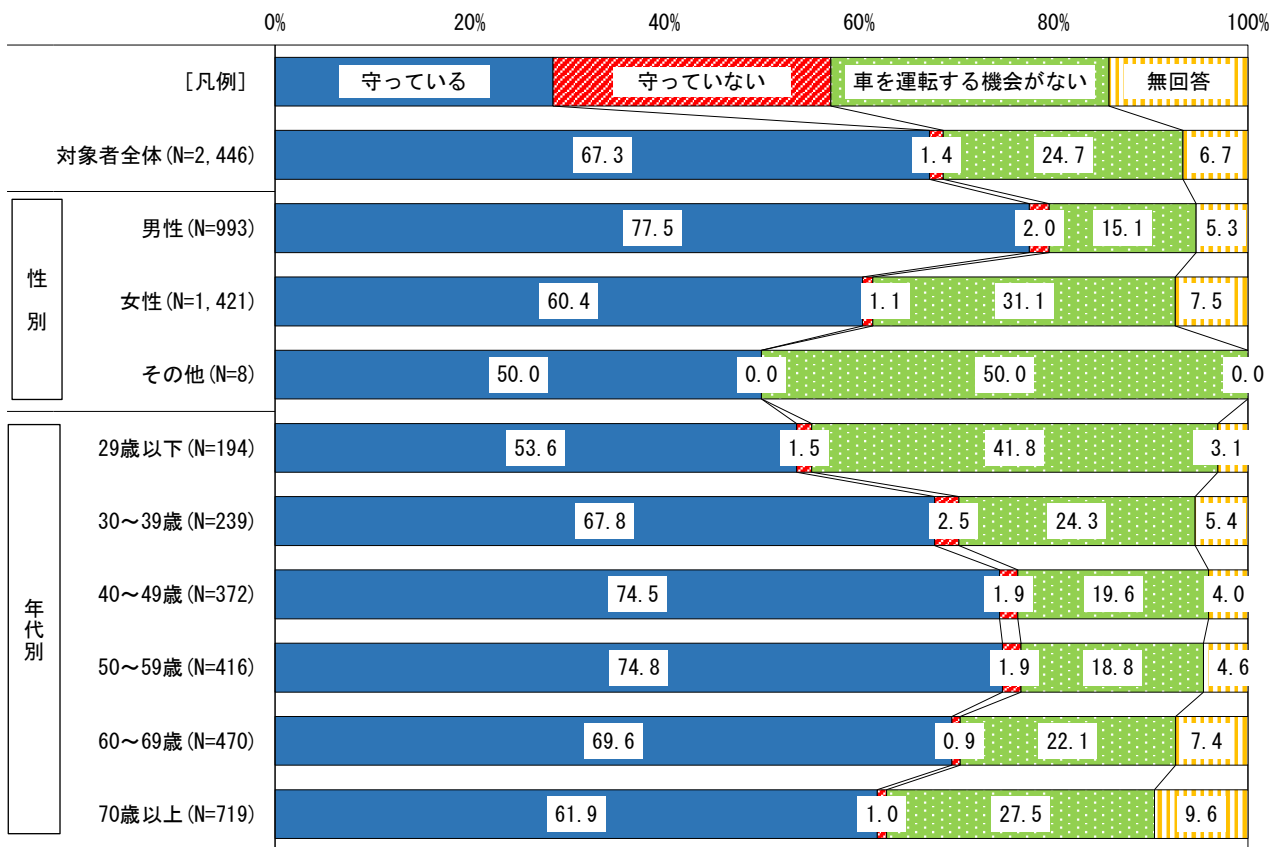
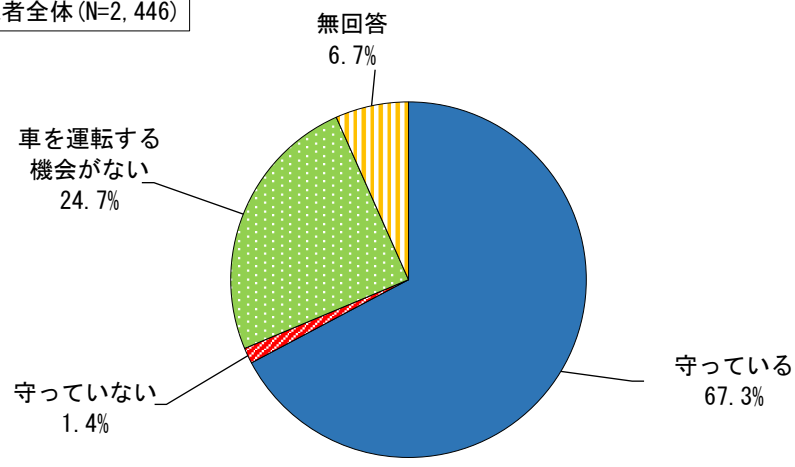
【年代別】「守っている」が 70 歳以上 (72.6%) で最も高く、次いで 50 歳代 (70.4%)、40 歳代 (69.6%) となっている。

◇「路上駐車をしてはいけない」ルールを守っているか

問28 あなたは、「路上駐車をしてはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

「路上駐車をしてはいけない」というルールを「守っている」と回答した人が 67.3%

対象者全体 (N=2,446)



【全体】「路上駐車をしてはいけない」というルールを、「守っている」が 67.3%、「守っていない」が 1.4%、「車を運転する機会がない」が 24.7%となっている。

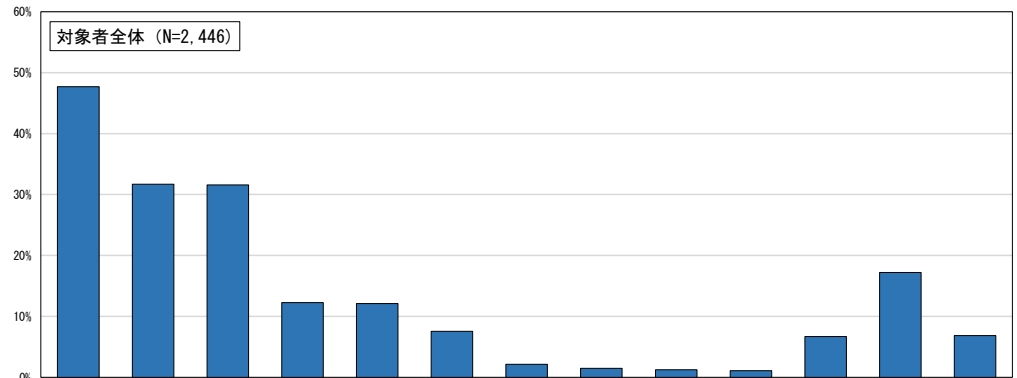
【性別】「守っている」は男性が 77.5%と、女性の 60.4%より 17.1 ポイント高くなっている。また、「車を運転する機会がない」は女性が 31.1%と、男性の 15.1%より 16.0 ポイント高くなっている。

【年代別】「守っている」は 50 歳代 (74.8%) で最も高く、最も低い 29 歳以下 (53.6%) と比べると 21.2 ポイントの差となっている。

◇冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体

問29 昨冬、冬の暮らしに関する情報（札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪車の出動情報など）を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあるものにいくつでも○をつけてください。

冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体は、「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」と回答した人が47.7%



	対象者数	冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）	テレビ番組	テレビのデータ放送（HTB、NHK、HBC、UHB）	テレビCM（ともに雪対策、さっぽろ）シリーズ計4本	札幌市公式ホームページ（冬の暮らし・除雪）	札幌市公式SNS（Twitter、LINE）	デジタルサイネージ（チカホ、各区役所）	YouTube広告【シリーズ計4本】	札幌市のパネル展示（建設産業ふれあい展、雪と暮らしおはなし発表会）	札幌市公式YouTube動画【シリーズ計4本】	「さっぽろ雪の絵本」など	その他刊行物（啓発チラシ、パンフレット）	見たことがない	無回答
対象者全体	2,446	47.7	31.7	31.6	12.3	12.1	7.6	2.2	1.5	1.3	1.1	6.7	17.2	6.9	
性別															
男性	993	41.5	33.2	29.2	12.7	15.2	8.0	2.8	1.8	1.5	1.5	7.8	19.6	6.0	
女性	1,421	52.4	30.8	33.6	11.9	10.0	7.3	1.6	1.1	1.1	0.8	6.0	15.2	7.2	
その他	8	25.0	25.0	-	12.5	-	12.5	25.0	12.5	-	-	12.5	37.5	-	
年代別															
29歳以下	194	14.4	19.1	25.3	9.3	6.2	16.0	5.7	3.6	1.0	-	4.1	34.5	3.1	
30～39歳	239	28.5	21.3	30.1	11.3	14.2	16.3	5.4	3.3	1.7	1.7	3.3	25.1	5.4	
40～49歳	372	41.7	24.5	27.4	13.2	16.1	9.7	1.9	1.9	0.8	0.5	4.6	23.7	4.3	
50～59歳	416	46.9	32.0	31.5	12.7	15.1	9.9	2.2	1.4	1.0	1.2	4.3	17.1	5.5	
60～69歳	470	57.7	36.6	35.7	15.1	10.2	4.9	1.5	0.6	0.9	1.1	8.7	13.2	6.8	
70歳以上	719	61.3	39.6	33.4	11.0	10.3	1.8	0.8	0.7	1.9	1.5	9.7	8.2	10.0	
問22															
普段と違う行動を取っている	2008	51.1	34.4	34.5	13.7	13.7	8.9	2.4	1.5	1.3	1.2	7.4	17.0	1.0	
特に普段と違う行動をとっていない	232	40.9	26.3	26.3	8.6	4.7	3.0	1.7	1.3	1.3	-	2.6	28.9	3.0	
問26															
除雪ボランティアを行ったことがある	996	57.7	37.1	36.2	14.4	18.1	8.1	2.0	1.5	1.8	1.8	9.8	13.6	1.4	
除雪ボランティアを行ったことはない	1242	44.4	30.7	30.9	12.2	8.9	8.1	2.6	1.5	1.0	0.6	5.1	22.2	1.0	
問27															
守っている	1678	53.1	34.6	34.4	13.1	14.8	8.7	1.8	1.5	1.4	1.4	8.0	15.7	1.3	
守っていない	96	44.8	26.0	36.5	9.4	9.4	8.3	2.1	1.0	1.0	1.0	7.3	21.9	-	
除雪をする機会がない	519	43.7	32.2	29.3	13.9	7.3	6.0	4.0	1.9	1.2	0.4	4.4	25.4	1.5	
問28															
守っている	1645	50.3	34.2	33.7	12.9	15.0	8.4	2.1	1.6	1.2	1.2	7.3	16.9	1.2	
守っていない	35	31.4	25.7	40.0	14.3	8.6	11.4	2.9	2.9	-	2.9	8.6	28.6	-	
車を運転する機会がない	603	52.2	32.7	32.0	13.1	7.5	7.1	3.0	1.3	1.8	0.8	6.3	21.7	1.2	

■ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上高い
 □ 対象者全体の値と比較し10ポイント以上低い

【全体】冬の暮らしに関する情報を見たことがある媒体は、「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」が47.7%、「テレビ番組」が31.7%、「テレビのデータ放送（HTB、NHK、HBC、UHB）」が31.6%となっている。

【性別】「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」は女性が52.4%と、男性の41.5%より10.9ポイント高くなっている。また、「札幌市公式ホームページ（冬の暮らし・除雪）」は男性が15.2%と、女性の10.0%より5.2ポイント高くなっている。

【年代別】「冬の暮らしガイド（広報さっぽろ12月号綴じ込み）」、「テレビ番組」は、年代が上がるにつれて割合が高くなっている。

資料 調査票

令和4年度第1回市民意識調査票

「市民意識調査」へのご協力のお願い

～あなたの声をまちづくりに～

日頃から、札幌市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

札幌市では、市民の皆さまのお考えやご要望を市政に反映させるために、札幌市民5千人の方々にご回答をお願いする調査を実施しております。

突然のお願いで恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

● あなたにお願いしたいこと

「市民意識調査票」にご記入のうえ、同封の返信用封筒に入れて返送してください。

● 5千人の選び方

18歳以上の市民の皆さまの中から、無作為抽出法（くじ引きのような方法）で選ばせていただきました。

● 今回お送りしたもの

市民意識調査票、返信用封筒

● プライバシーの保護について

この調査は、皆さまから無記名でご回答いただくものであり、また、回答結果は統計的に処理し、「こういうご意見が何%」というように数値、表にまとめますので、個人のお名前が公表されることは、決してございません。

また、調査をお願いした方の名簿は、この調査以外には使用いたしません。

【ご回答にあたって】

ご使用いただく筆記用具は、どのようなものでも構いません。

ご回答は、あてはまる番号に○印をつけるか、あるいは具体的な内容をご記入ください。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和4年7月8日（金）までに、郵便ポストへ投函してください。**

ご不明な点やお問い合わせは
札幌市総務局広報部市民の声を聞く課
担当 津田 雪 011-211-2045 まで

テーマ1 札幌スタイルの認知度について

札幌市では、札幌市内の企業等が生み出す、高い独自性、品質を持った製品を、地域ブランド「札幌スタイル」として認証し、プロモーションや販路拡大に向けた取り組みを行っています。

そこで、市民の皆さまの、札幌スタイルに関する認知度などを調査し、今後の取り組みの参考とさせていただきます。

札幌スタイルには、北海道産素材を使った化粧品、革小物や、雪をモチーフにしたデザインの雑貨など、札幌らしい製品が集まっており、現在 41 社 123 製品を認証しています。

認証製品の一部は、JR タワーイースト6階(展望室エントランス)の「札幌スタイルショップ」などの店舗にて販売しています。また、大通駅地下鉄コンコース(定期券売り場並び)にて、「札幌スタイルショーケース」を設置しており、札幌スタイル認証製品を入れ替わりで展示しています。

【札幌スタイルロゴマーク】



【札幌スタイルショップ】



【札幌スタイルショーケース】



【札幌スタイル認証製品の一例】



初雪 (紙石鹸)



ふわふわラムキン



id.Lumina キーケース



黒板消しストラップ



フロストピラー (キャンドル)



ゆきふみ (和紙はがき)



たまねぎ染めストール



札幌の景観色 70色おりがみ



エゾズ ウクレレ

問1 あなたは、札幌スタイルを知っていましたか。

- 1 知っていた ⇒ [問1-1](#) [問1-2](#) へ
2 知らなかった ⇒ [問2](#) へ

◀問1で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。▶

問1-1 あなたは、札幌スタイルについて、どのような方法で知りましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1 札幌スタイルショップ | 2 札幌スタイルショーケース |
| 3 製品カタログ | 4 ホームページ |
| 5 SNS(※) | 6 テレビ |
| 7 新聞 | 8 地下鉄駅広告 |
| 9 広報さっぽろ | 10 札幌スタイル認証製品を持つ企業の店舗 |
| 11 知人から聞いた | 12 その他 () |

※ Facebook、Twitter、Instagram、LINEなどのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

◀引き続き、問1で「1 知っていた」と答えた方にお聞きします。▶

問1-2 あなたは、札幌スタイルのどのような点に関心がありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 地元企業の製品が集まっている点 |
| 2 認証製品のデザインや品質が優れている点 |
| 3 認証製品に独自性がある点 |
| 4 雪をモチーフにしたデザインなど、札幌らしさを感じられる点 |
| 5 その他 () |
| 6 関心がない |

◀皆さまにお聞きします。▶

問2 あなたは、札幌スタイル認証製品を購入したことがありますか。

- | | | | | |
|-------------|---|------|------|---|
| 1 購入したことがある | ⇒ | 問2-1 | 問2-2 | へ |
| 2 購入したことがない | ⇒ | 問2-3 | へ | |

◀問2で「1 購入したことがある」と答えた方にお聞きします。▶

問2-1 あなたは、札幌スタイル認証製品をどこで購入されましたか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 札幌スタイルショップ | 2 札幌スタイル関連の期間限定催事 |
| 3 企業・作家の店舗や催事 | 4 百貨店・雑貨店 |
| 5 インターネット | 6 その他 () |

テーマ2 食の安全・安心について

札幌市では、市民、生産者や販売者、札幌市が一丸となって、市民の皆さまが安全で安心な食生活を送ることのできるまちづくりを目指しています。そこで、皆さまの食の安全性への関心などをお聞きし、今後の食の安全・安心に向けた取り組みの参考とさせていただきます。

問3 あなたが、食生活を送るうえで関心があることについて、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1 衛生管理 | } | ⇒ 問3-1 へ |
| 2 食品添加物 | | |
| 3 残留農薬 | | |
| 4 品質管理 | | |
| 5 産地表示 | | |
| 6 アレルギー表示 | | |
| 7 放射性物質 | | |
| 8 食中毒予防 | | |
| 9 賞味期限・消費期限表示 | | |
| 10 その他 () | | |
| 11 食品の安全性に関心がない | ⇒ 問3-3 へ | |

◀**問3**で「1 衛生管理」から「10 その他」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。▶

問3-1 あなたは、食品の安全性に関する知識があると思いますか。あなたのお考えにもっとも近いものに1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|----------|---|-----------------|
| 1 十分ある | } | ⇒ 問4 へ |
| 2 ある程度ある | | |
| 3 あまりない | } | ⇒ 問3-2 へ |
| 4 全くない | | |

◀**問3-1**で「3 あまりない」または「4 全くない」と答えた方にお聞きします。▶

問3-2 あなたが、食品の安全性に関する知識がないと思う理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---|
| 1 知る機会がない |) |
| 2 調べる方法がわからない | |
| 3 難しくて理解できない | |
| 4 調べてみたが、知りたい情報が見つからない | |
| 5 自分で調べたり学んだりしたいとは思わない | |
| 6 その他 () | |

◀問3で「11 食品の安全性に関心がない」と回答した方にお聞きします。▶

問3-3 あなたが、食品の安全性に関心がない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけて下さい。

- 1 実生活で困ったことがないから
- 2 おいしさや価格を優先するから
- 3 食品の生産者や製造者を信頼しているから
- 4 一般に流通している食品は安全だと考えているから
- 5 店で提供されている料理は安全だと考えているから
- 6 アレルギーなどの健康面での心配がないから
- 7 食中毒・食あたりなどの被害にあった経験がないから
- 8 その他 ()
- 9 特に理由はない

◀皆さまにお聞きします。▶

問4 あなたが、日ごろ食の安全・安心の確保のためにしている行動について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 食品表示に関する必要な知識を身に付け、商品を選択する（購入する）
 - 2 国や札幌市のホームページ・広報物を見て、知識と理解を深める
 - 3 食の安全・安心に関する書籍やインターネットサイトで情報を収集する
 - 4 食の安全・安心に力を入れているお店を選択する（利用・購入する）
 - 5 食の安全・安心に力を入れているメーカーの商品を選択する（利用・購入する）
 - 6 食の安全・安心に関するイベント等に参加する
 - 7 その他 ()
 - 8 特に何もしていない ⇒ 問4-1 へ
- } ⇒ 問5 へ

◀問4で「8 特に何もしていない」と回答した方にお聞きします。▶

問4-1 あなたが、食の安全・安心の確保のための行動をしていない理由について、次の中からあてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 知識が足りないから
- 2 面倒だから
- 3 メリット（利点）を感じないから
- 4 興味や関心がないから
- 5 食の安全性に不安を感じていないから
- 6 時間がないから
- 7 その他 ()
- 8 特に理由はない

札幌市では、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して以下のような条例・計画を策定して、総合的かつ計画的に各種事業を実施しています。

●札幌市安全・安心な食のまち推進条例

市民・事業者・札幌市の三者による連携・協働により「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指すために策定した条例。

●第2次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画

条例に基づき、「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指してさまざまな取り組みを総合的かつ計画的に実施するために作成した計画。計画年度は令和2年度～6年度の5年間。



＜皆さまにお聞きします。＞

問5 「安全・安心な食のまち・さっぽろ」を目指して策定・実施している、札幌市の条例・計画・制度・事業などについて、あなたが知っているものにいくつでも○をつけてください。

- 1 札幌市安全・安心な食のまち推進条例
- 2 第2次安全・安心な食のまち・さっぽろ推進計画
- 3 しろくま忍者の手洗いソング
- 4 食品衛生監視指導計画
- 5 食中毒警報・ノロウイルス食中毒注意報・警報
- 6 さっぽろ HACCP (ハサップ)
- 7 さっぽろ食の安全・安心推進協定制度
- 8 食の安全・安心おもてなしの店推進事業
- 9 さっぽろ食の安全・安心モニター事業
- 10 アレルギー原因食品(アレルゲン)ピクトグラム(絵文字)
- 11 知っているものはない ⇒ 問6 へ

⇒ 問5—1 へ

＜問5で「1 札幌市安全・安心な食のまち推進条例」から「10 アレルギー原因食品(アレルゲン)ピクトグラム(絵文字)」のいずれかに○をつけた方にお聞きします。＞

問5—1 あなたは、その情報をどのように知りましたか。次の中から、いくつでも○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 広報さっぽろ | 2 冊子・パンフレット・リーフレット |
| 3 ホームページ | 4 SNS |
| 5 食品関係のイベント | 6 公共交通機関での掲示物 |
| 7 事業に参加している店舗や施設 | 8 その他 () |

＜皆さまにお聞きします。＞

問6 食品の安全性や札幌市の取り組みに関する情報について、あなたが受け取りたいと思う方法を、次の中からいくつでも○をつけてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1 ホームページへの掲載 | 2 パンフレット・リーフレットの配布 |
| 3 情報誌(タウン誌など)への掲載 | 4 SNS |
| 5 メールマガジン配信 | 6 「広報さっぽろ」への掲載 |
| 7 地下鉄駅の大型電照広告 | 8 地下鉄、路線バス内の広告 |
| 9 映画上映前の動画CM | 10 JR駅、地下鉄駅でのポスターの掲示 |
| 11 イベントの実施 | 12 その他 () |

問7 食の安全・安心の確保のために札幌市が行う取り組みのうち、あなたが力を入れてほしいことについて、いくつかでも○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 食中毒予防に向けた啓発 | 2 食中毒発生時の対応 |
| 3 製造所や飲食店、販売店などでの衛生指導 | 4 事業者の自主的な衛生管理への支援 |
| 5 わかりやすい情報の提供 | 6 消費者、事業者、行政間の情報・意見交換 |
| 7 法令違反への厳しい対応 | 8 札幌市が実施している事業の説明・PR |
| 9 その他 () | 10 特にない |
| 11 わからない | |

問8 食の安全・安心の確保のために事業者が行う取り組みのうち、あなたが力をいれてほしいことについて、いくつかでも○をつけてください。

- 1 消費者への積極的な情報提供
- 2 食の安全・安心を推進していることのPR
- 3 札幌市が実施する食の安全・安心に関する事業や取り組みへの参加・登録
- 4 その他 ()
- 5 特にない
- 6 わからない

問9 あなたは「札幌の食」に対して「安全・安心」というイメージを持っていますか。次の中から、あなたがもつイメージに近いものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 持っている | } ⇒ 問10 へ |
| 2 どちらかといえば持っている | |
| 3 あまり持っていない | } ⇒ 問9-1 へ |
| 4 持っていない | |

◀**問9**で、「3 あまり持っていない」または「4 持っていない」と回答した方にお聞きします。▶

問9-1 あなたが「札幌の食」に対して、「安全・安心」というイメージを持っていない理由は何ですか。次の中から、あてはまるものについて、いくつかでも○をつけてください。

- 1 不衛生な施設が営業しているから
- 2 食品表示のミスや食品へ異物が混入する事件が発生したことがあるから
- 3 賞味期限などの食品偽装事件が発生したことがあるから
- 4 大規模な食中毒や、食中毒による死亡者が発生したことがあるから
- 5 自分で調理したもの以外は安心できないから
- 6 その他 ()
- 7 特に理由はない

テーマ3 ヒグマに対する意識と札幌市の対策について

札幌市では、ヒグマとのあつれきを軽減し市民生活を安全の確保したうえで、ヒグマとの共生を目指す取り組みを進めています。一方で最近、令和3年6月に東区市街地にヒグマが出没し市民が負傷してしまう事案が発生するなど、市街地や住宅街でのヒグマの出没が増えています。

ヒグマを取り巻く状況が変化するなか、札幌市は、ヒグマ対策の方針をまとめた「さっぽろヒグマ基本計画」を令和4年度末に改正予定です。そこで、皆さまのヒグマに対する意識やヒグマ対策への認識をお聞きし、計画を改正していくうえで参考とさせていただきます。

問12 あなたは、市街地や住宅街にヒグマが出没していることについて関心がありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 関心がある | 2 やや関心がある |
| 3 どちらでもない | 4 あまり関心がない |
| 5 関心がない | |

問13 あなたは、ヒグマを見たことがありますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 動物園等で見たことがある | 2 市内で野生のヒグマを見たことがある |
| 3 市外で野生のヒグマを見たことがある | 4 見たことがない |

問14 あなたは、次のア～カのヒグマ対策について、札幌市が行っていることを知っていますか。また、知っている場合、それぞれの対策は十分だと思いますか。あてはまるものに1つずつ○をつけてください。

札幌市が行っているヒグマ対策	知っている					知らない
	十分だと思う	ほぼ十分だと思う	どちらともいえない	やや不足していると思う	不足していると思う	
ア 出没時の現場調査（足跡などの痕跡やヒグマを誘因するものが周囲にあるか否かの確認など）	1	2	3	4	5	6
イ 出没情報の提供（ホームページ、SNSなど）	1	2	3	4	5	6
ウ 農家や家庭菜園向けの電気柵普及事業（貸出、購入補助、設置指導）	1	2	3	4	5	6
エ 地域住民やボランティアの方々との協働による河川敷の草刈り・放棄果樹の伐採	1	2	3	4	5	6
オ 札幌市近郊におけるヒグマの分布や生息状況を把握するための科学的調査	1	2	3	4	5	6
カ 小中学生や市民を対象にしたヒグマの講習会やフォーラム	1	2	3	4	5	6

ヒグマ対策には、行政である札幌市だけでなく、警察や関係機関との連携のほか、市民の皆さまのご理解とご協力が欠かせません。また、行政だけでなく、地域や個人の皆さまが主体となって取り組んでいただくことで、より効果的なヒグマ対策が可能になります。

問 1 5 あなたは、地域や個人でも行うことができるヒグマ対策のうち、次のア～カについて知っていますか。また、知っている場合、実際に行ってみたいですか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

地域や個人でも行うことができるヒグマ対策	知っている				知らない
	行っている	今は行っていないが、今後行ってみたい	どちらともいえない	今後も行わない	
ア ごみ出しルールを守る（分別して出す、決められた時間にごみステーションに出すなど）	1	2	3	4	5
イ 見通しの悪いやぶの草刈りを行う（自宅敷地内のほか、町内会行事等で近所の河川敷など）	1	2	3	4	5
ウ 畑や家庭菜園などを電気柵で囲う	1	2	3	4	5
エ ヒグマに関するイベントに参加したり、パンフレット等でヒグマのことを学んだりする	1	2	3	4	5
オ 自宅周辺や屋外レジャー（登山・キャンプなど）で訪れる地域の出没状況をホームページ等で確認する	1	2	3	4	5
カ 屋外レジャー（登山・キャンプなど）の際には、クマ鈴やクマスプレー、ラジオなどを持ち歩く	1	2	3	4	5

札幌市ではトウモロコシや果物を育てている家庭菜園がヒグマに荒らされる被害が例年発生しています。このため、札幌市ではヒグマによる被害防止に効果があるとされる電気柵を、家庭菜園向けに1年間貸し出す制度や、購入する際の補助制度を実施しています。

問 1 6 あなたは、野菜や果実などの作物をどのように育てていますか。あてはまるものに1つだけ○を付けてください。なお、複数の方法で育てている場合は最も力を入れて行っているものを選んでください。

1 畑や自宅の庭等で育てている	⇒	問 1 6 - 1	問 1 6 - 2	へ
2 ベランダで育てている	}	⇒	問 1 7	へ
3 営利目的で育てている（農家など）				
4 その他（				
5 育てていない				
)				

◀問16で「1 畑や自宅の庭等で育てている」と答えた方にお聞きします。▶

問16-1 あなたが、家庭菜園へのヒグマの被害を防ぐために行っている対策について、あてはまるものについて○をつけてください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 ヒグマ用の電気柵で囲っている | 2 防護用ネットやフェンス等で囲っている |
| 3 できるだけ早めに収穫している | 4 忌避剤を使っている |
| 5 ヒグマ用以外の電気柵で囲っている | 6 その他 () |
| 7 特に対策していない | |

◀引き続き、問16で「1 畑や自宅の庭等で育てている」と答えた方にお聞きします。▶

問16-2 あなたは、札幌市が実施している家庭菜園用電気柵の貸出制度や購入補助制度を利用したいと思いませんか。あてはまるものについて○をつけてください。

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1 貸出制度を利用してみたい | 2 購入補助制度を利用してみたい |
| 3 貸出制度を利用したことがある | 4 購入補助制度を利用したことがある |
| 5 どちらも利用したいと思わない | |

◀皆さまにお聞きします。▶

問17 あなたがお住まいの地域について、最もあてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 市街地・住宅街 | 2 山や林に近い住宅地（藻岩山や円山周辺） |
| 3 郊外（市街化調整区域・農地など） | 4 市街地から離れた山間部 |

札幌市ではヒグマが市民や農作物等に被害をもたらしたり、人前にたびたび姿を現して人を見ても逃げなかったりした場合など、出没場所と出没したヒグマの有害性、人身被害の緊急性等に応じて、市民の安全安心を確保するため、駆除を含めた対策方針を決定しています。

問18 あなたは、ヒグマが出没した際、どのような対策を取ることが重要だと思いますか。それぞれの項目について、1つずつ数字に○をつけてください。

出没場所	何もしない	住民への注意喚起のみ	追い払い(爆竹等で追い払う)	人身被害の恐れがあれば駆除	駆除	わからない
ア 市街地・住宅街など人の居住区域	0	1	2	3	4	5
イ 郊外（市街化調整区域・農地など）	0	1	2	3	4	5
ウ 市街地・住宅街と接している山林（藻岩山、円山、白旗山など）	0	1	2	3	4	5
エ 市街地から離れた山間部	0	1	2	3	4	5

テーマ4 雪対策に関する取り組みについて

札幌市では、安心・安全で持続可能な冬の道路環境の実現に向けて、市民の皆さまや企業などと協働して雪対策に取り組んでいます。そこで、札幌市による道路の除雪作業に関する認識や、市民の皆さまによる取り組みの現状などについてお聞きし、今後の雪対策の参考とさせていただきます。

札幌市では、市内の道道・市道（国道以外）の除雪を行っています。

- 幹線道路：地域と地域を結ぶ、交通量の多い道路
- 生活道路：住宅地周辺の道路

問19 札幌市では、交通量や公共交通の利便性を考え、以下の通り、皆さまにより多く利用される道路・場所の除雪を強化しています。次のうち、あなたが特に今後力を入れてほしいと思う道路・場所はどこですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

- 1 主要幹線道路（幹線道路のうち、特に交通量の多い道路）
- 2 補助幹線道路（周辺住民の方が主に使う、大きな道路に抜けるための道路）
- 3 バス路線
- 4 地下鉄・JR 駅周辺
- 5 病院・福祉施設周辺
- 6 公共施設周辺
- 7 小学校周辺
- 8 特にない

問20 冬期間の生活道路の状況をより良くするために、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 道路の幅
- 2 路面の凸凹や段差、気温の上昇によるザクザク路面
- 3 道路脇の雪山の高さや交差点の見通し
- 4 特にない

札幌市では、幅が2m以上で、地下鉄・JR 駅周辺や公共施設周辺などで歩行者が多い歩道の除雪を行っています。

問21 除雪の対象となっている歩道の状況について、以下のうちあなたが最も重視すべきだと思うものは何ですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 通行幅
- 2 路面の凸凹や段差
- 3 交差点を渡る際の見通し
- 4 つるつる路面
- 5 特にない

札幌市では、札幌管区気象台が発表する大雪警報や暴風雪警報時において、広報媒体を活用し市民の皆さまへの注意喚起を図っています。

問2 2 あなたは、警報発令などの大雪時や大雪が想定されるときにどのような行動をとっていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 通勤通学時に、移動手段を変更している
- 2 通勤通学時に、出発時間を早めるなど、時間に余裕を持った行動を取っている
- 3 時差出勤、在宅勤務、オンライン授業など、勤務形態や授業形態を変更している
- 4 不要不急の車による外出を控えている
- 5 特に普段と違う行動をとっていない

ご自宅前の雪の処理についてお伺いします。

●札幌市と町内会等で利用条件などに関する覚書を交わした公園については、ルールを守って雪置き場として利用することができます。

問2 3 あなたは、公園を雪置き場として利用していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 覚書のルールを守って雪置き場として利用している
- 2 覚書を交わしているかどうかは分からないが、公園を雪置き場として利用している
- 3 公園を雪置き場として利用していない
- 4 除雪をする機会がない

問2 4 あなたは、冬期間に玄関前等に堆積する雪を処理するため、以下について設置・購入を検討（予定）していますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 融雪槽・融雪機
- 2 ロードヒーティング
- 3 検討（予定）していない
- 4 設置・購入済み

問2 5 あなたは、昨年度の冬に自宅前の雪を処理するため、民間企業などによる有料除排雪サービス（福祉除雪を除く）を利用しましたか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 利用した
- 2 利用していない

問26 札幌市では、市民の皆さまに『除雪ボランティア』への協力を呼び掛けています。以下のうち、あなたがこれまでに行ったことがある除雪ボランティアについて、あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1 転倒防止のため、つるつる路面に砂袋やペットボトルで滑り止めの砂をまく
- 2 ごみを出しやすいようにごみステーション周りの除雪をする
- 3 福祉除雪の地域協力員に登録し、高齢者宅等の玄関前除雪を行う
- 4 近所で困っている人の除雪を自発的に手伝う
- 5 消火栓周りの除雪を行う
- 6 雪どけ後に、雪置き場として利用した公園の清掃や、滑り止めの砂の回収を行う
- 7 行ったことはない

札幌市では、市民の皆さまと協力して快適な冬を過ごせるよう、冬の暮らしのルールに関する情報発信を行っています。

- 敷地内の雪を道路に出してはいけない
- 除雪作業の支障になるため、路上駐車をしてはいけない

問27 あなたは、「敷地内の雪を道路に出してはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 守っている
- 2 守っていない
- 3 除雪をする機会がない

問28 あなたは、「路上駐車をしてはいけない」というルールを守っていますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

- 1 守っている
- 2 守っていない
- 3 車を運転する機会がない

問29 昨冬、冬の暮らしに関する情報(札幌市の除雪に関する情報や冬のルール、除雪車の出勤情報など)を以下のように発信しました。あなたが、見たことがあるものにいくつでも○を付けてください。

- 1 冬の暮らしガイド (広報さっぽろ 12月号綴じ込み)
- 2 札幌市公式ホームページ (冬の暮らし・除雪)
- 3 テレビのデータ放送 (HTB、NHK、HBC、UHB)
- 4 札幌市公式SNS (Twitter、LINE)
- 5 札幌市公式Youtube 動画 (【ともに雪対策、さっぽろ】シリーズ計4本)
- 6 Youtube 広告 (【ともに雪対策、さっぽろ】シリーズ計4本)
- 7 テレビ番組
- 8 テレビCM (【ともに雪対策、さっぽろ】シリーズ計4本)
- 9 デジタルサイネージ (チカホ、各区役所)
- 10 札幌市のパネル展示 (建設産業ふれあい展、雪と暮らすおはなし発表会)
- 11 その他刊行物 (啓発チラシ、パンフレット、「さっぽろ雪の絵本」など)
- 12 見たことがない

最後にあなたご自身のことについておたずねします。あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性 3 その他

F 2 あなたの年齢は(令和4年6月1日現在)

- 1 18～19 歳 2 20～29 歳 3 30～39 歳 4 40～49 歳
5 50～59 歳 6 60～69 歳 7 70～74 歳 8 75 歳以上

F 3 あなたは現在何区にお住まいですか

- 1 中央区 2 北区 3 東区 4 白石区 5 厚別区
6 豊平区 7 清田区 8 南区 9 西区 10 手稲区

F 4 あなたのご職業は(もっとも近いもの1つに○をつけてください。)

- 1 会社員 2 公務員 3 自営業 4 パート・アルバイト
5 主婦・主夫 6 学生 7 無職 8 その他

F 5 あなたの同居しているご家族は(あてはまるものにいくつでも○をつけてください。)

- 1 配偶者 2 乳幼児 (0～2歳程度)
3 就学前児童 (3～5歳程度) 4 小学生 (6～12歳程度)
5 中学生 (13～15歳程度) 6 高校生 (16～18歳程度)
7 大学(院)・専門学校生 8 65歳以上の高齢者
9 上記「1」～「8」以外の方 10 いない

F 6 あなたのお住まいの形態は

- 1 戸建住宅 2 集合住宅 (アパート、マンション等) 3 その他 ()

調査は以上で終了です。長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

記入されました市民意識調査票は、折りたたんで同封の返信用封筒に入れ、**無記名のまま切手を貼らずに令和4年7月8日(金)までに、郵便ポストへ投函してください。**